

## 第III部 高齡者一般



## 第1章 高齢者一般 調査結果

### 1. あて名のご本人について

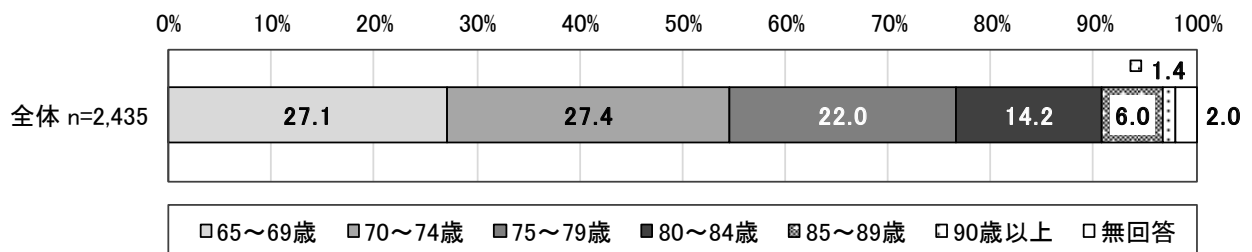
「1. あて名のご本人について」は、回答者の属性を把握するための項目となっています。

#### 問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。(令和2年1月1日現在)

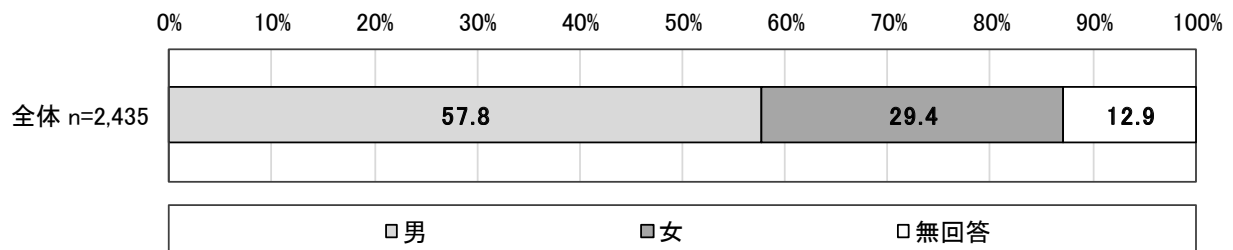
年齢については、「70～74歳」が27.4%で最も高く、次いで「65～69歳」が27.1%、「75～79歳」が22.0%となっています。

性別については、「男」が57.8%、「女」が29.4%となっています。

#### 【年齢】

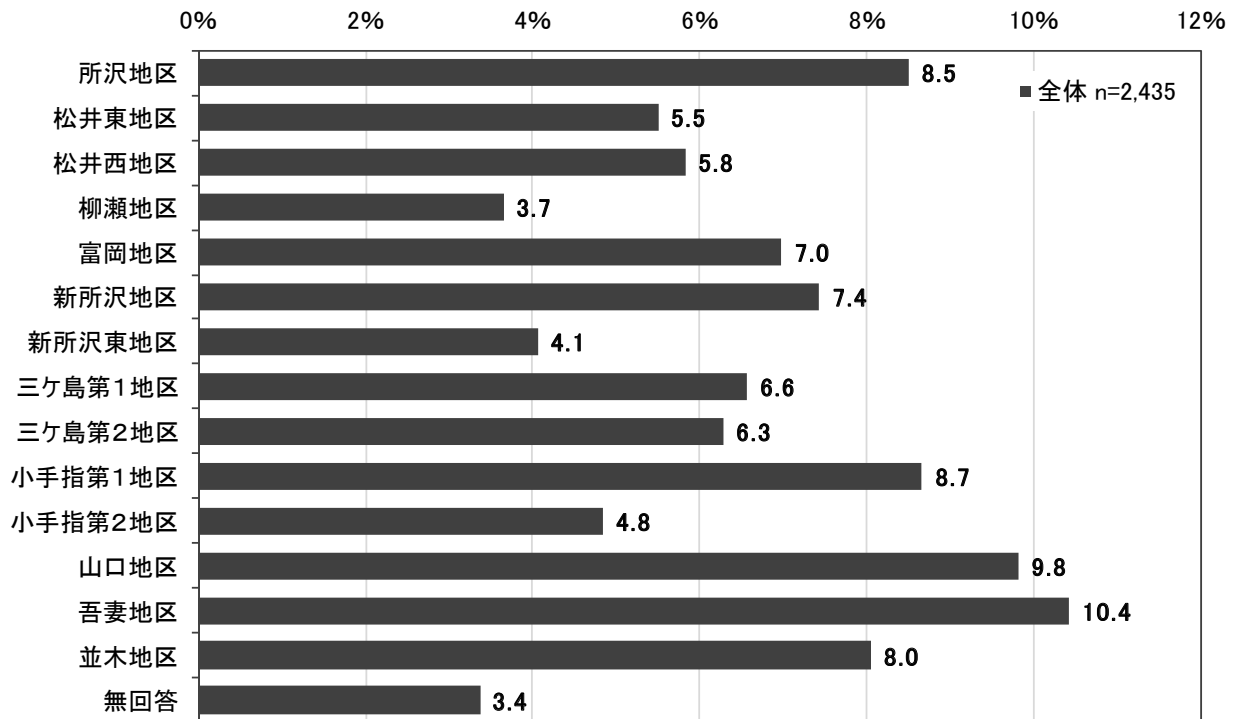


#### 【性別】

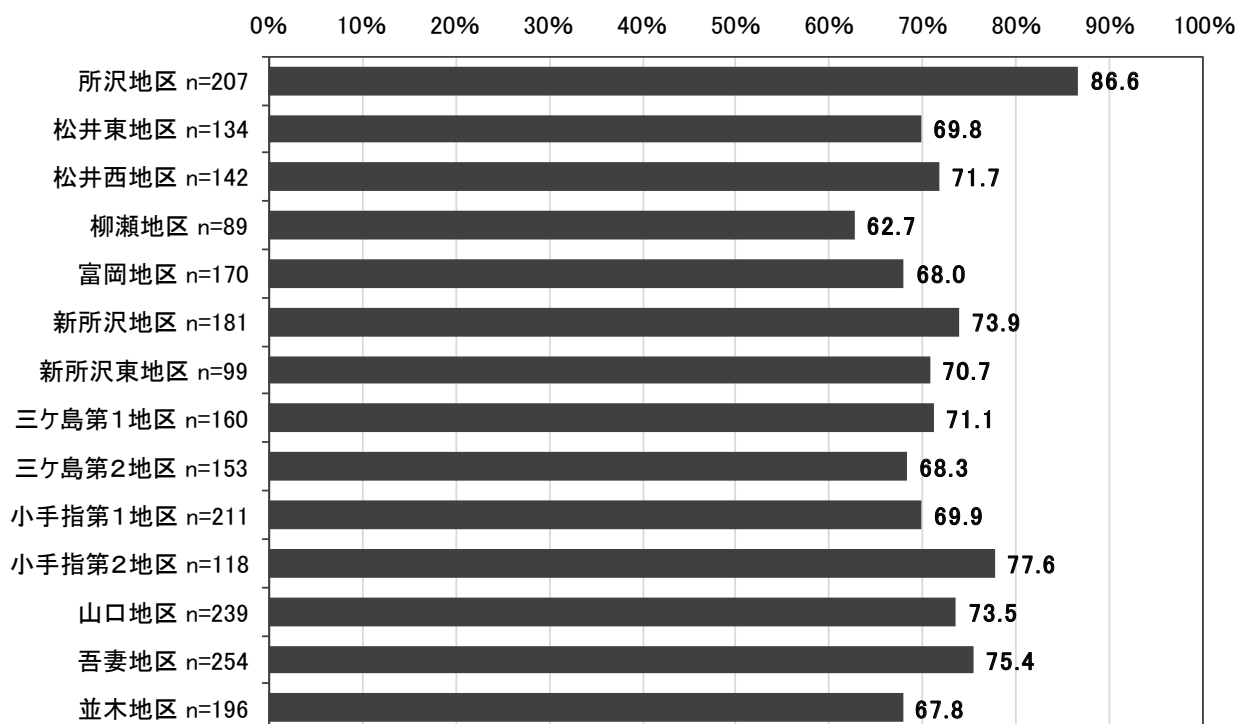


**問2. お住まいの地区についてお答えください。**

居住地区については、「吾妻地区」が10.4%で最も高く、次いで「山口地区」が9.8%、「小手指第1地区」が8.7%となっています。



居住地区別の発送数から回答率をみると、「所沢地区」が86.6%で最も高く、次いで「小手指第2地区」が77.6%、「吾妻地区」が75.4%となっています。

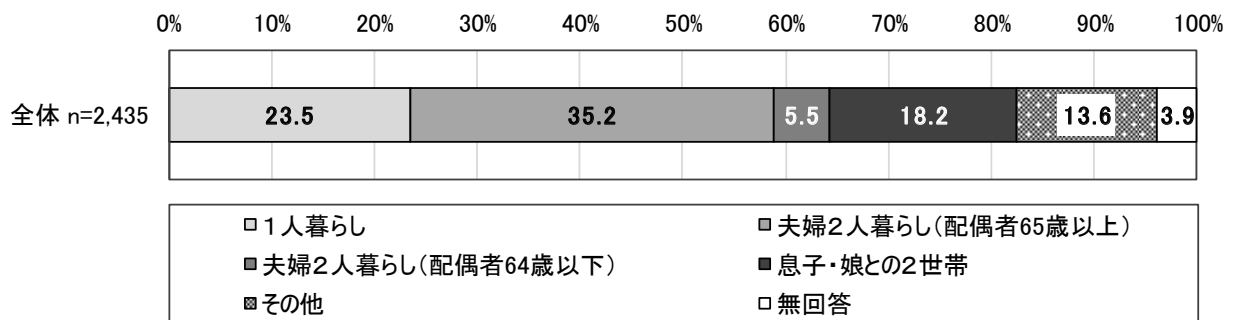


## 2. あなたのご家族や生活状況について

「2. あなたのご家族や生活状況について」は、家族構成や居住状況、普段の生活において介護・介助が必要な状況、暮らしの経済状況、紙おむつの利用状況を把握するための項目となっています。

### 問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ) ★

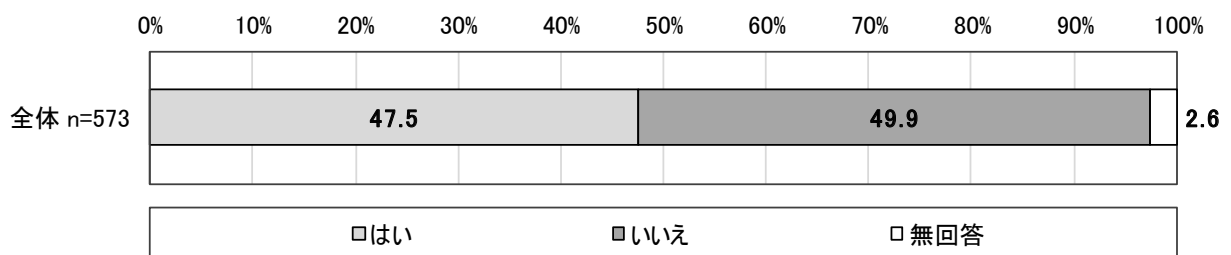
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が35.2%で最も高く、次いで「1人暮らし」が23.5%、「息子・娘との2世帯」が18.2%となっています。



### 問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方におたずねします。】

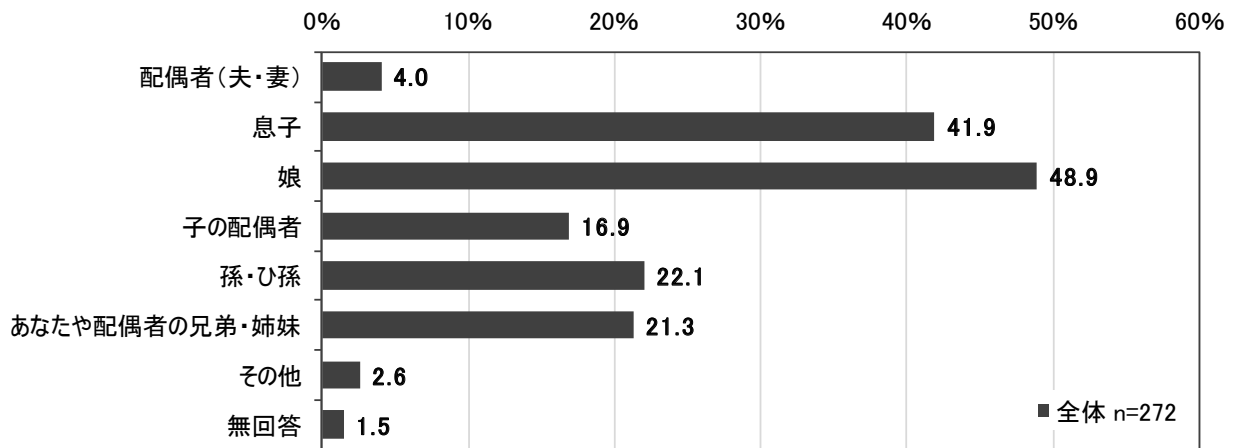
市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

市内又は住まいの近くに家族がいるかについては、「はい」が47.5%、「いいえ」が49.9%で、「いいえ」が2.4ポイント上回っています。



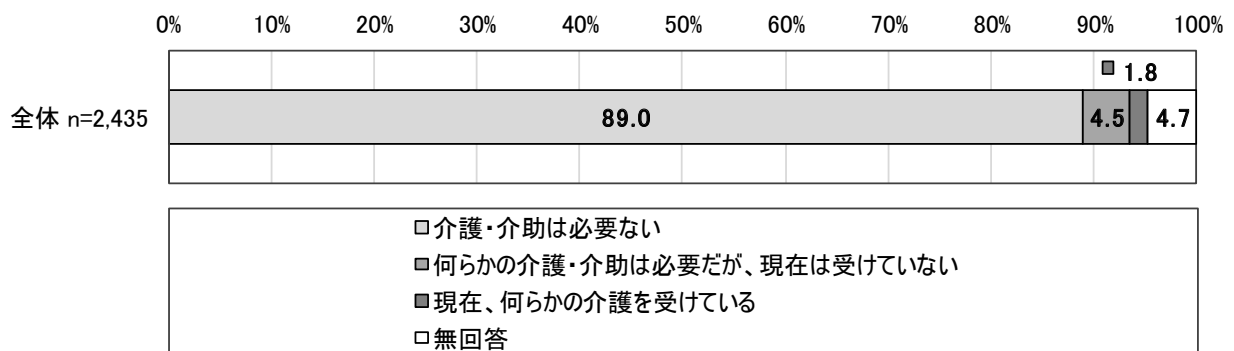
**問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方におたずねします。】  
それはどなたですか。（あてはまるものすべてに回答）**

市内又は住まいの近くにいる家族については、「娘」が48.9%で最も高く、次いで「息子」が41.9%、「孫・ひ孫」が22.1%となっています。



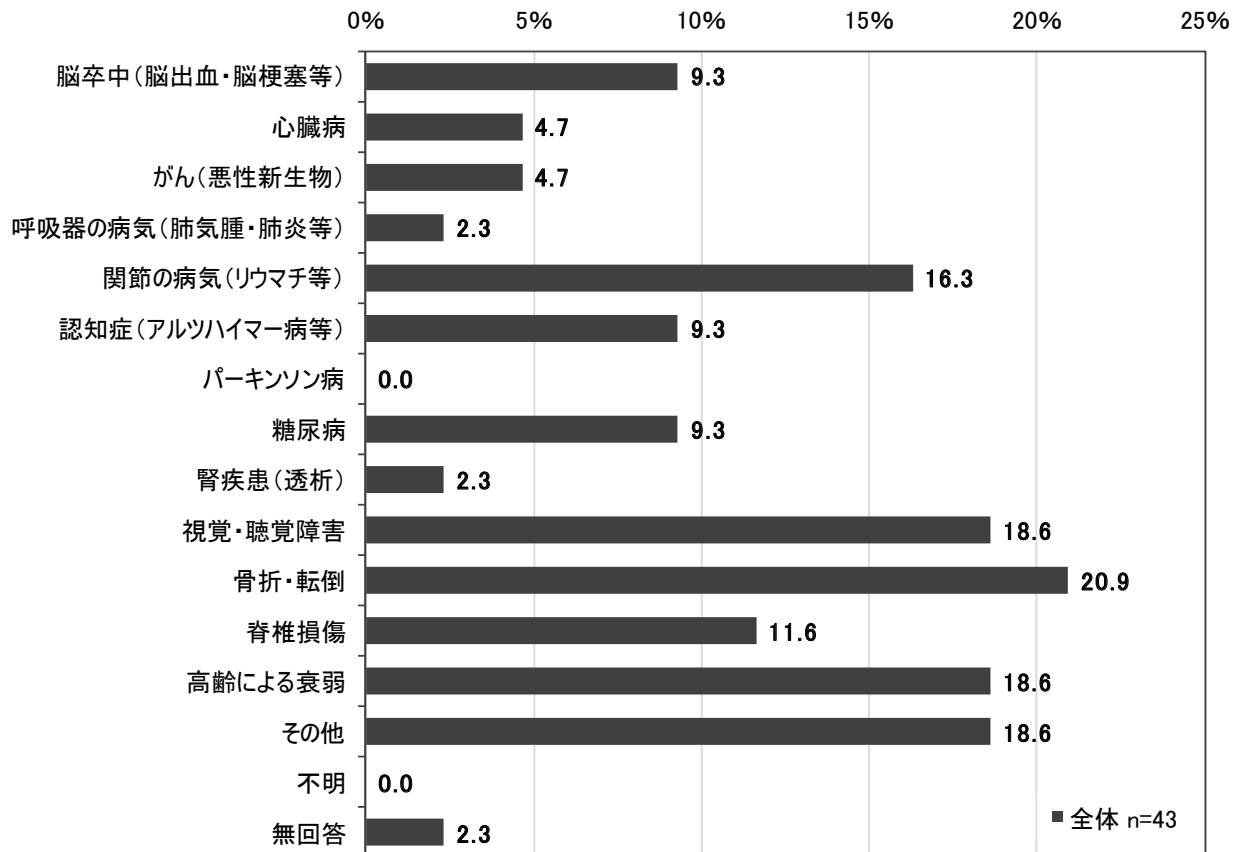
**問4. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（回答は1つ） ★**

普段の生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が89.0%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が1.8%となっています。



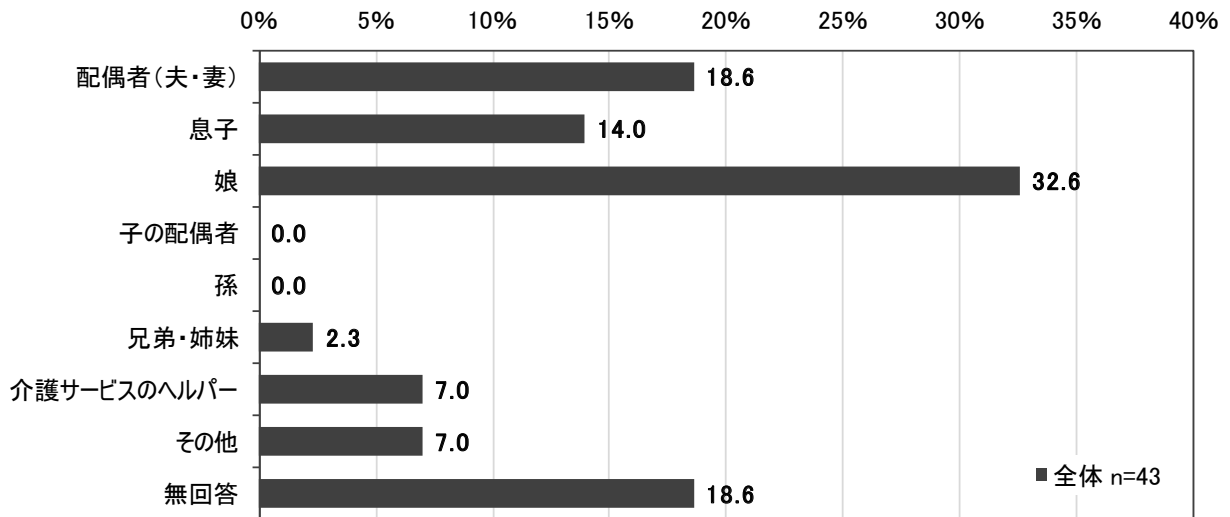
**問4-1.【問4で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】**  
**介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★**

介護・介助が必要になった主な原因については、「骨折・転倒」が20.9%で最も高く、次いで「視覚・聴覚障害」「高齢による衰弱」「その他」がともに18.6%、「関節の病気(リウマチ等)」が16.3%となっています。



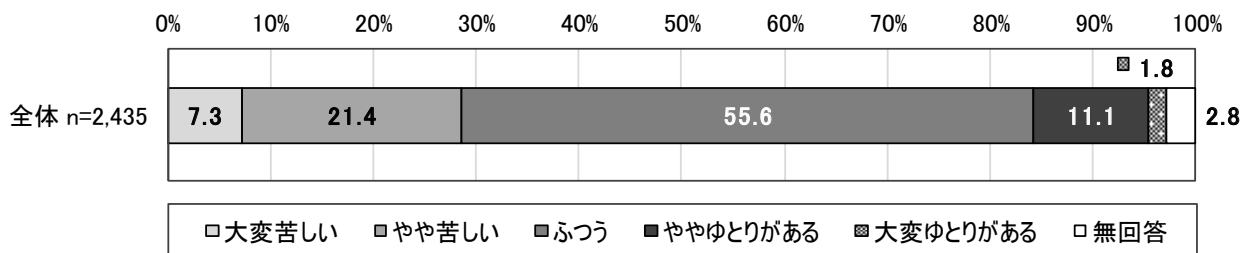
**問4-2.【問4で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】**  
**主にどなたの介護を受けていますか。(回答は1つ) ★**

主にどなたの介護を受けているかについては、「娘」が 32.6%で最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 18.6%、「息子」が 14.0%となっています。



**問5. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ) ★**

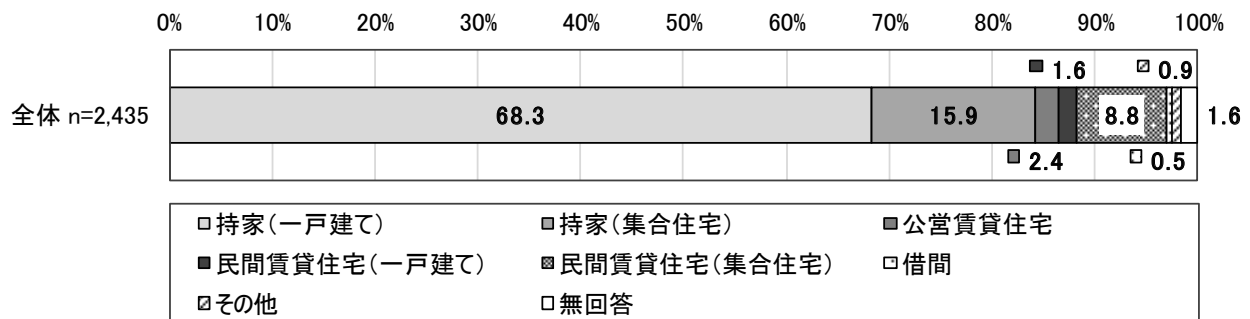
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」が 55.6%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 21.4%、「ややゆとりがある」が 11.1%、「大変苦しい」が 7.3%となっています。





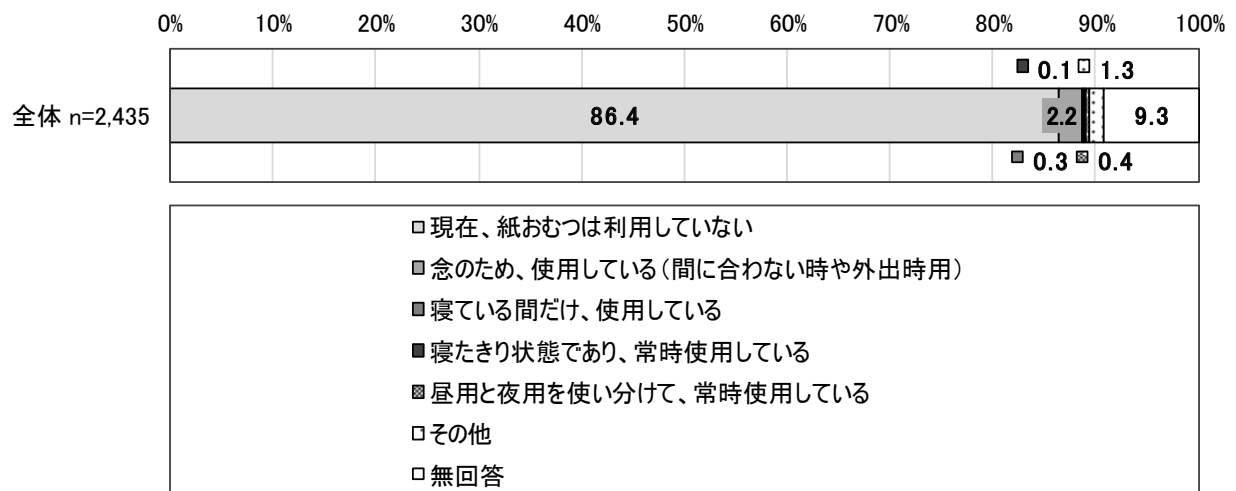
**問6. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(回答は1つ) ★**

住まいの種類については、「持家（一戸建て）」が68.3%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が15.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.8%となっています。



**問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)**

大人用紙おむつの利用状況については、「現在、紙おむつは利用していない」が86.4%で最も高く、次いで「念のため、使用している（間に合わない時や外出時用）」が2.2%、「その他」が1.3%となっています。

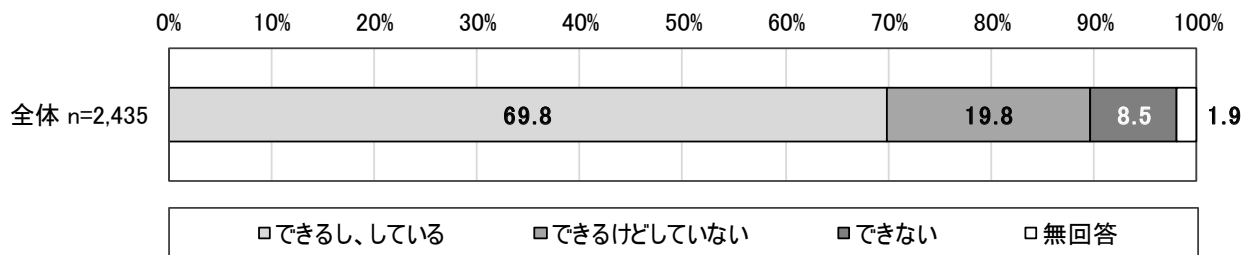


### 3. からだを動かすことについて

「3. からだを動かすことについて」は、日常生活動作の状況から運動機能の評価を行うための設問が設けられています。また、外出状況、外出時の移動手段を把握するための項目となっています。

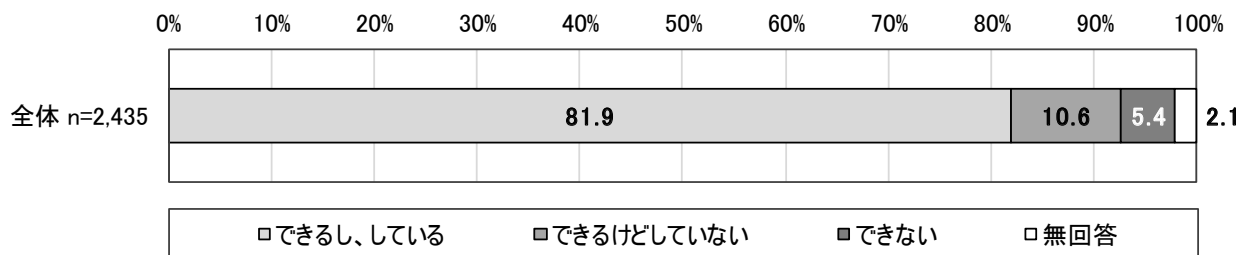
**問8. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ) ★**

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が69.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.8%、「できない」が8.5%となっています。



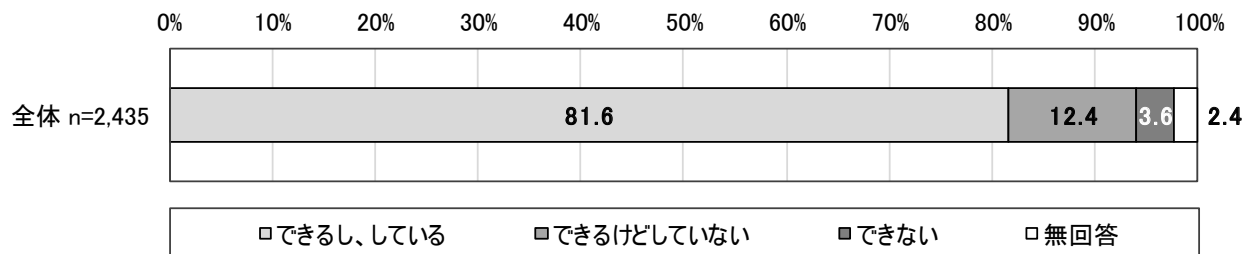
**問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ) ★**

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が81.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が10.6%、「できない」が5.4%となっています。



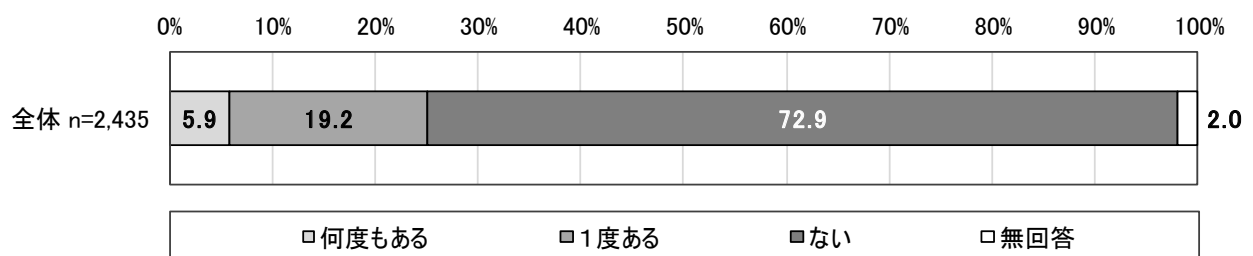
**問 10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ) ★**

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が81.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.4%、「できない」が3.6%となっています。



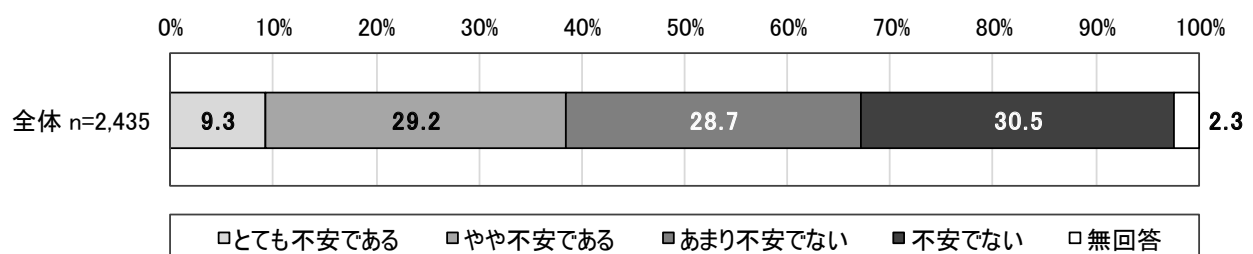
**問 11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ) ★**

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が72.9%で最も高く、次いで「1度ある」が19.2%、「何度もある」が5.9%となっています。



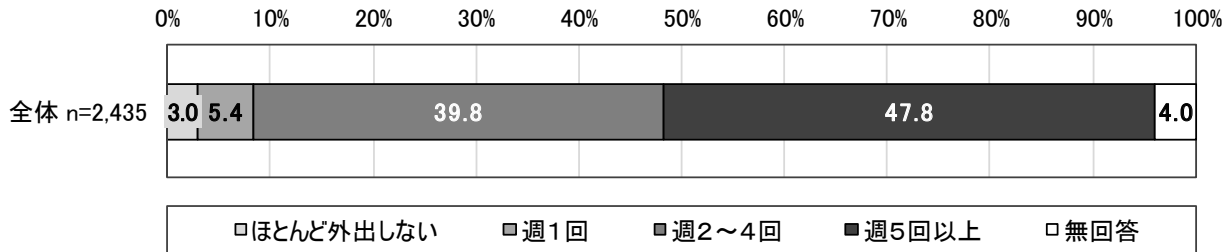
**問 12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ) ★**

転倒に対する不安は大きいかについては、「不安でない」が30.5%で最も高く、次いで「やや不安である」が29.2%、「あまり不安でない」が28.7%、「とても不安である」が9.3%となっています。



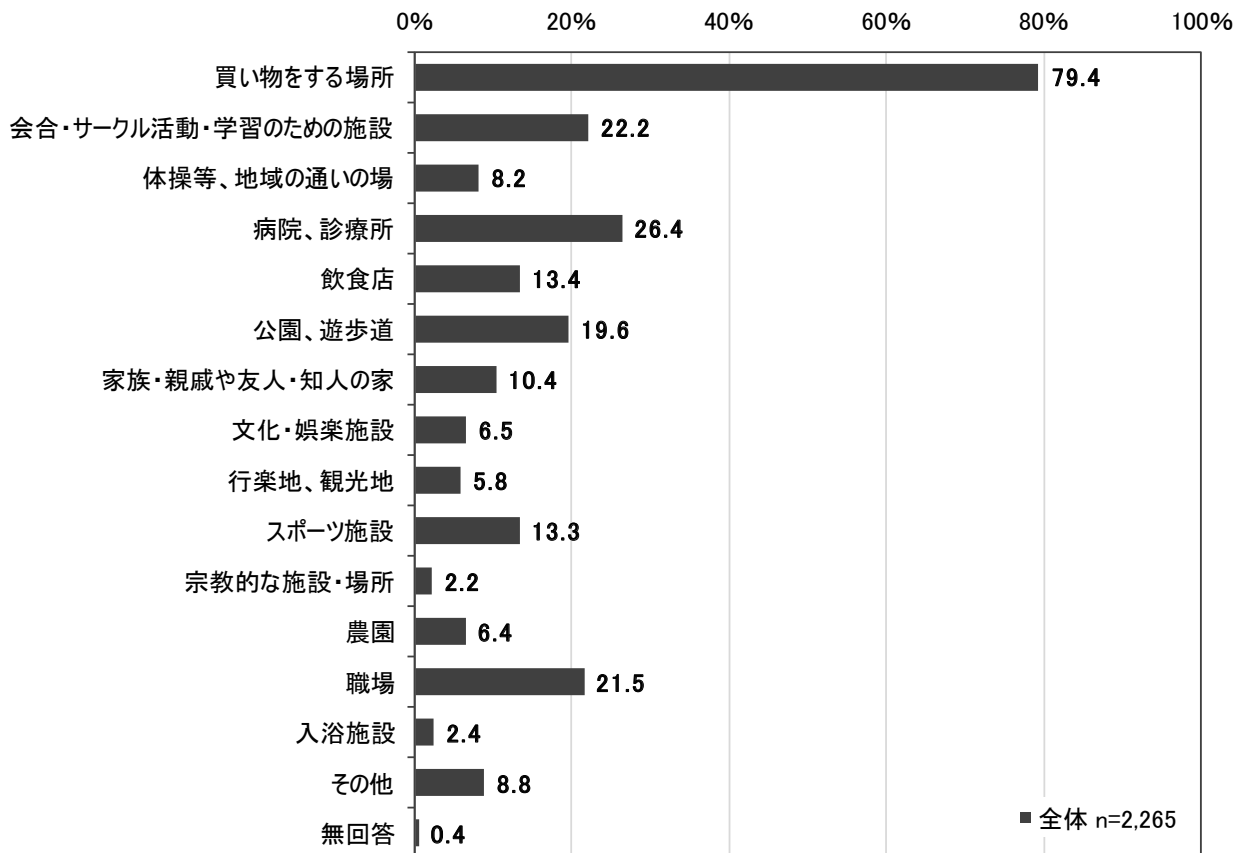
**問 13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ) ★**

週に1回以上は外出しているかについては、「週5回以上」が47.8%で最も高く、次いで「週2～4回」が39.8%、「週1回」が5.4%、「ほとんど外出しない」が3.0%となっています。



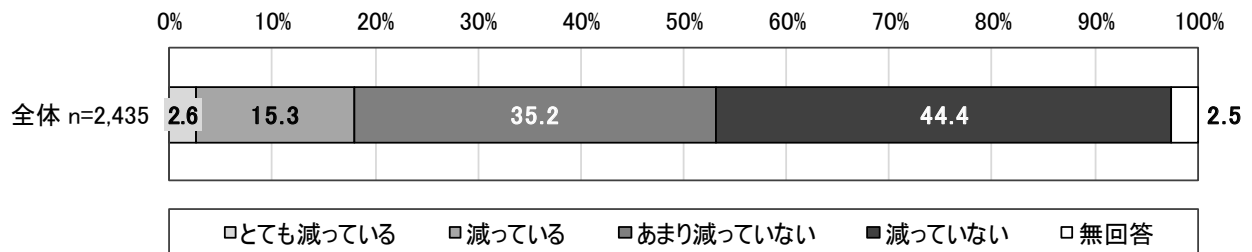
**問 13-1. 【問 13で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】  
外出をする際の主な行き先は、次のどれですか。(回答は3つまで)**

外出する際の主な行き先については、「買い物をする場所」が79.4%で最も高く、次いで「病院、診療所」が26.4%、「会合・サークル活動・学習のための施設」が22.2%となっています。



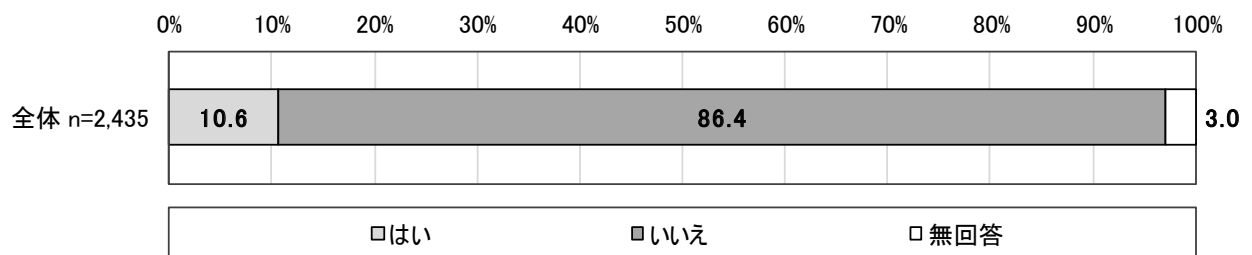
**問 14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ) ★**

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」が 44.4%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が 35.2%、「減っている」が 15.3%、「とても減っている」が 2.6%となっています。



**問 15. 外出を控えていますか。(回答は1つ) ★**

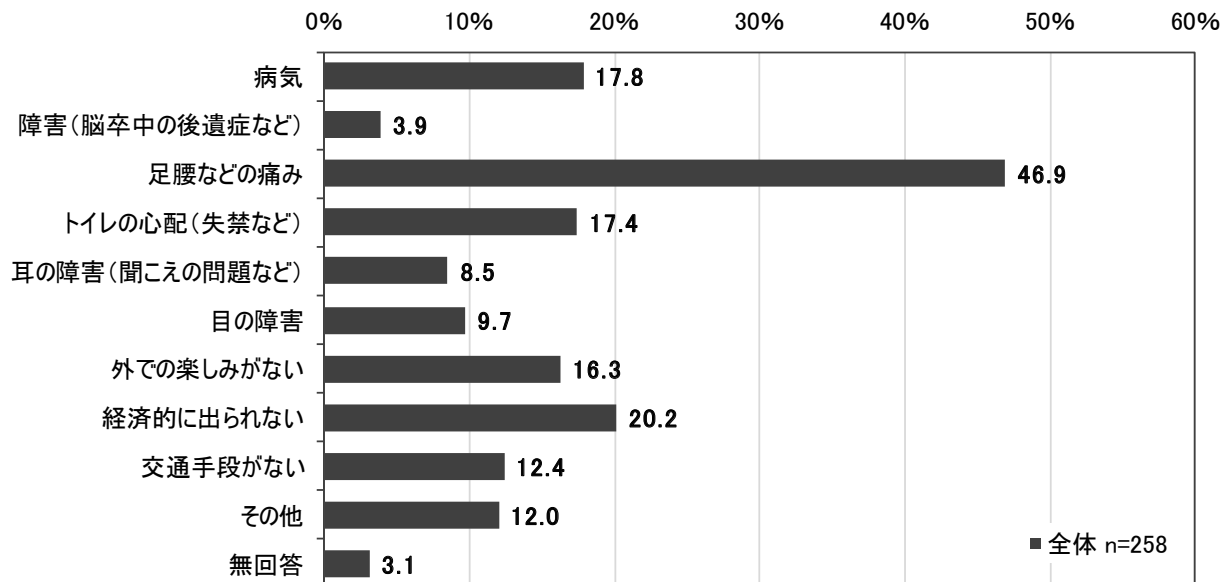
外出を控えているかについては、「はい」が 10.6%、「いいえ」が 86.4%で、「いいえ」が 75.8 ポイント上回っています。



問 15-1. 【問 15 で「はい」と回答した方におたずねします。】

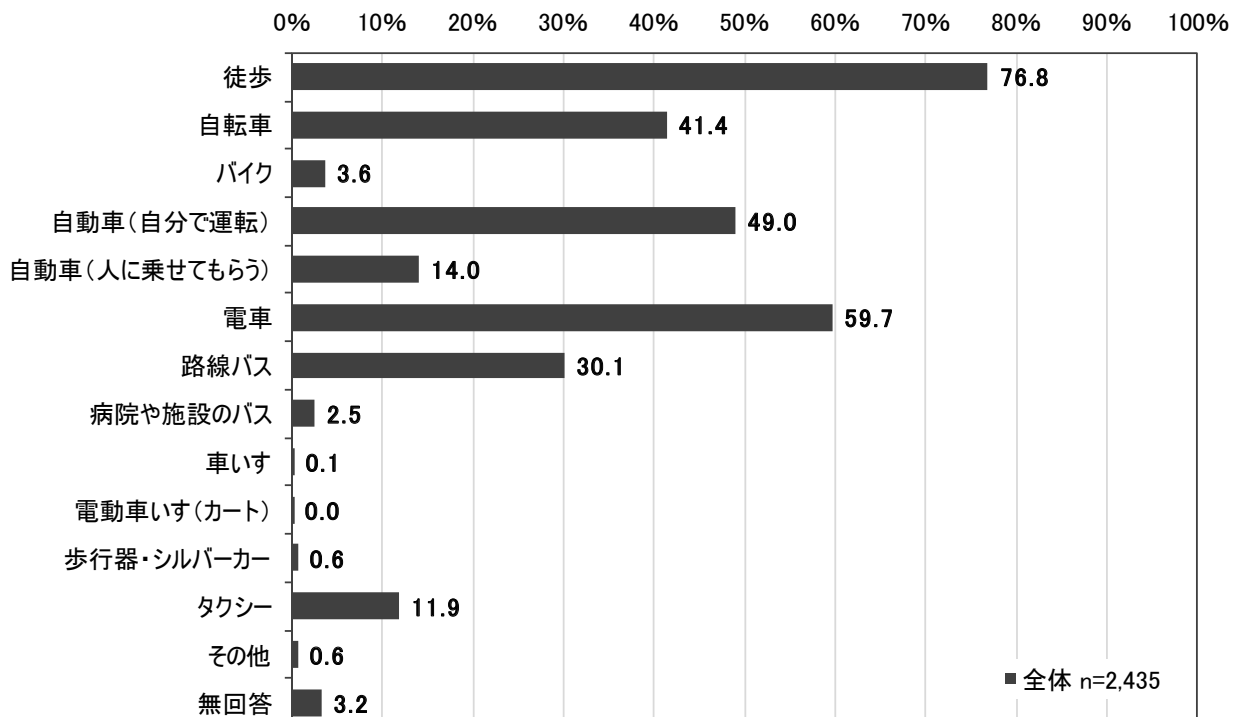
外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 46.9%で最も高く、次いで「経済的に出られない」が 20.2%、「病気」が 17.8%となっています。



問 16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出する際の移動手段については、「徒歩」が 76.8%で最も高く、次いで「電車」が 59.7%、「自動車(自分で運転)」が 49.0%となっています。

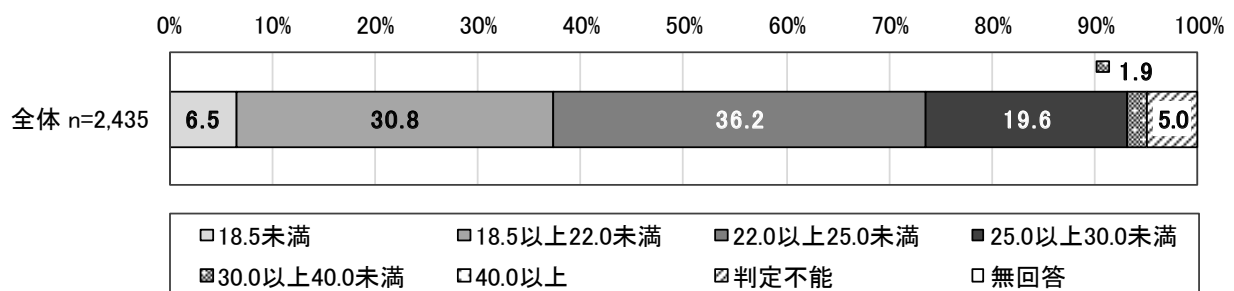


## 4. 食べることについて

「4. 食べることについて」は、身長・体重からBMIを算出し、肥満度の構成を把握するとともに、口腔機能の状況、歯の数と入れ歯の利用状況、だれかと食事をする機会を把握するための項目となっています。

### 問 17. 身長・体重を記入してください。 ★

身長・体重から算出されるBMIについてみると、「22.0以上25.0未満」が36.2%で最も高く、次いで「18.5以上22.0未満」が30.8%、「25.0以上30.0未満」が19.6%となっています。



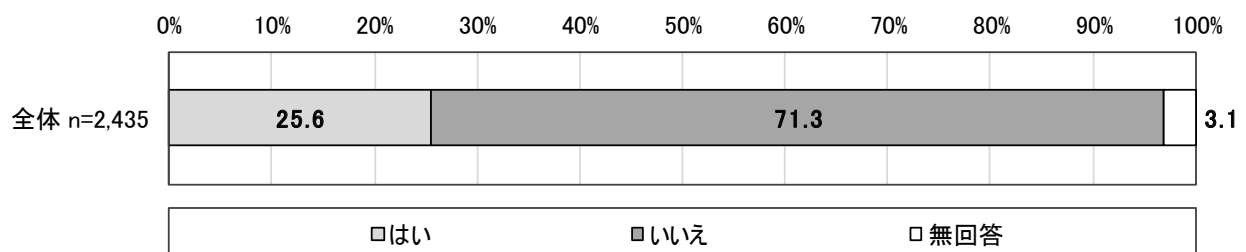
※BMIとは、体重と身長の関係から肥満度を示す体格指数であり、下記の計算式で算出します。

【計算式】  $BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$

- ◆「18.5未満」……………『低体重』
- ◆「18.5以上25.0未満」……………『普通体重』
- ◆「25.0以上」……………『肥満』

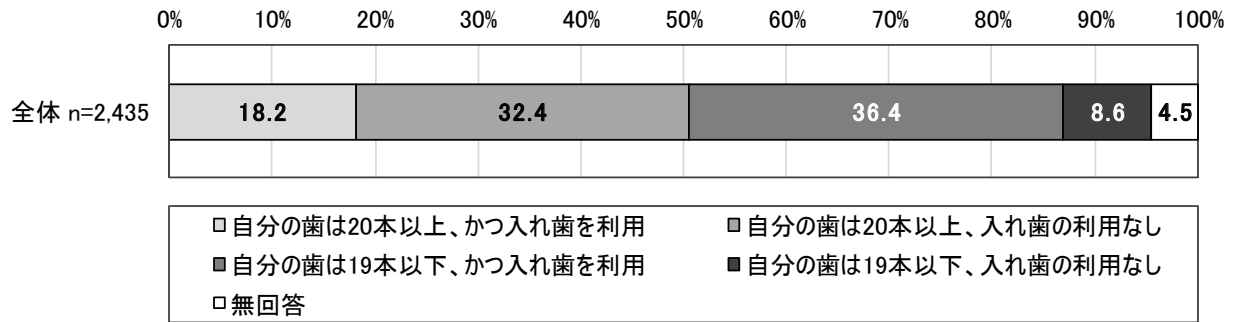
### 問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ) ★

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が25.6%、「いいえ」が71.3%で、「いいえ」が45.7ポイント上回っています。



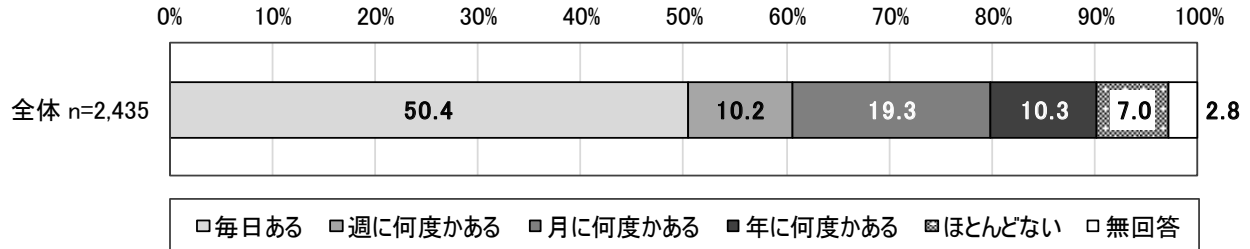
**問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(回答は1つ) ★**

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.4%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が18.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が8.6%となっています。



**問 20. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ) ★**

どなたかと食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が50.4%で最も高く、次いで「月に何度かある」が19.3%、「年に何度かある」が10.3%となっています。



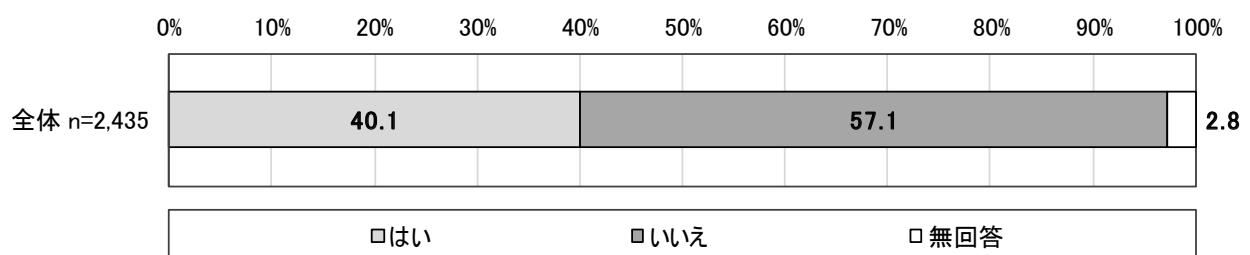


## 5. 毎日の生活について

「5. 毎日の生活について」は、物忘れの状況から認知機能を評価する設問が設けられているとともに、日常生活動作の設問から、手段的自立度（IADL）・知的能動性・社会的役割の評価により、生活機能を総合的に評価する設問が設けられています。また、日常生活において困ったことや今後の生活で心配なことを把握するための項目となっています。

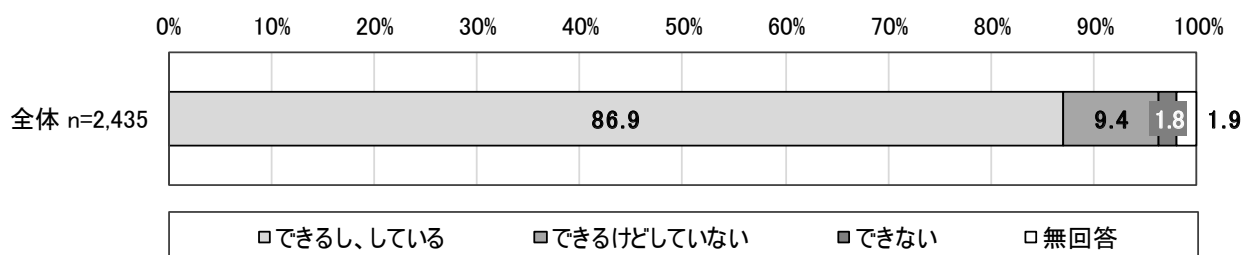
### 問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ) ★

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が40.1%、「いいえ」が57.1%で、「いいえ」が17.0ポイント上回っています。



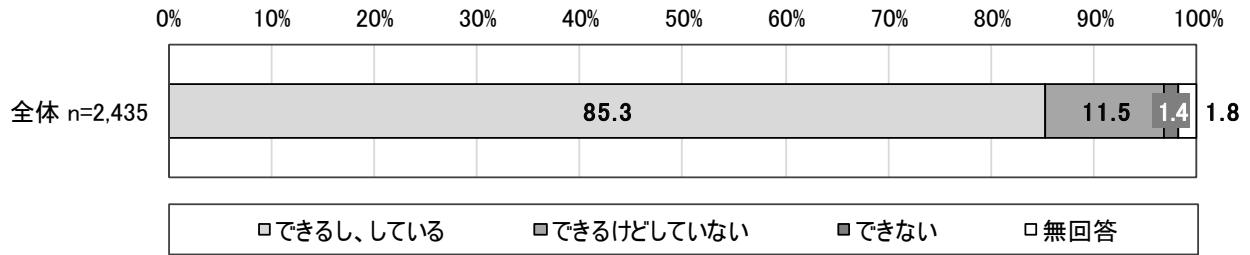
### 問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可) (回答は1つ) ★

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が86.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.4%、「できない」が1.8%となっています。



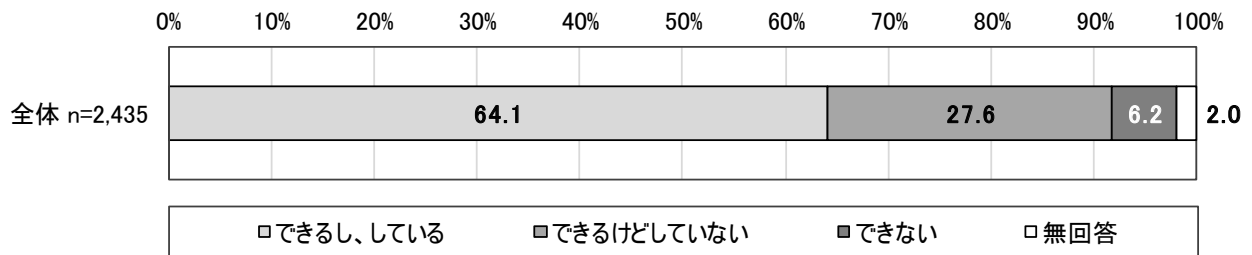
**問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ) ★**

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できるし、している」が 85.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.5%、「できない」が 1.4%となっています。



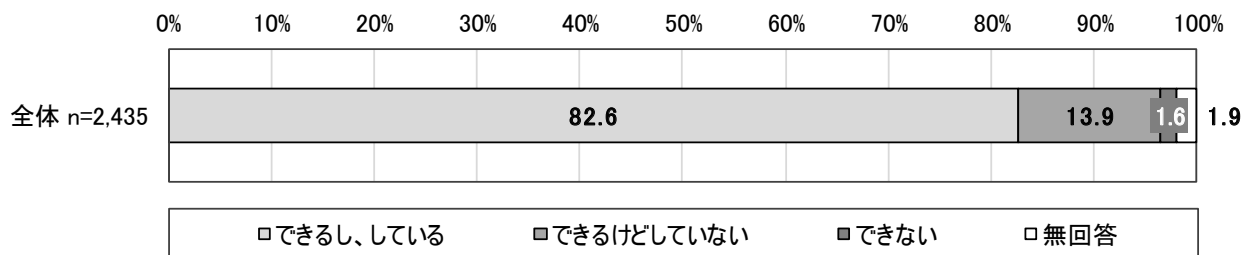
**問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ) ★**

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が 64.1%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 27.6%、「できない」が 6.2%となっています。



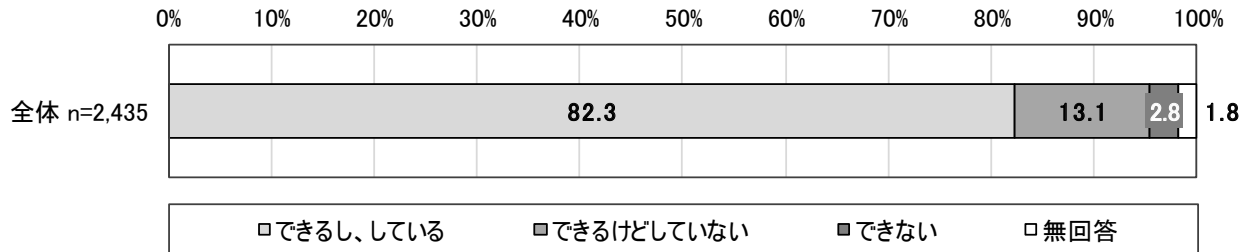
**問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ) ★**

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が 82.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.9%、「できない」が 1.6%となっています。



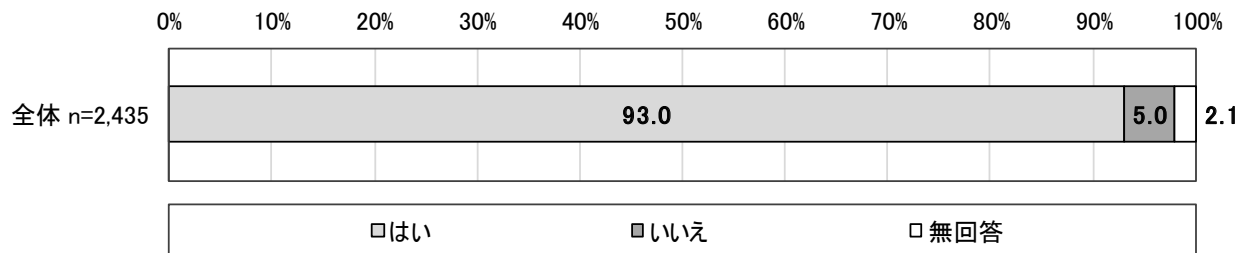
**問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ) ★**

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 82.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.1%、「できない」が 2.8%となっています。



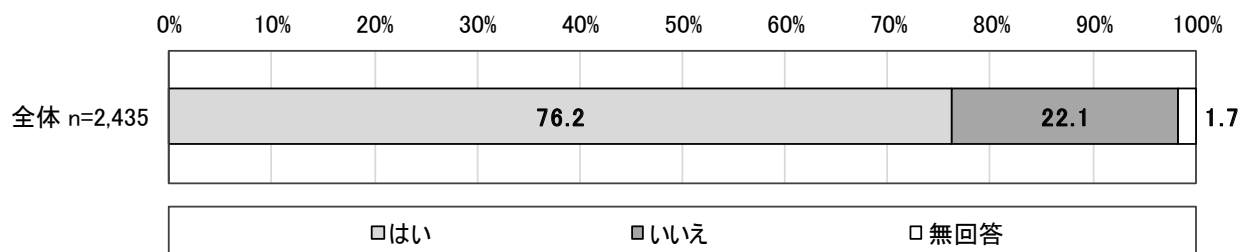
**問 27. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(回答は1つ) ★**

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が 93.0%、「いいえ」が 5.0%で、「はい」が 88.0ポイント上回っています。



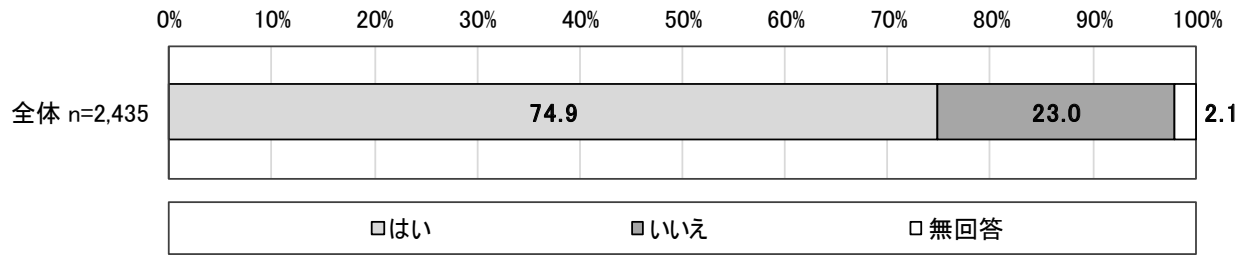
**問 28. 新聞を読んでいますか。(回答は1つ) ★**

新聞を読んでいるかについては、「はい」が 76.2%、「いいえ」が 22.1%で、「はい」が 54.1ポイント上回っています。



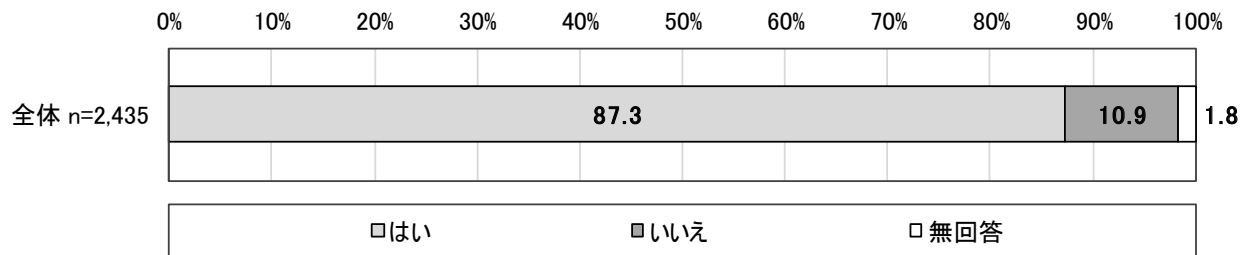
**問 29. 本や雑誌を読んでいますか。(回答は1つ) ★**

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が74.9%、「いいえ」が23.0%で、「はい」が51.9ポイント上回っています。



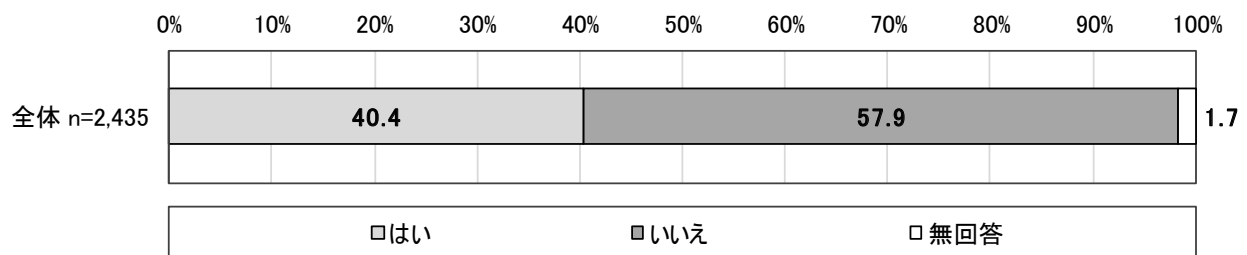
**問 30. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(回答は1つ) ★**

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が87.3%、「いいえ」が10.9%で、「はい」が76.4ポイント上回っています。



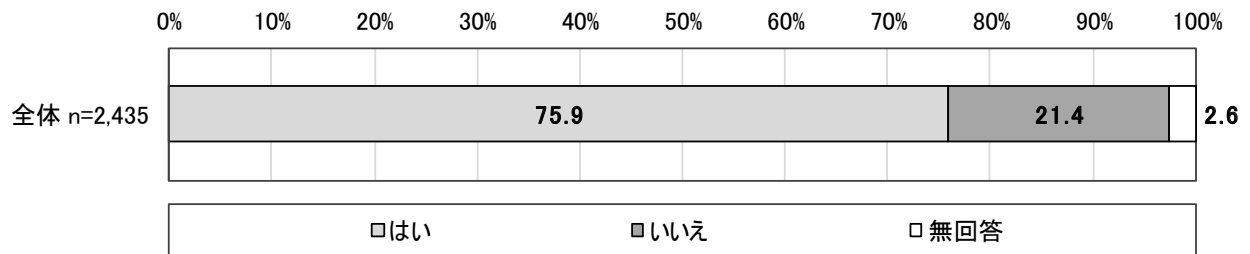
**問 31. 友人の家を訪ねていますか。(回答は1つ) ★**

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が40.4%、「いいえ」が57.9%で、「いいえ」が17.5ポイント上回っています。



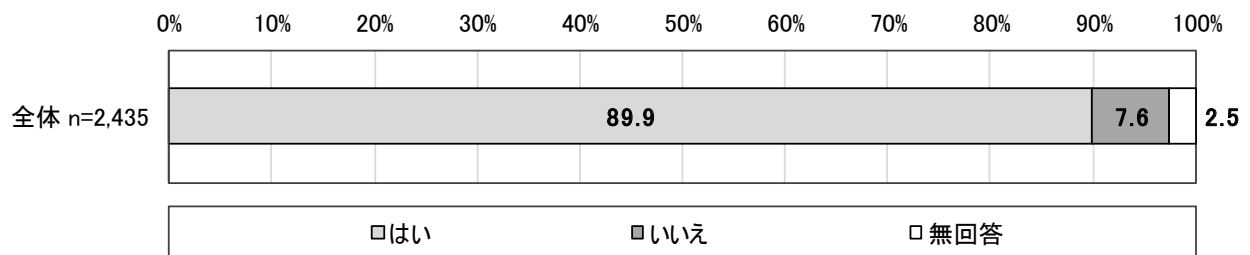
**問 32. 家族や友人の相談にのっていますか。(回答は1つ) ★**

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が 75.9%、「いいえ」が 21.4%で、「はい」が 54.5 ポイント上回っています。



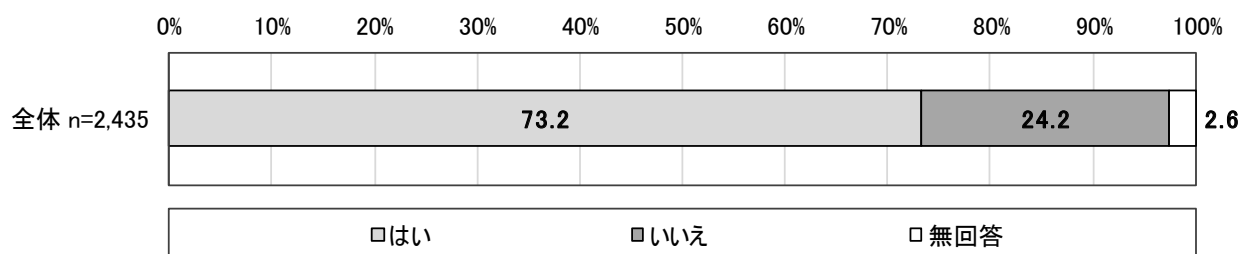
**問 33. 病人を見舞うことができますか。(回答は1つ) ★**

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が 89.9%、「いいえ」が 7.6%で、「はい」が 82.3 ポイント上回っています。



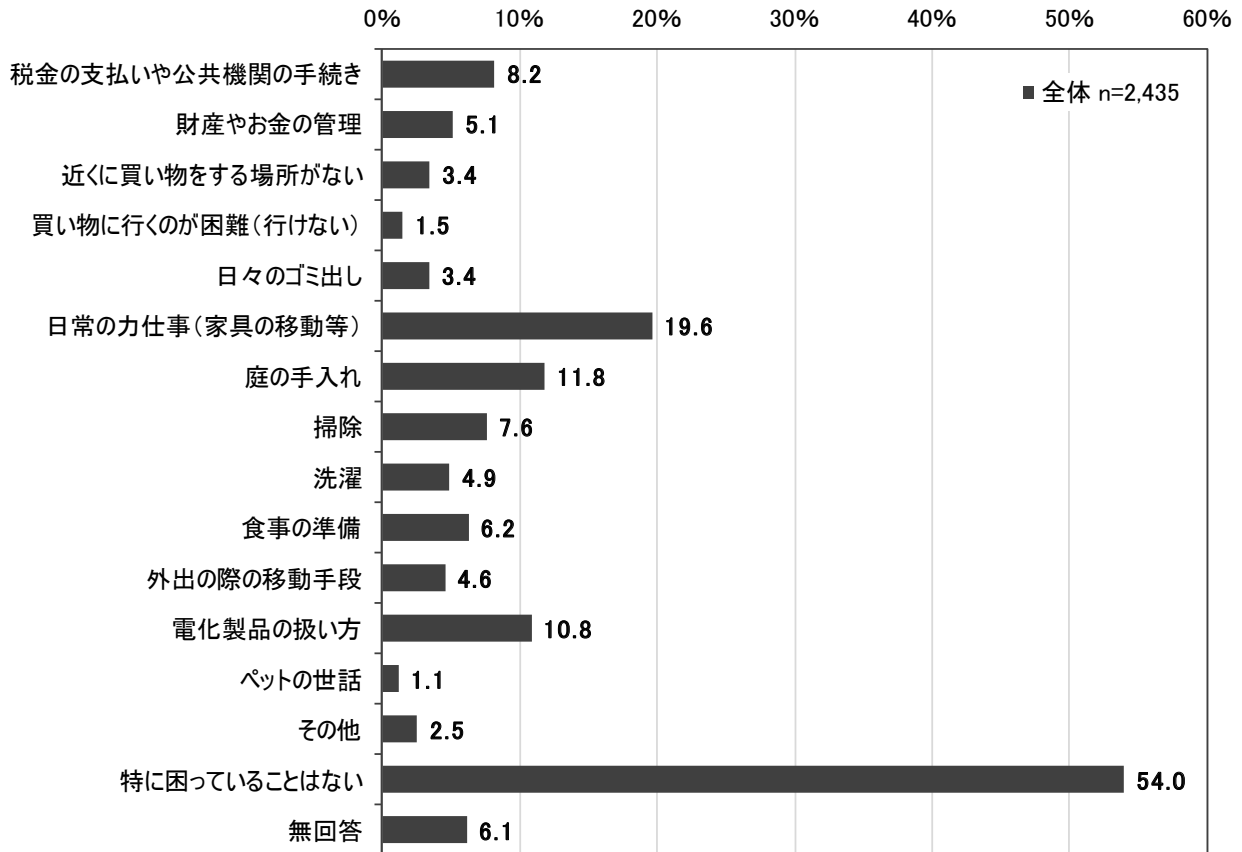
**問 34. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(回答は1つ) ★**

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が 73.2%、「いいえ」が 24.2%で、「はい」が 49.0 ポイント上回っています。



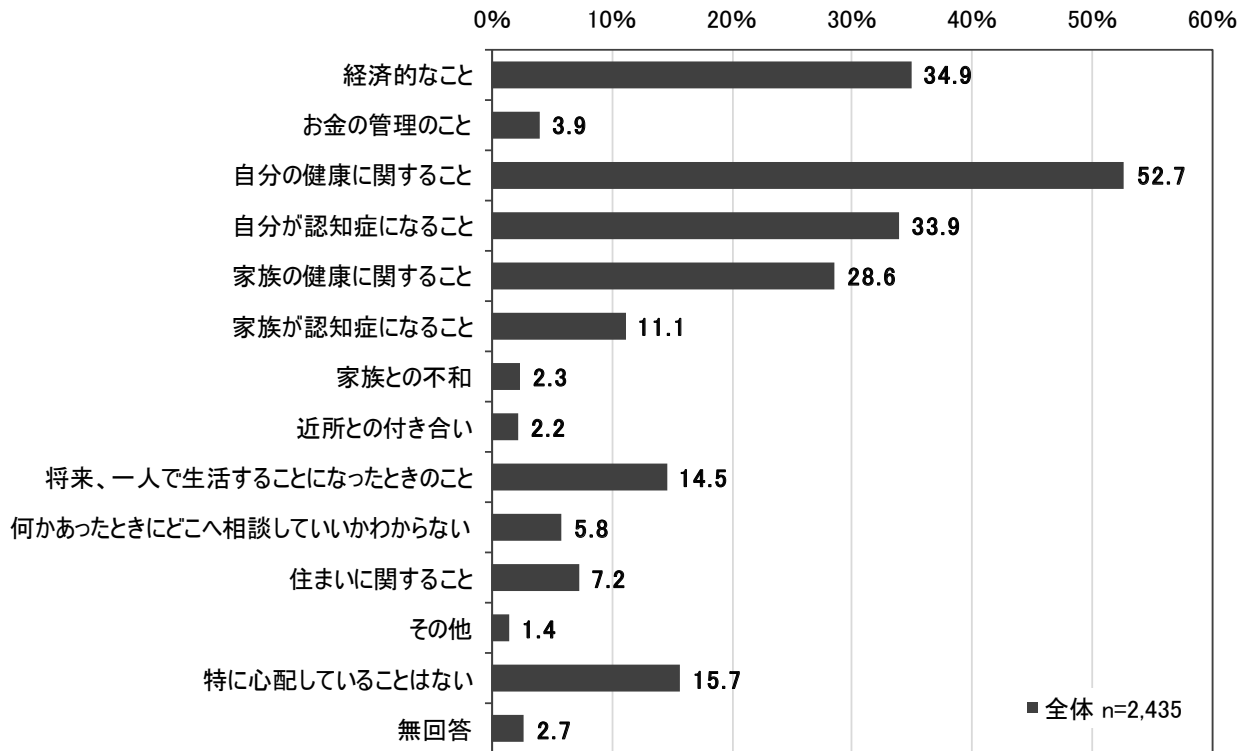
**問 35. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)**

日常生活の中で困ったことがあるかについては、「特に困っていることはない」が 54.0%で最も高く、次いで「日常の力仕事(家具の移動等)」が 19.6%、「庭の手入れ」が 11.8%となっています。



**問 36. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)**

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康に関すること」が52.7%で最も高く、次いで「経済的なこと」が34.9%、「自分が認知症になること」が33.9%となっています。



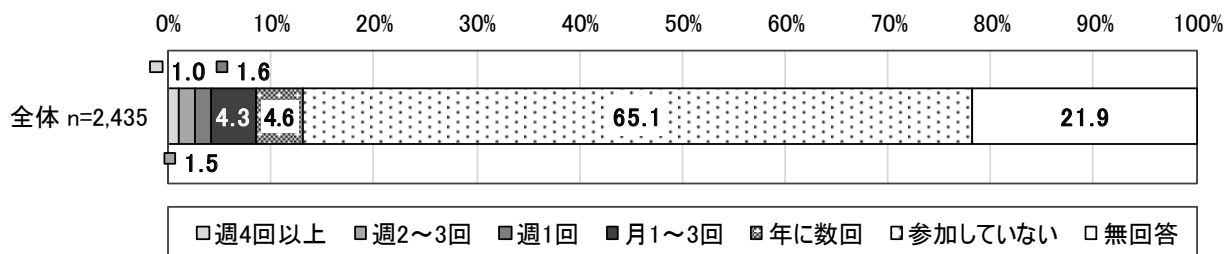
## 6. 地域の活動について

「6. 地域の活動について」は、地域の活動への参加状況、今後希望する地域の活動、地域の活動へ参加者として参加する意向、地域の活動へ企画・運営として参加する意向、地域との関係に対する考え方、手助けが必要な高齢者に対してできること、介護の現場に対する就労意向を把握するための項目となっています。

### 問 37. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ★

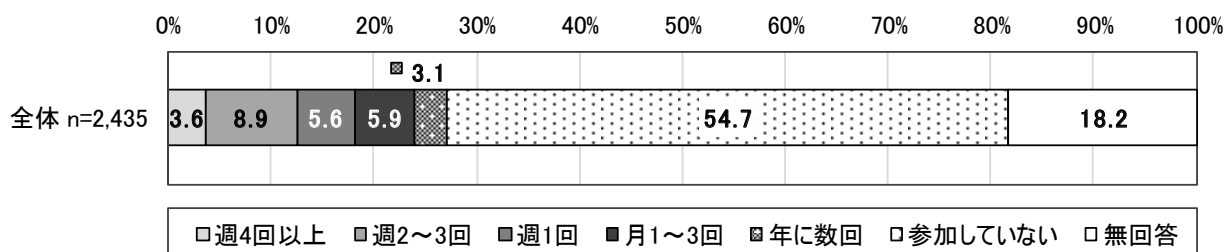
#### ①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、「参加していない」が 65.1%で最も高く、次いで「年に数回」が 4.6%、「月 1～3 回」が 4.3%となっています。



#### ②スポーツ関係のグループやクラブ

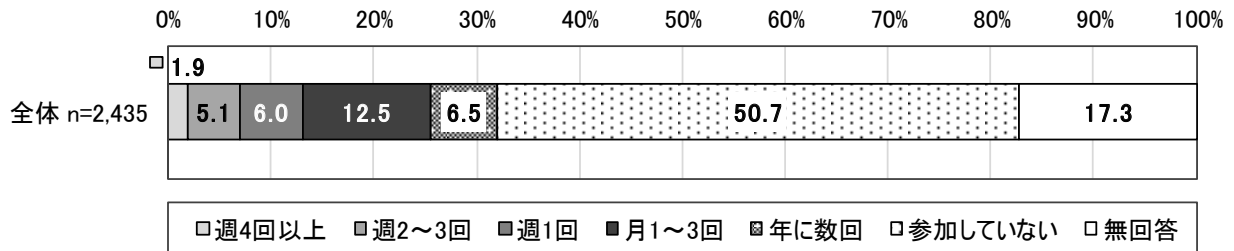
スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、「参加していない」が 54.7%で最も高く、次いで「週 2～3 回」が 8.9%、「月 1～3 回」が 5.9%となっています。





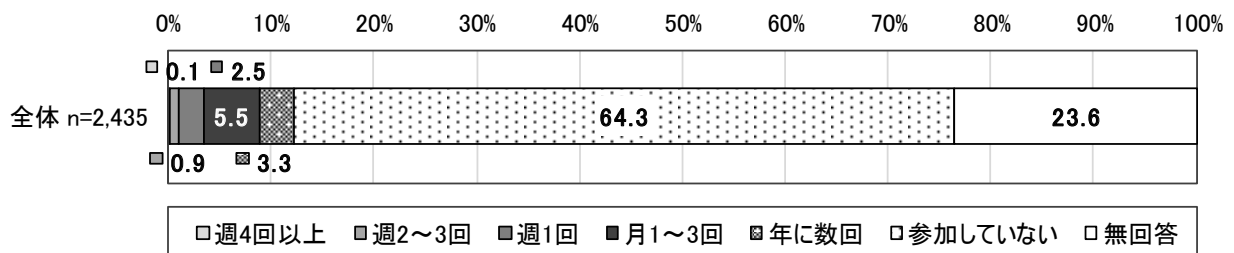
### ③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、「参加していない」が50.7%で最も高く、次いで「月1～3回」が12.5%、「年に数回」が6.5%となっています。



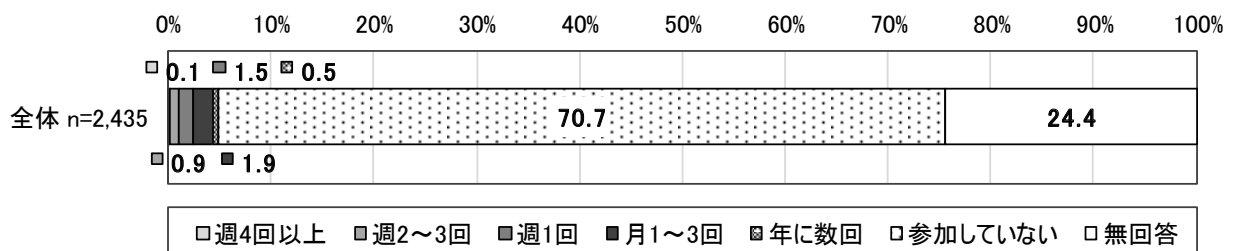
### ④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、「参加していない」が64.3%で最も高く、次いで「月1～3回」が5.5%、「年に数回」が3.3%となっています。



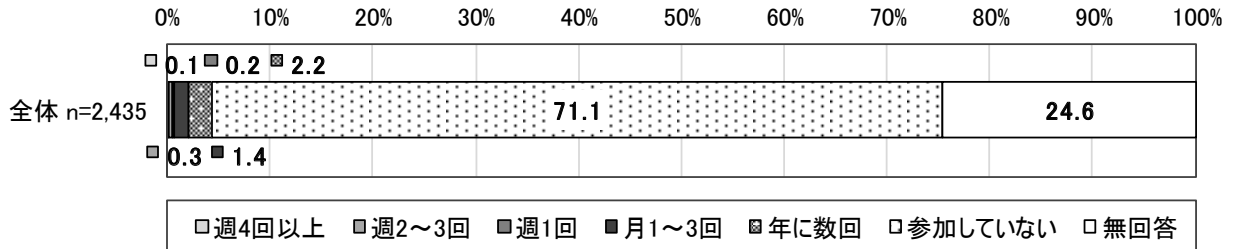
### ⑤介護予防のための通いの場（ところん元気百歳体操、お達者倶楽部など）

介護予防のための通いの場への参加状況については、「参加していない」が70.7%で最も高く、次いで「月1～3回」が1.9%、「週1回」が0.9%となっています。



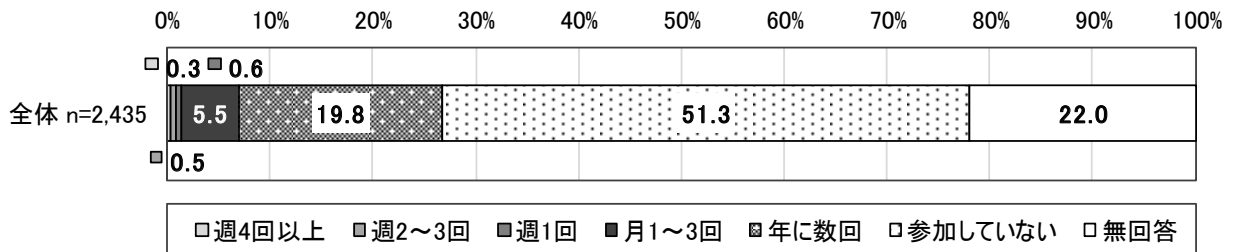
### ⑥長生クラブ

長生クラブへの参加状況については、「参加していない」が71.1%で最も高く、次いで「年に数回」が2.2%、「月1～3回」が1.4%となっています。



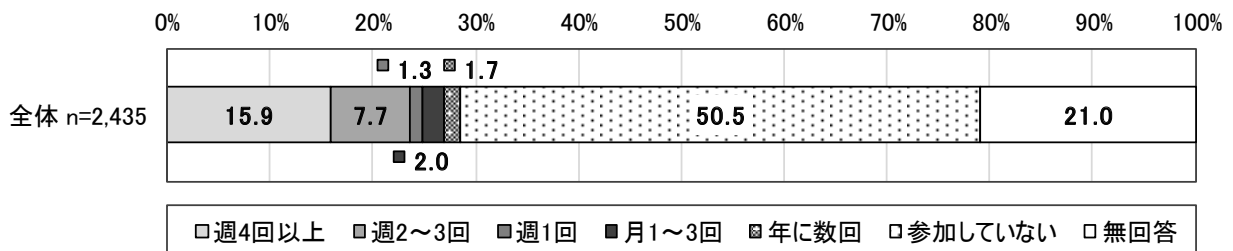
### ⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、「参加していない」が51.3%で最も高く、次いで「年に数回」が19.8%、「月1～3回」が5.5%となっています。



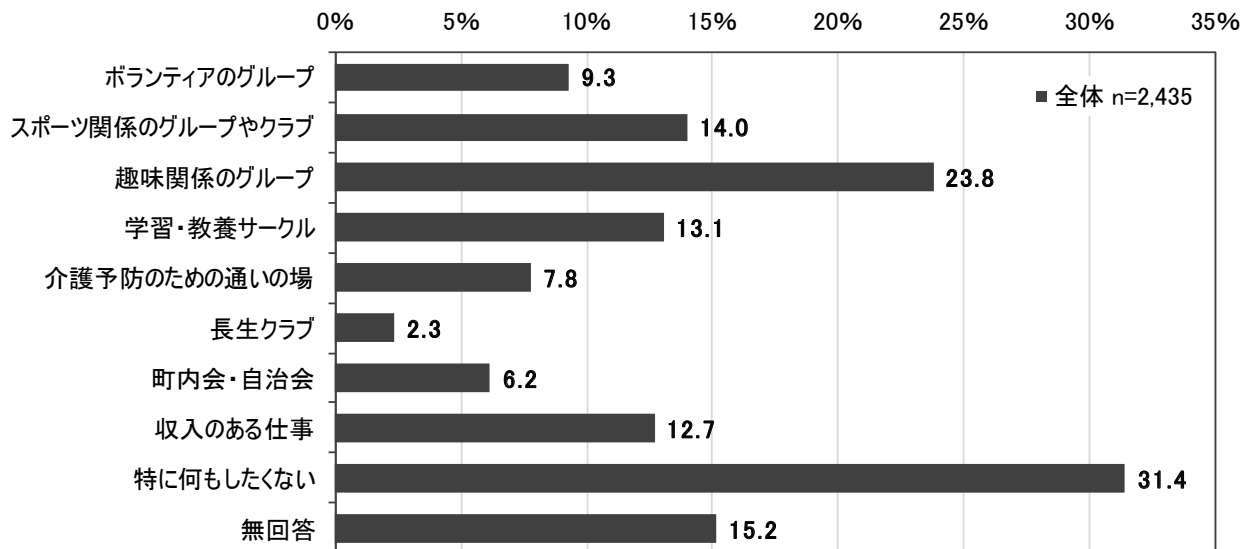
### ⑧収入のある仕事

収入のある仕事への参加状況については、「参加していない」が50.5%で最も高く、次いで「週4回以上」が15.9%、「週2～3回」が7.7%となっています。



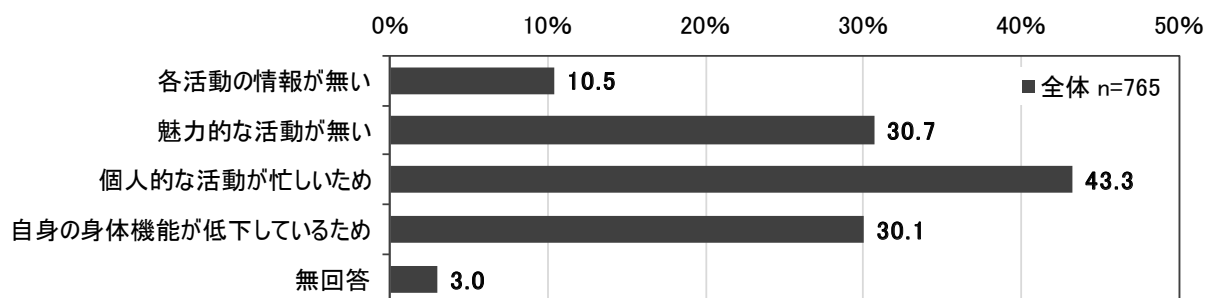
**問 38. あなたが、今後、希望する社会参加（すでに参加しているものを除く）をお答えください。  
（あてはまるものすべてに回答）**

今後、希望する社会参加については、「特に何もしたくない」が 31.4%で最も高く、次いで「趣味関係のグループ」が 23.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 14.0%となっています。



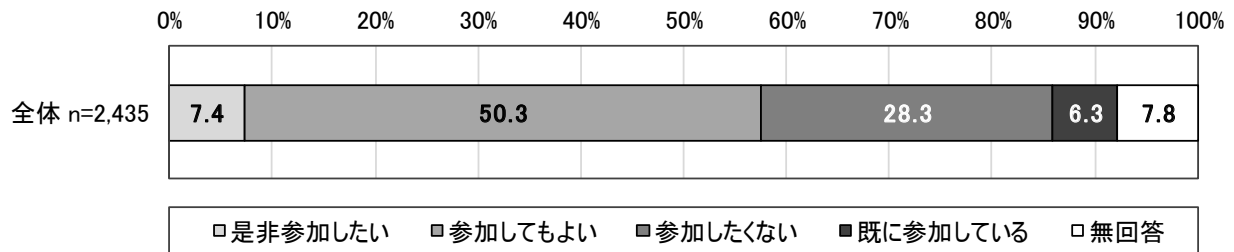
**問 38-1. 【問 38 で「特に何もしたくない」と回答した方におたずねします。】  
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答）**

特に何もしたくない理由については、「個人的な活動が忙しいため」が 43.3%で最も高く、次いで「魅力的な活動が無い」が 30.7%、「自身の身体機能が低下しているため」が 30.1%となっています。



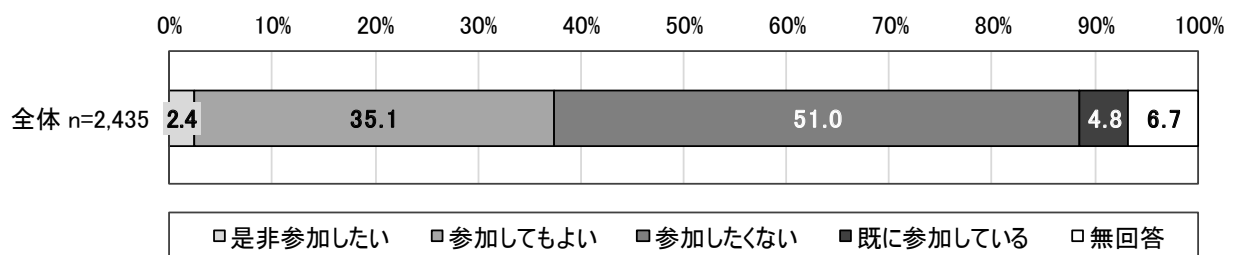
**問 39. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。**  
 (回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加してもよい」が50.3%で最も高く、次いで「参加したくない」が28.3%、「是非参加したい」が7.4%となっています。



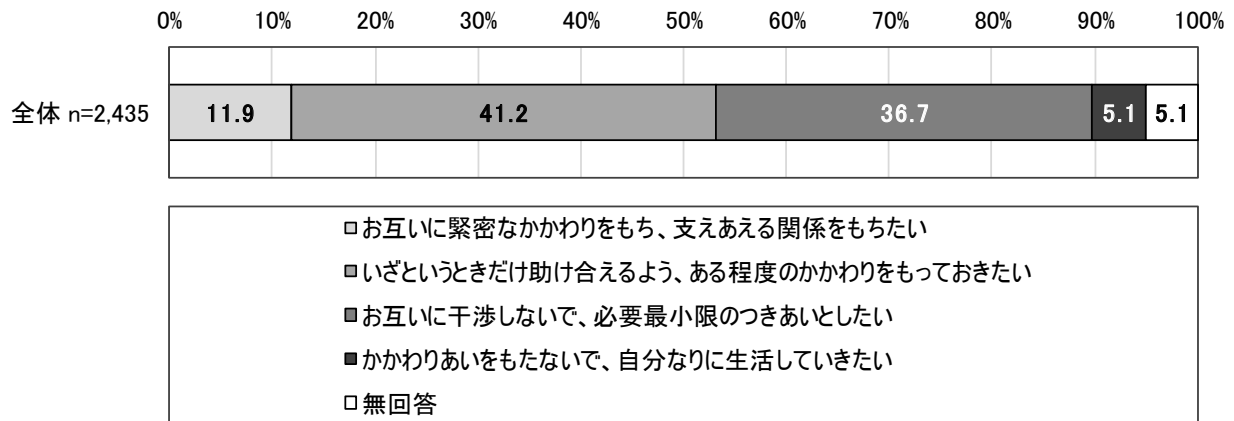
**問 40. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。** (回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が51.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が35.1%、「既に参加している」が4.8%となっています。



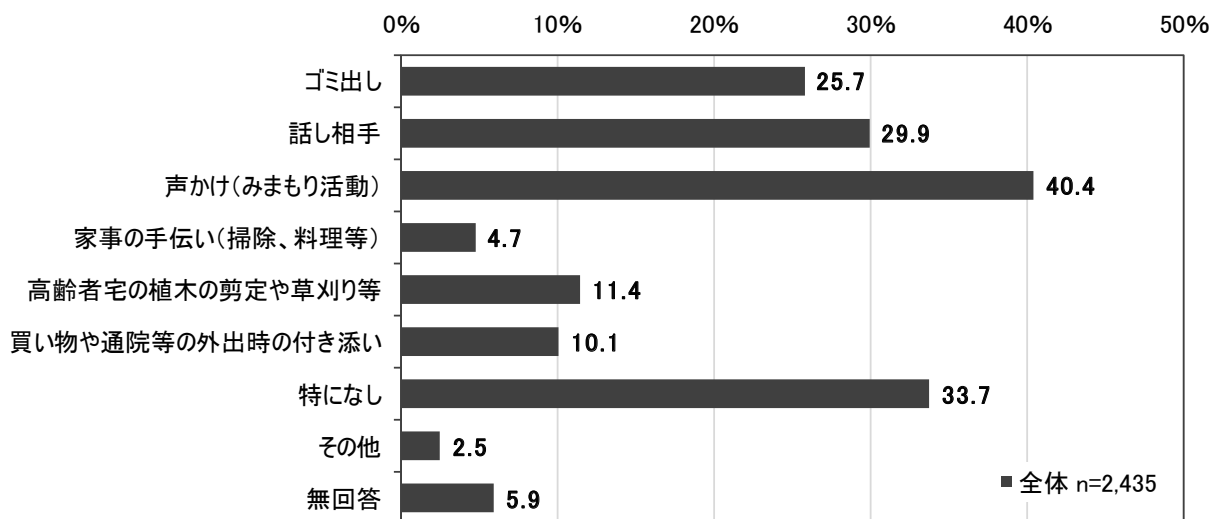
**問 41. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)**

地域との関係性については、「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」が 41.2%で最も高く、次いで「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」が 36.7%、「お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい」が 11.9%となっています。



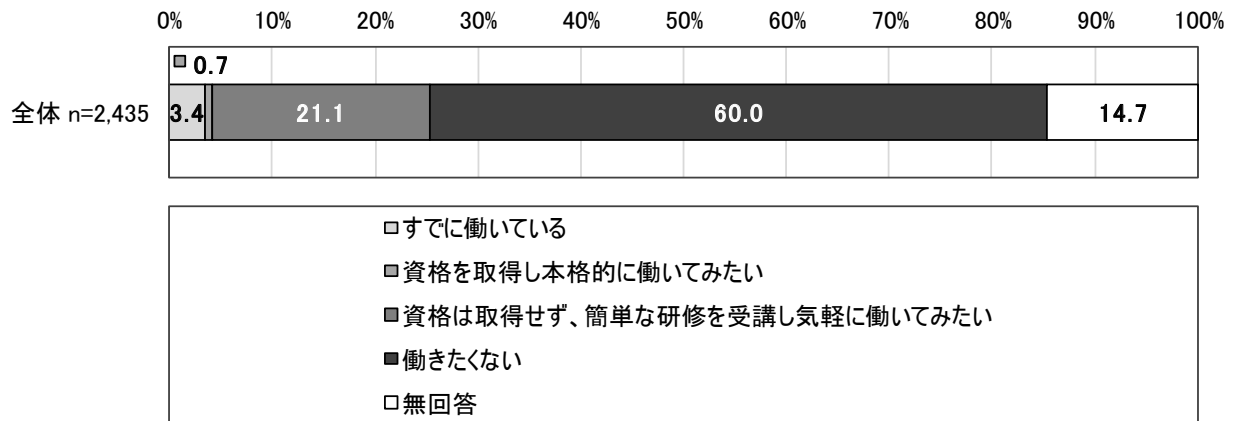
**問 42. あなたがお住まいになられている地域において、手助け等が必要な高齢者に対して、どのようなボランティア活動ができますか。(あてはまるものすべてに回答)**

手助け等が必要な高齢者に対して、できるボランティア活動については、「声かけ(みまもり活動)」が 40.4%で最も高く、次いで「特になし」が 33.7%、「話し相手」が 29.9%となっています。



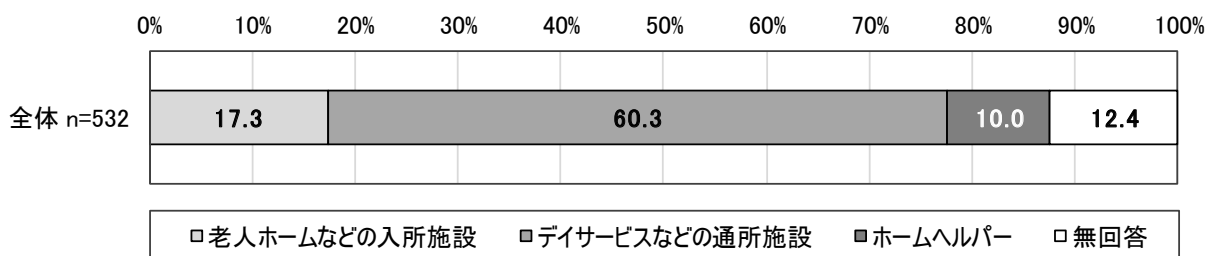
**問 43. 現在、介護の現場では介護人材の確保が課題となっています。介護の現場で、あなたの生活状況に応じた働き方ができるとしたら、どのように思いますか。（回答は1つ）**

介護の現場で働くことについては、「働きたくない」が 60.0%で最も高く、次いで「資格は取得せず、簡単な研修を受講し気軽に働いてみたい」が 21.1%、「すでに働いている」が 3.4%となっています。



**問 43-1. 【問 43 で「資格を取得し本格的に働いてみたい」、「資格は取得せず、簡単な研修を受講し気軽に働いてみたい」と回答した方におたずねします。】  
どのような現場で働いてみたいですか。（回答は1つ）**

どのような現場で働いてみたいかについては、「デイサービスなどの通所施設」が 60.3%で最も高く、次いで「老人ホームなどの入所施設」が 17.3%、「ホームヘルパー」が 10.0%となっています。

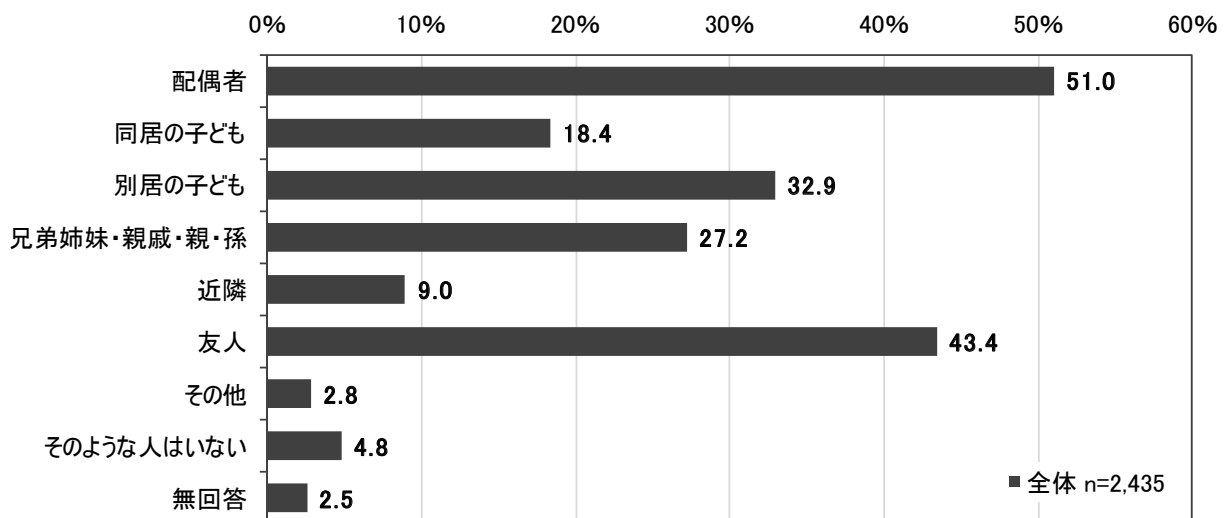


## 7. たすけあいについて

「7. たすけあいについて」は、心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人、してあげる人を把握するための項目となっています。

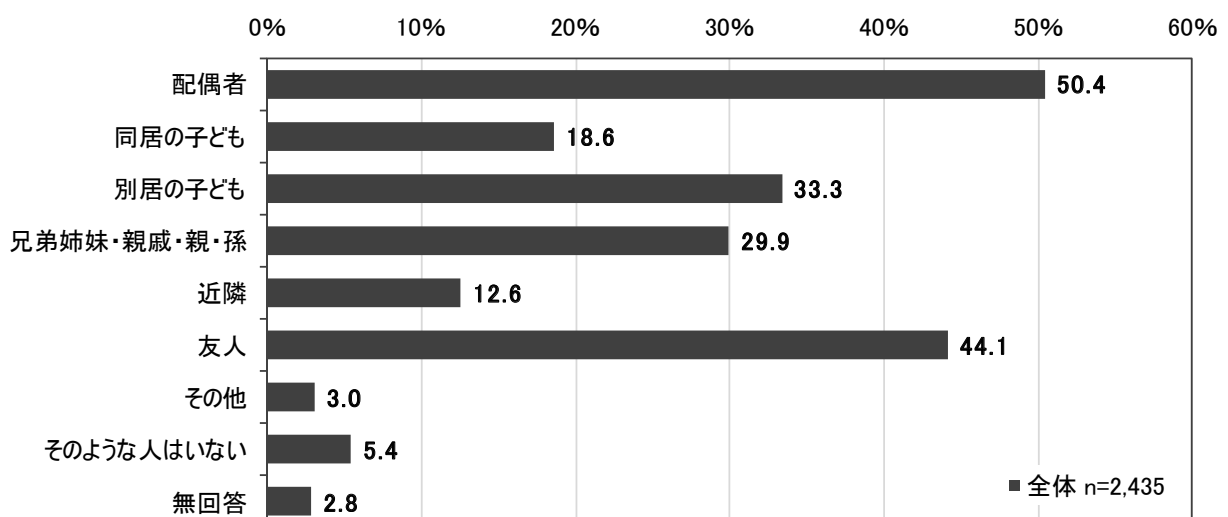
**問 44. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、どのような人ですか。**  
 （あてはまるものすべてに回答） ★

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 51.0%で最も高く、次いで「友人」が 43.4%、「別居の子ども」が 32.9%となっています。



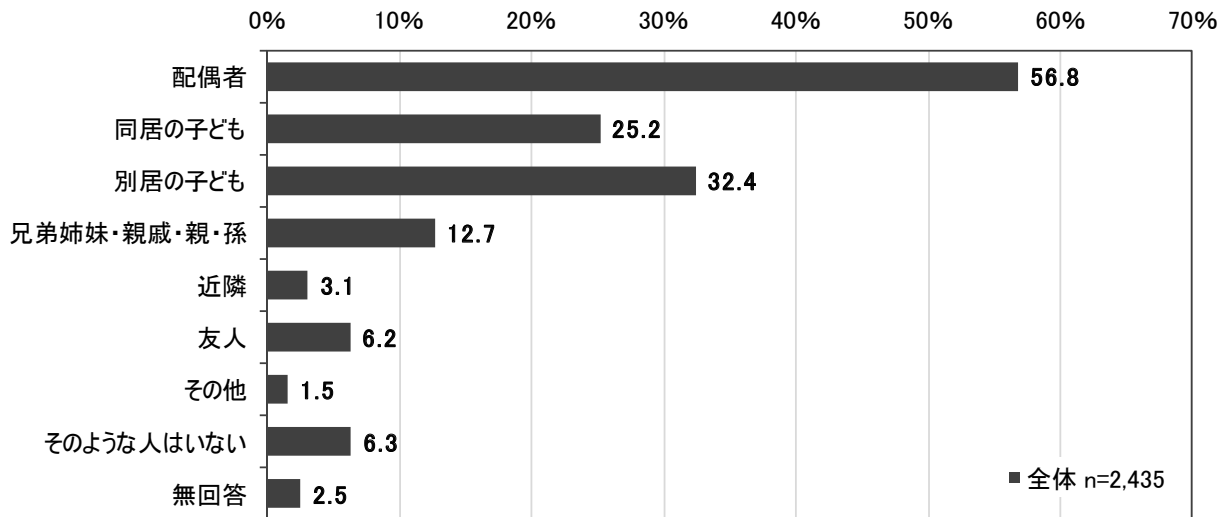
**問 45. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、どのような人ですか。**  
 （あてはまるものすべてに回答） ★

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 50.4%で最も高く、次いで「友人」が 44.1%、「別居の子ども」が 33.3%となっています。



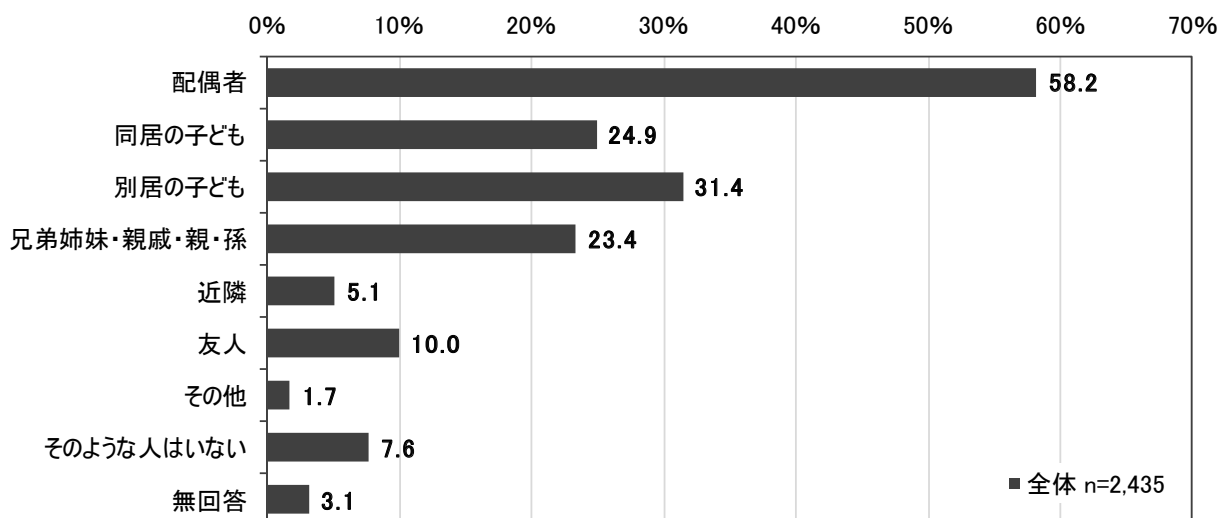
**問 46. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。  
(あてはまるものすべてに回答) ★**

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が 56.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 32.4%、「同居の子ども」が 25.2%となっています。



**問 47. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、どのような人ですか。  
(あてはまるものすべてに回答) ★**

あなたが看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が 58.2%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 31.4%、「同居の子ども」が 24.9%となっています。



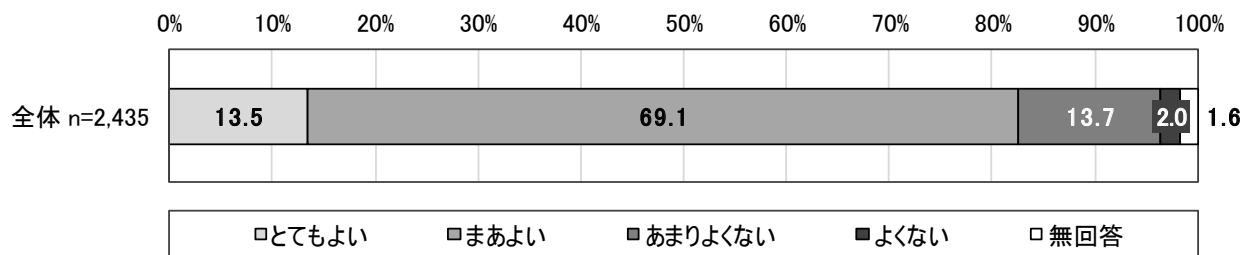


## 8. 健康について

「8. 健康について」は、現在の健康状態や健診などの受診状況、現在の幸福感、現在の心の状況、喫煙状況、病気の有無、かかりつけ医等の有無、介護に対する意向、終末期の意向を把握するための項目となっています。

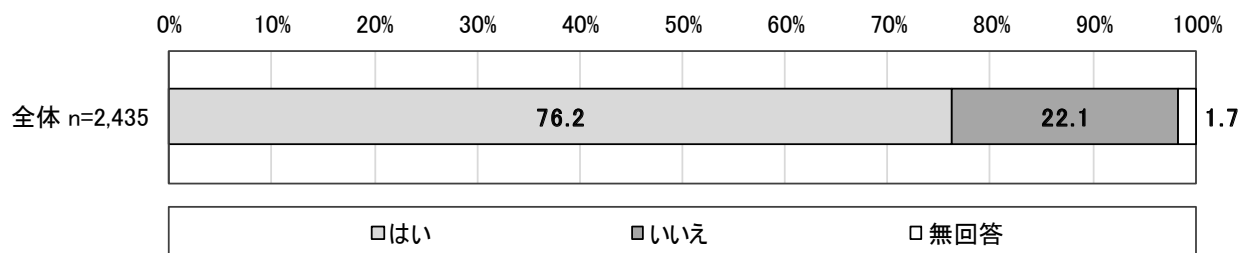
### 問 48. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ) ★

現在の健康状態については、「まあよい」が69.1%で最も高く、次いで「あまりよくない」が13.7%、「とてもよい」が13.5%、「よくない」が2.0%となっています。



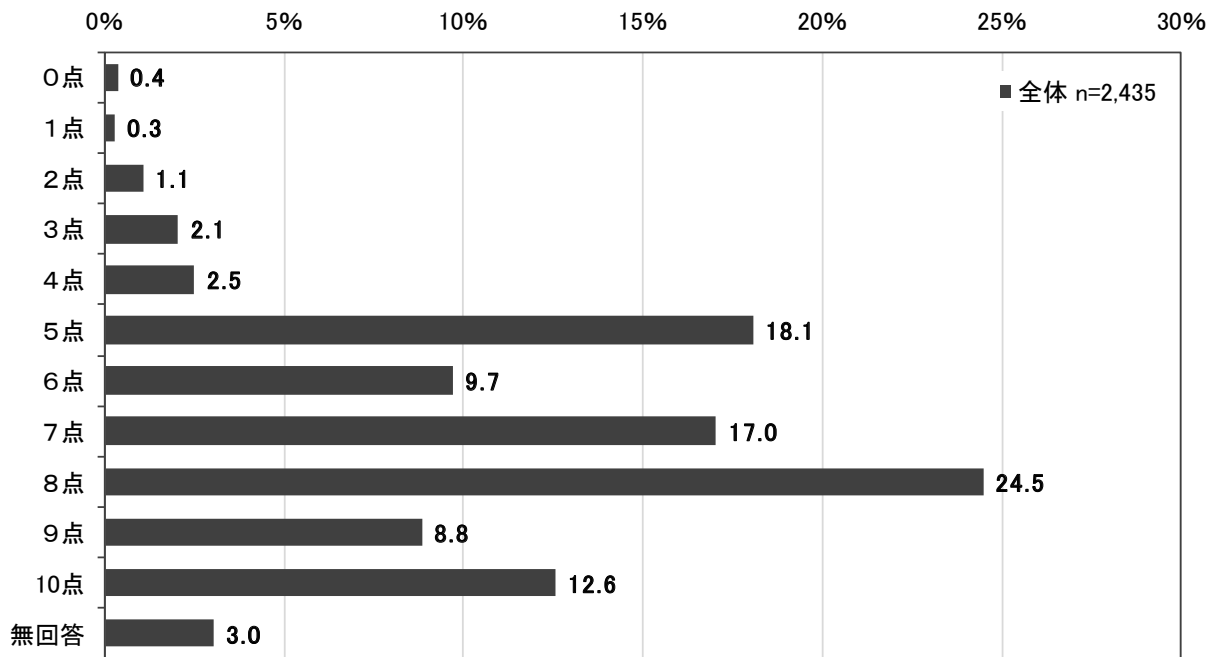
### 問 49. 過去1年間に健診（健康診断や健康診査）、人間ドックを受けましたか。(回答は1つ)

過去1年間に健診、人間ドックを受けたかについては、「はい」が76.2%、「いいえ」が22.1%で、「はい」が54.1ポイント上回っています。



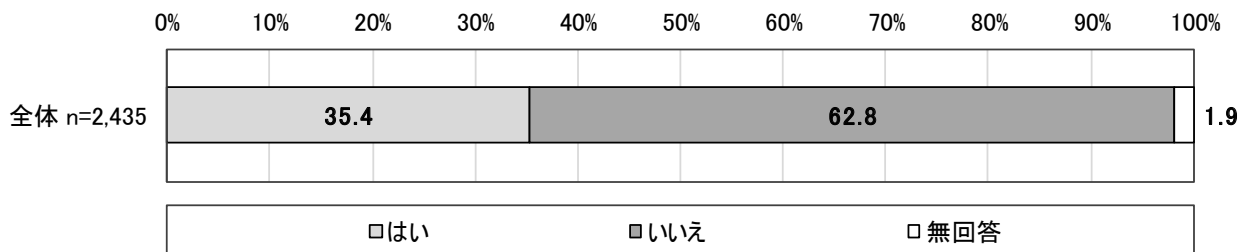
**問 50. あなたは、現在どの程度幸せですか。(回答は1つ) ★**

現在の幸福感については、「8点」が24.5%で最も高く、次いで「5点」が18.1%、「7点」が17.0%、「10点」が12.6%、「6点」が9.7%となっています。「5点」～「10点」の合計値で90.7%の割合を占めています。



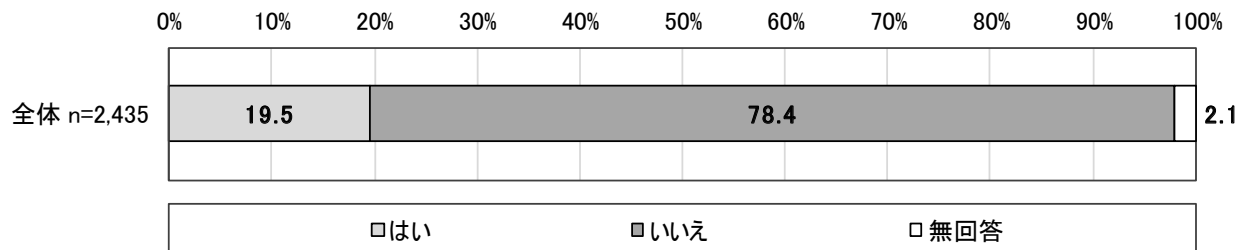
**問 51. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(回答は1つ) ★**

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が35.4%、「いいえ」が62.8%で、「いいえ」が27.4ポイント上回っています。



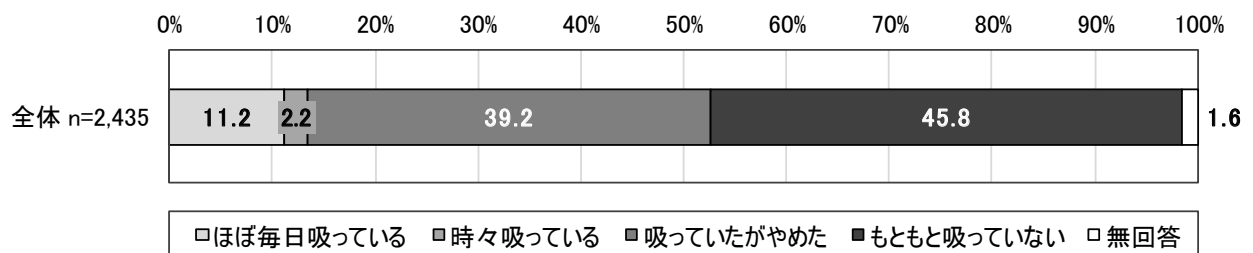
**問 52. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ) ★**

この1か月間、物事に対して興味がわかない、楽しめない感じがあったかについては、「はい」が19.5%、「いいえ」が78.4%で、「いいえ」が58.9ポイント上回っています。



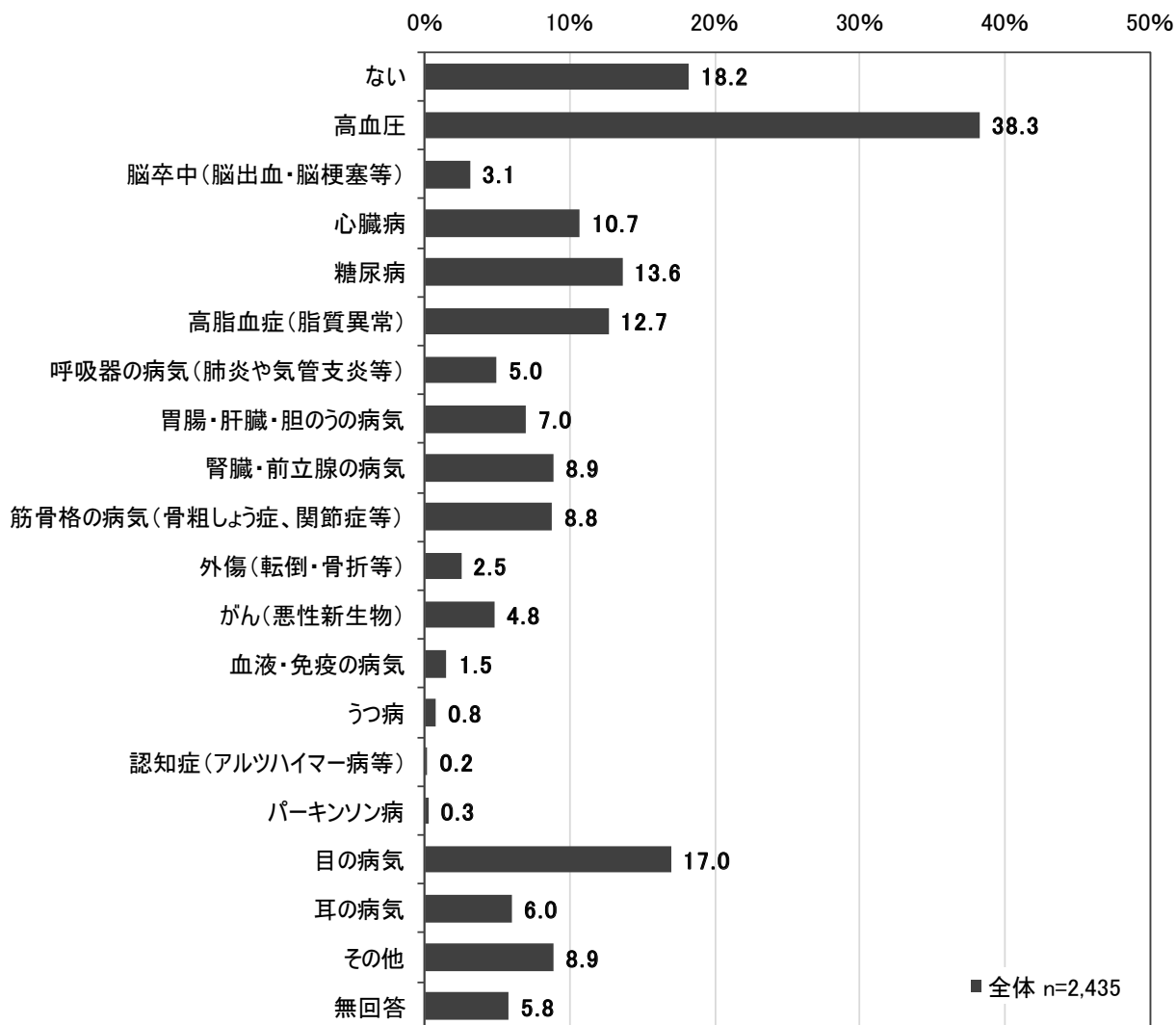
**問 53. タバコは吸っていますか。(回答は1つ) ★**

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が45.8%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が39.2%、「ほぼ毎日吸っている」が11.2%、「時々吸っている」が2.2%となっています。



**問 54. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに回答) ★**

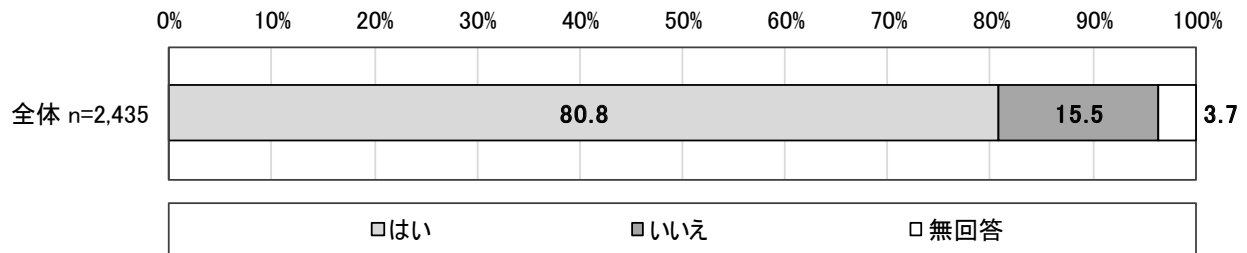
現在治療中、または後遺症のある病気があるかについては、「高血圧」が 38.3%で最も高く、次いで「ない」が 18.2%、「目の病気」が 17.0%となっています。



問 55. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

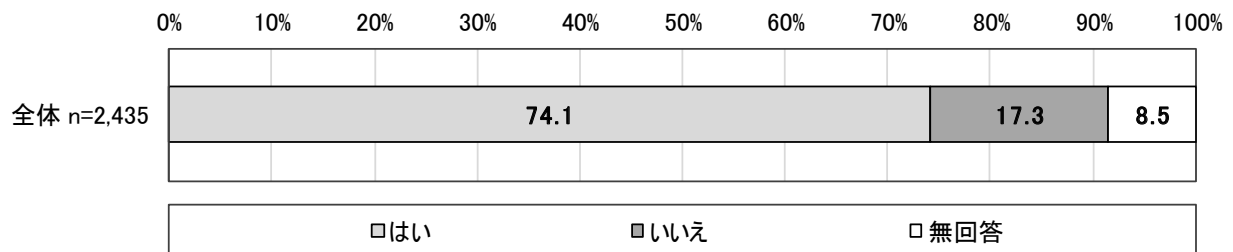
①かかりつけの医師はいますか

かかりつけの医師がいるかについては、「はい」が80.8%、「いいえ」が15.5%で、「はい」が65.3ポイント上回っています。



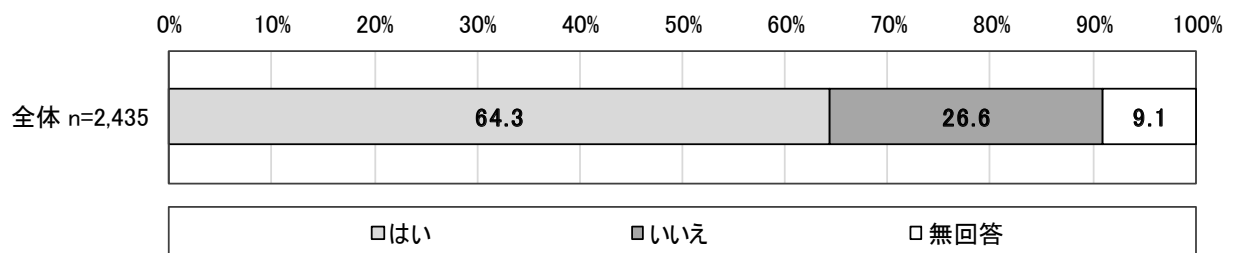
②かかりつけの歯科医はいますか

かかりつけの歯科医がいるかについては、「はい」が74.1%、「いいえ」が17.3%で、「はい」が56.8ポイント上回っています。



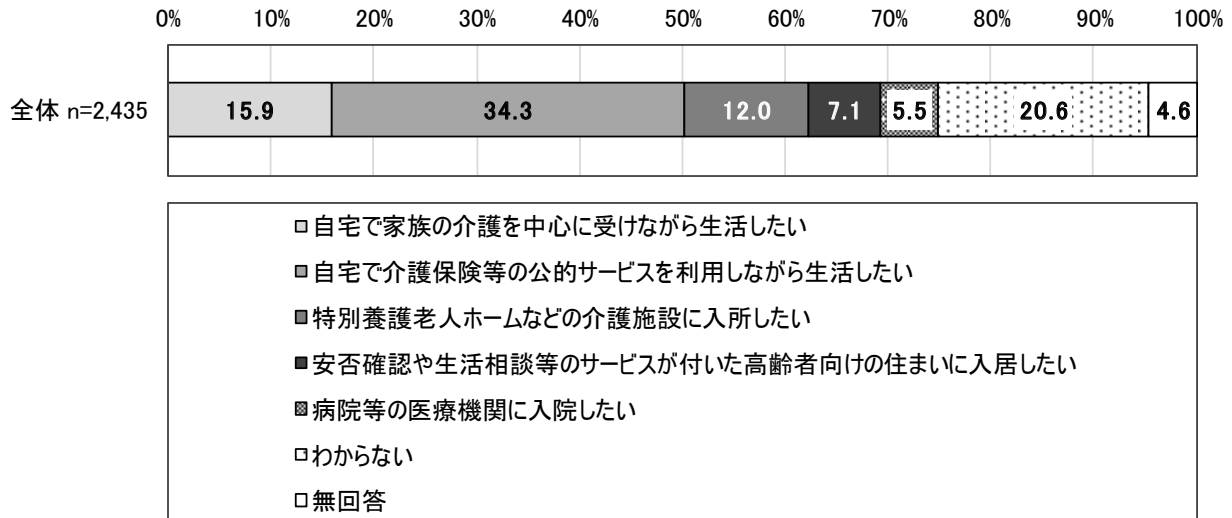
③かかりつけの薬局はありますか

かかりつけの薬局があるかについては、「はい」が64.3%、「いいえ」が26.6%で、「はい」が37.7ポイント上回っています。



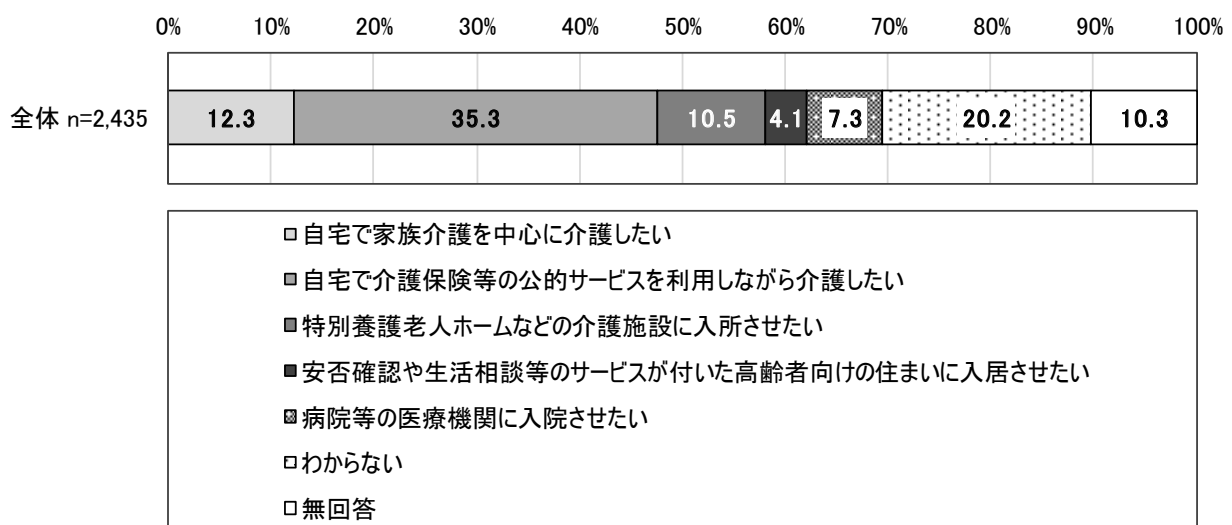
**問 56. あなた自身が介護を必要とする状態となった場合に、どのようにしたいですか。(回答は1つ)**

自身が介護を必要とする状態になった場合の生活については、「自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら生活したい」が34.3%で最も高く、次いで「わからない」が20.6%、「自宅で家族の介護を中心に受けながら生活したい」が15.9%となっています。



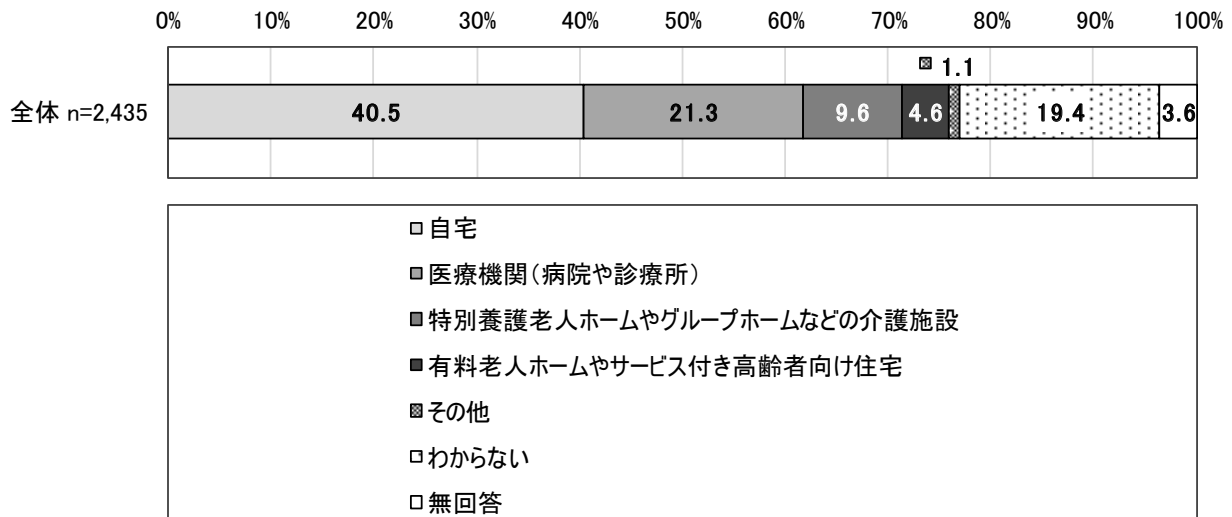
**問 57. ご家族が介護を必要とする状態になった場合に、どのようにしたいですか。(回答は1つ)**

家族が介護を必要とする状態になった場合の生活については、「自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら介護したい」が35.3%で最も高く、次いで「わからない」が20.2%、「自宅で家族介護を中心に介護したい」が12.3%となっています。



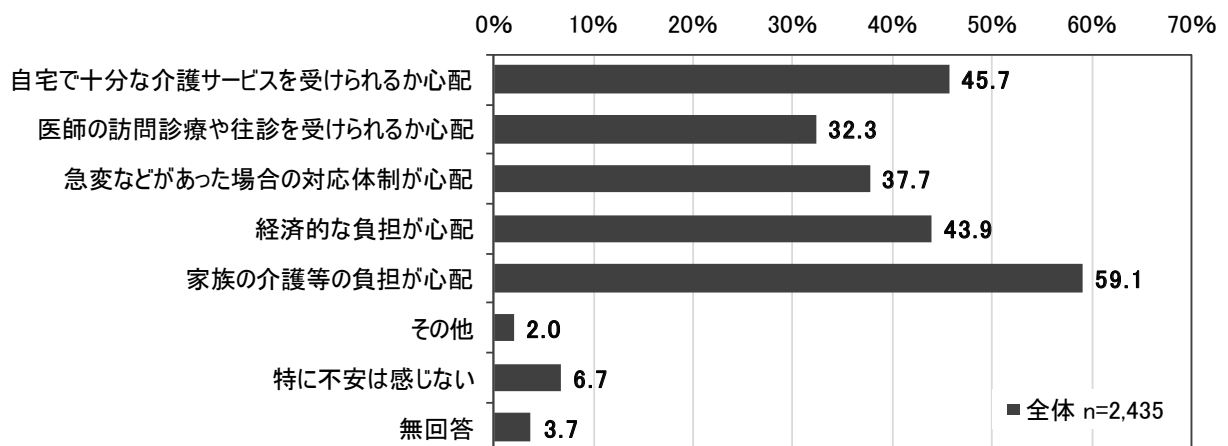
**問 58. あなたは、終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）をどこで過ごしたいと思いますか。（回答は1つ）**

終末期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が 40.5%で最も高く、次いで「医療機関（病院や診療所）」が 21.3%、「わからない」が 19.4%となっています。



**問 59. 終末期の在宅での生活について、どのようなことに不安を感じますか。（あてはまるものすべてに回答）**

終末期について、どのようなことに不安を感じるかについては、「家族の介護等の負担が心配」が 59.1%で最も高く、次いで「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」が 45.7%、「経済的な負担が心配」が 43.9%となっています。

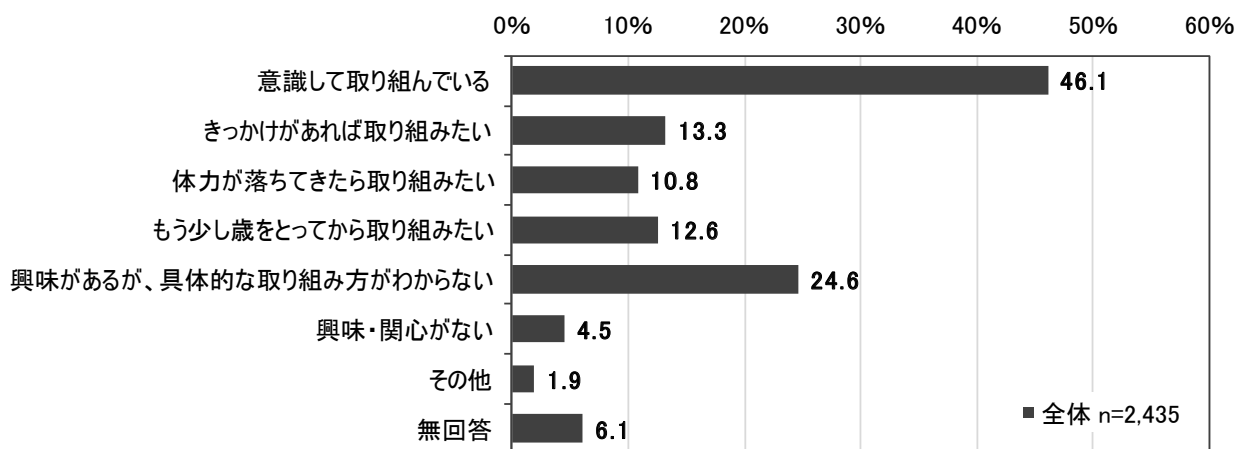


## 9. 介護予防・認知症施策について

「9. 介護予防・認知症施策について」は、介護予防への取り組み状況等、各種認知症施策等に係る認知度や認知症の状況を把握するための項目となっています。

**問 60. 寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか。**  
**(あてはまるものすべてに回答)**

介護予防に取り組んでいるかについては、「意識して取り組んでいる」が 46.1%で最も高く、次いで「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」が 24.6%、「きっかけがあれば取り組みたい」が 13.3%、「きっかけがあれば取り組みたい」が 13.3%となっています。

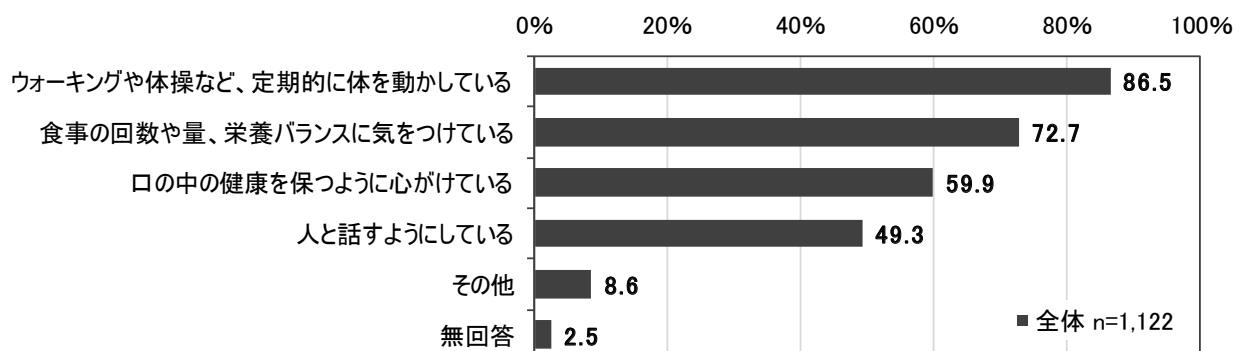


**問 60-1. 【問 60 で「意識して取り組んでいる」と回答した方におたずねします。】**

介護予防として、どのようなことに取り組んでいますか。また、取り組んでいる項目について、意識して取り組み始めた年齢をご記入ください。

(あてはまるものすべてに回答、該当する口内に数字をご記入ください)

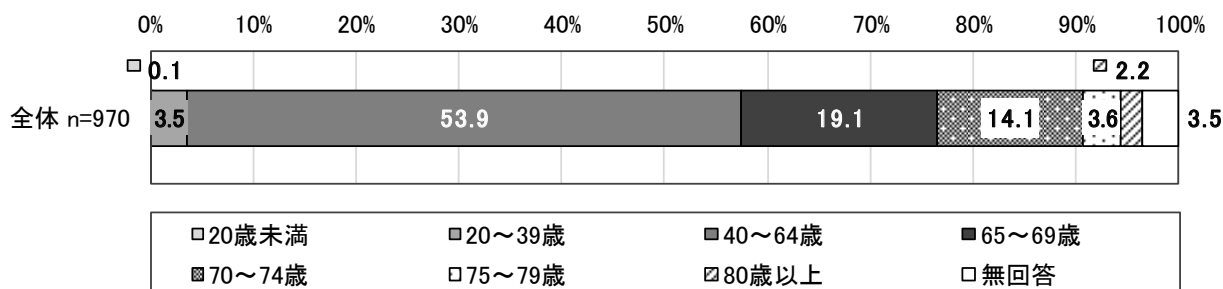
取り組んでいる介護予防については、「ウォーキングや体操など、定期的に体を動かしている」が 86.5%で最も高く、次いで「食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている」が 72.7%、「口の中の健康を保つように心がけている」が 59.9%となっています。





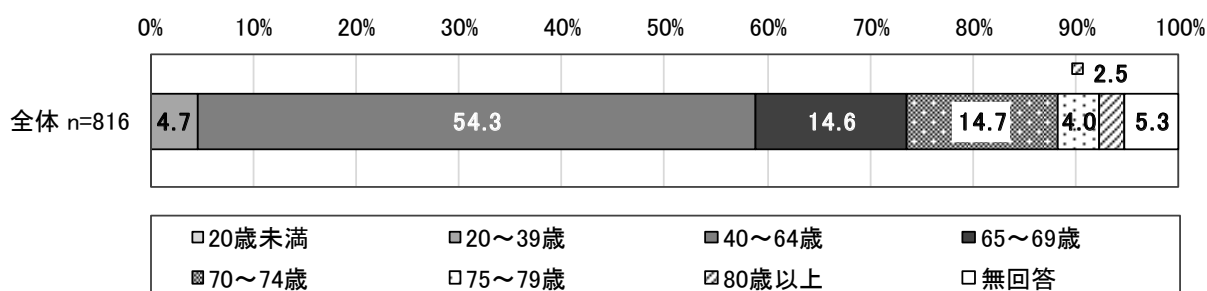
①ウォーキングや体操（ストレッチ）など、定期的に体を動かしている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が53.9%で最も高く、次いで「65～69歳」が19.1%、「70～74歳」が14.1%となっています。



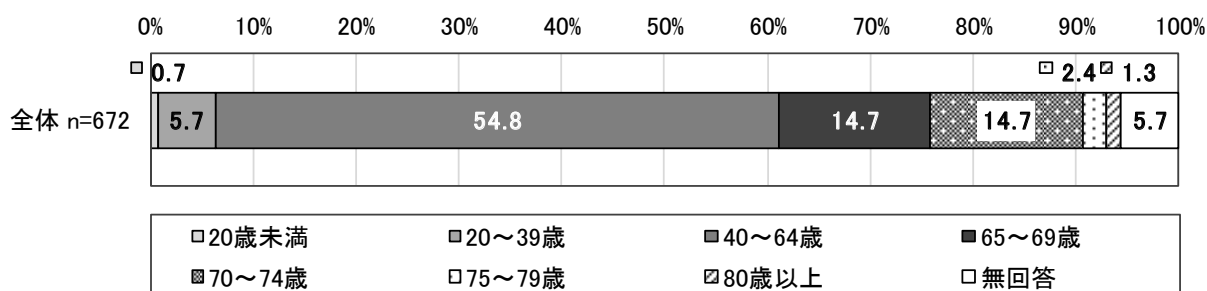
②食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が54.3%で最も高く、次いで「70～74歳」が14.7%、「65～69歳」が14.6%となっています。



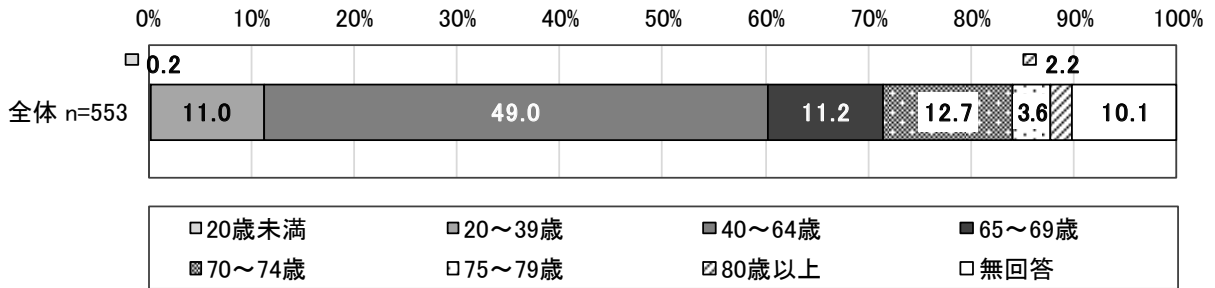
③口の中の健康を保つように心がけている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が54.8%で最も高く、次いで「65～69歳」「70～74歳」がともに14.7%、「20～39歳」が5.7%となっています。



④人と話すようにしている（取り組み始めた年齢）

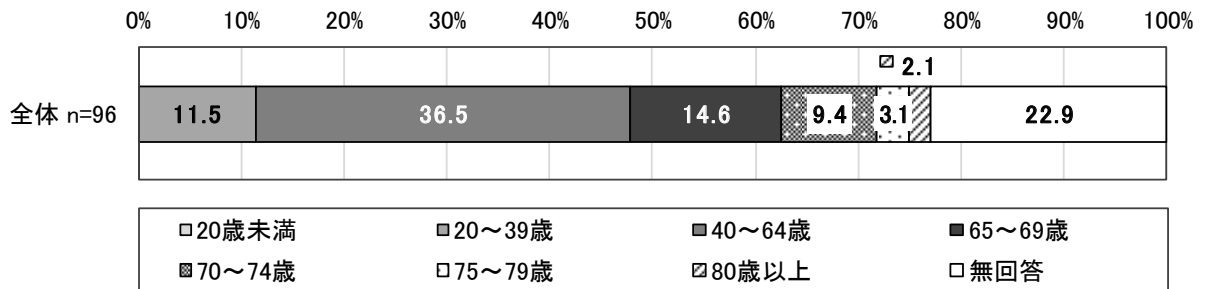
取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が49.0%で最も高く、次いで「70～74歳」が12.7%、「65～69歳」が11.2%となっています。



⑤その他（取り組み始めた年齢）

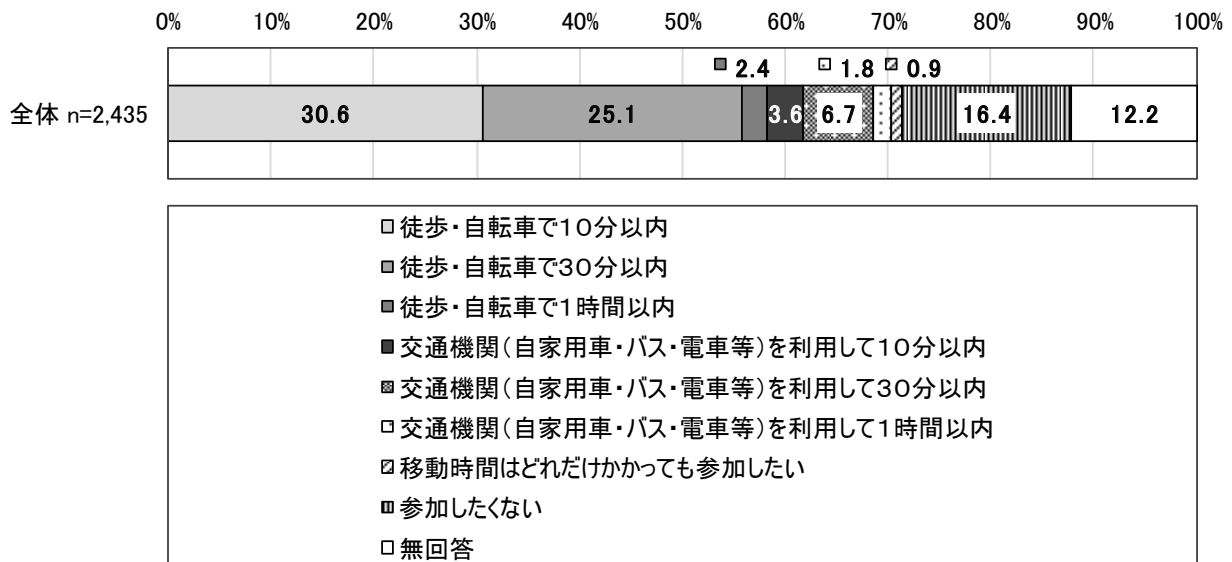
取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が36.5%で最も高く、次いで「65～69歳」が14.6%、「20～39歳」が11.5%となっています。

その他の取り組みとしては、『仕事をしている』『読書』などの回答がみられます。



**問 61. 介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思いますか。(回答は1つ)**

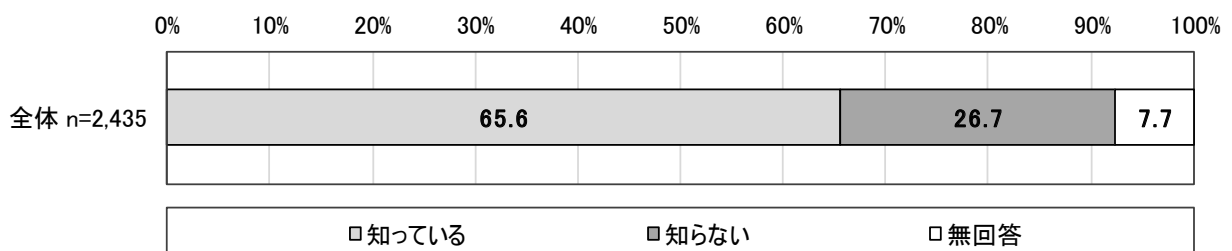
介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいかについては、「徒歩・自転車で10分以内」が30.6%で最も高く、次いで「徒歩・自転車で30分以内」が25.1%、「参加したくない」が16.4%となっています。



**問 62. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)**

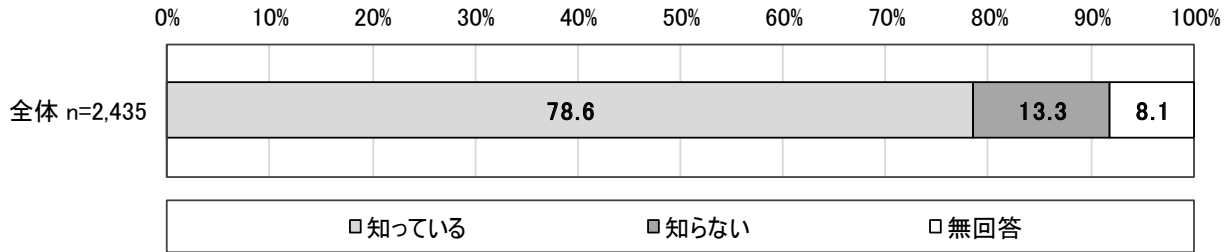
**①自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること**

自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができることについては、「知っている」が65.6%、「知らない」が26.7%で、「知っている」が38.9ポイント上回っています。



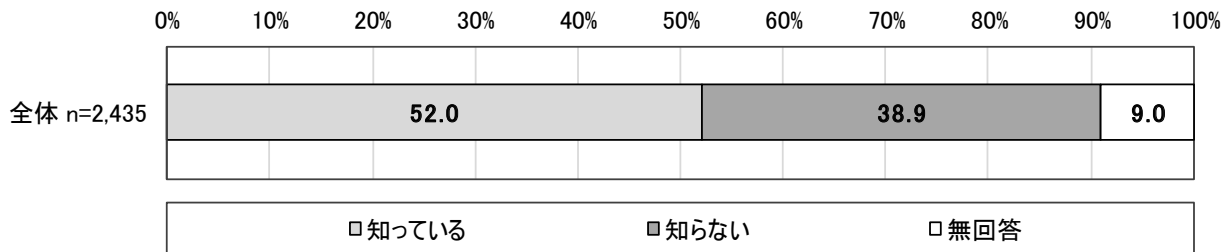
②認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと

認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いことについては、「知っている」が78.6%、「知らない」が13.3%で、「知っている」が65.3ポイント上回っています。



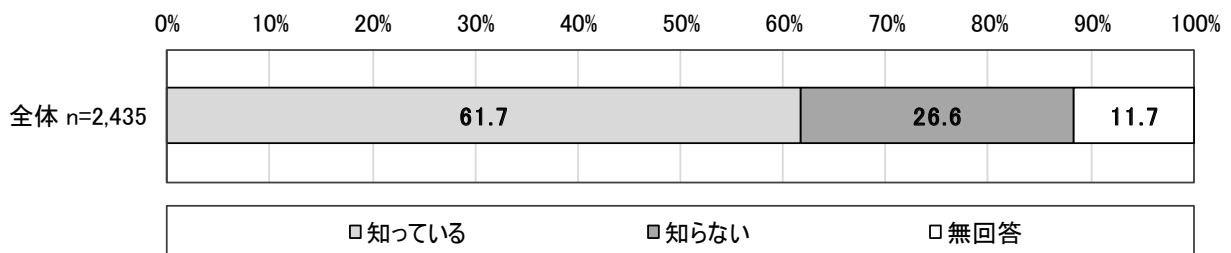
③認知症の方が入所する介護施設があること

認知症の方が入所する介護施設があることについては、「知っている」が52.0%、「知らない」が38.9%で、「知っている」が13.1ポイント上回っています。



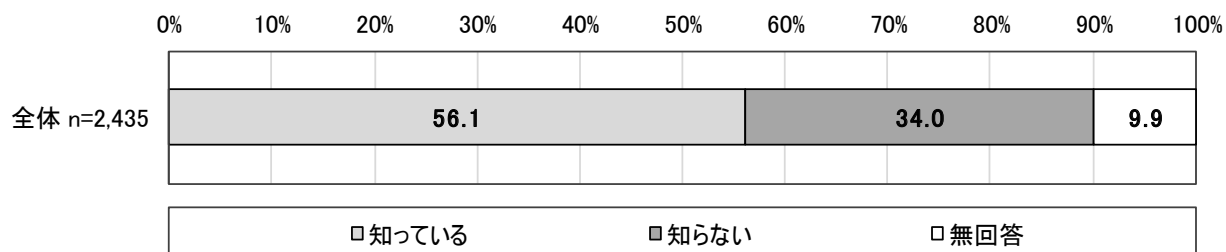
④家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと

家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なことについては、「知っている」が61.7%、「知らない」が26.6%で、「知っている」が35.1ポイント上回っています。



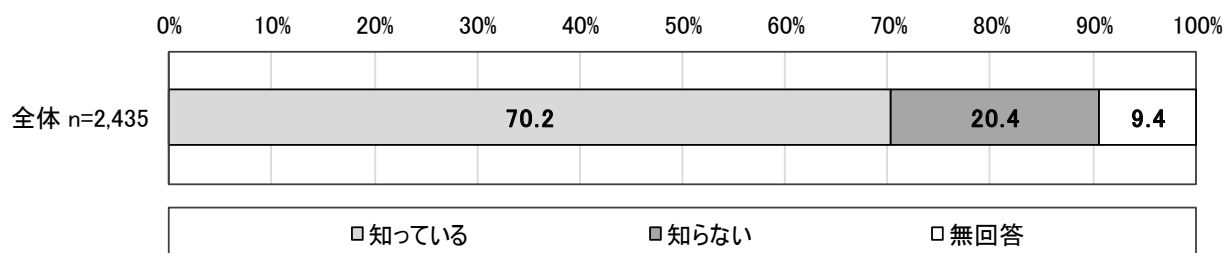
⑤消費者被害に関する相談窓口があること

消費者被害に関する相談窓口があることについては、「知っている」が56.1%、「知らない」が34.0%で、「知っている」が22.1ポイント上回っています。



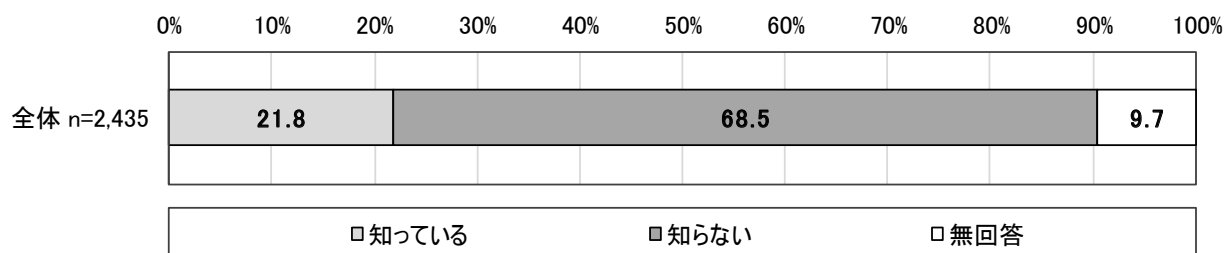
⑥「成年後見制度」

成年後見制度については、「知っている」が70.2%、「知らない」が20.4%で、「知っている」が49.8ポイント上回っています。



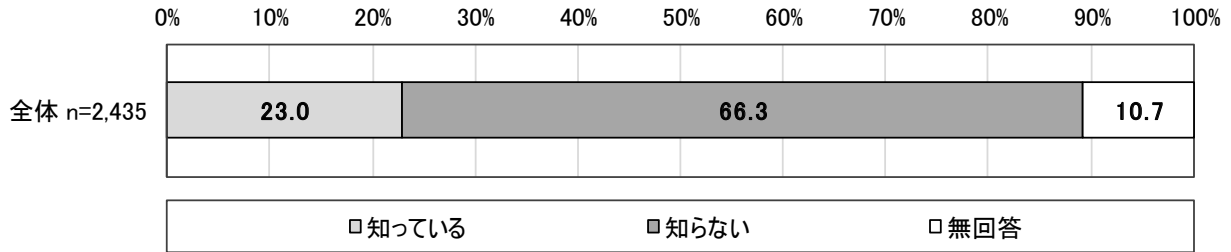
⑦「みんなのカフェ（認知症カフェ）」

みんなのカフェ（認知症カフェ）については、「知っている」が21.8%、「知らない」が68.5%で、「知らない」が46.7ポイント上回っています。



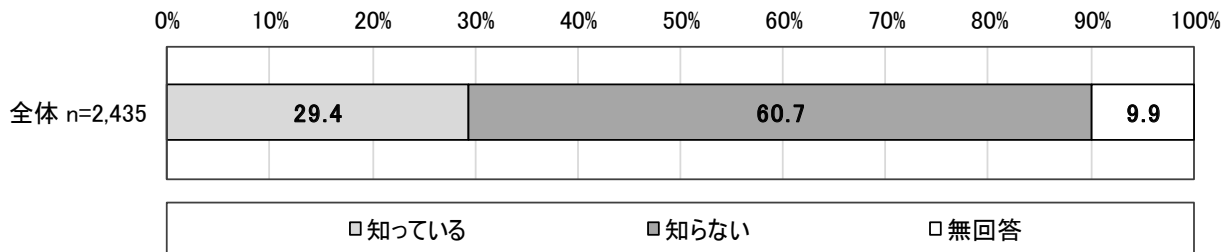
⑧ 「認知症サポーター」

認知症サポーターについては、「知っている」が23.0%、「知らない」が66.3%で、「知らない」が43.3ポイント上回っています。



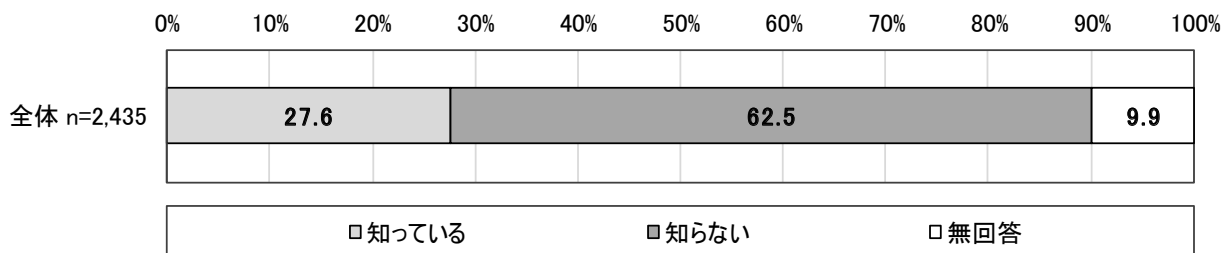
⑨ 「GPSの貸出」

GPSの貸出については、「知っている」が29.4%、「知らない」が60.7%で、「知らない」が31.3ポイント上回っています。



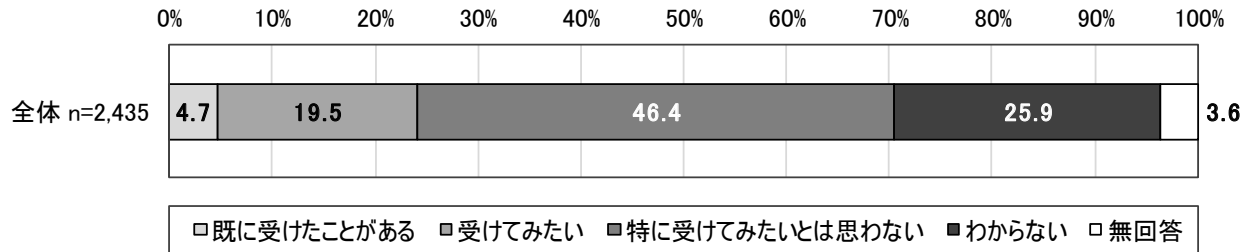
⑩ 「もの忘れ相談医」

もの忘れ相談医については、「知っている」が27.6%、「知らない」が62.5%で、「知らない」が34.9ポイント上回っています。



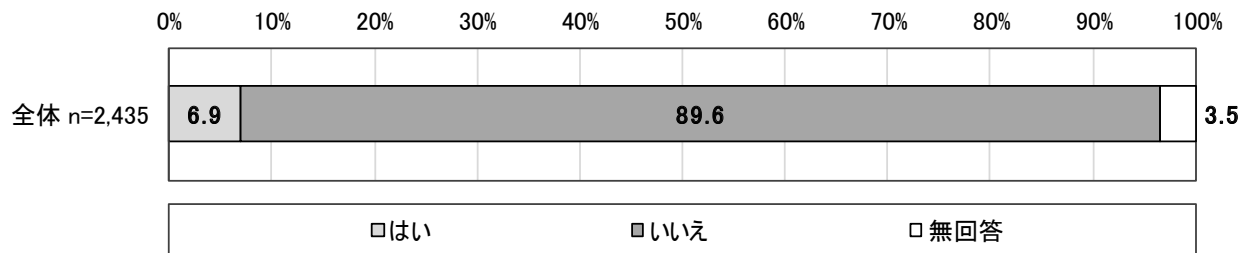
**問 63. あなたは、認知症サポーター養成講座を受けてみたいと思いますか。(回答は1つ)**

認知症サポーター養成講座を受けてみたいかについては、「特に受けてみたいとは思わない」が46.4%で最も高く、次いで「わからない」が25.9%、「受けてみたい」が19.5%となっています。



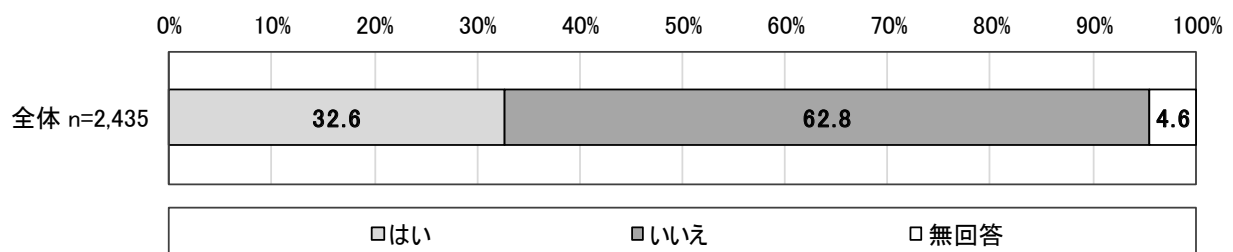
**問 64. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいますか。(回答は1つ) ★**

自身に認知症の症状又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が6.9%、「いいえ」が89.6%で、「いいえ」が82.7ポイント上回っています。



**問 65. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ) ★**

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が32.6%、「いいえ」が62.8%で、「いいえ」が30.2ポイント上回っています。

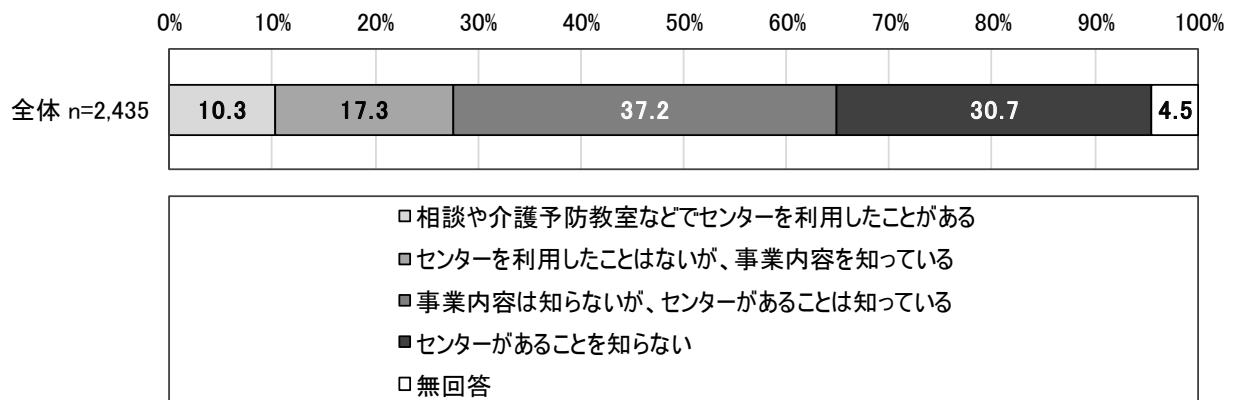


## 10. 市の施策・事業、介護保険制度について

「10. 市の施策・事業、介護保険制度について」は、地域包括支援センターの認知度、避難行動要支援者支援事業の認知度、健康や福祉の相談先、介護保険施設への意向、介護保険料の段階、介護保険料への負担感、市が行っている高齢者福祉サービスへの利用意向、市の独自制度に対する意向を把握するための項目となっています。

### 問 66. 高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」をご存知ですか。(回答は1つ)

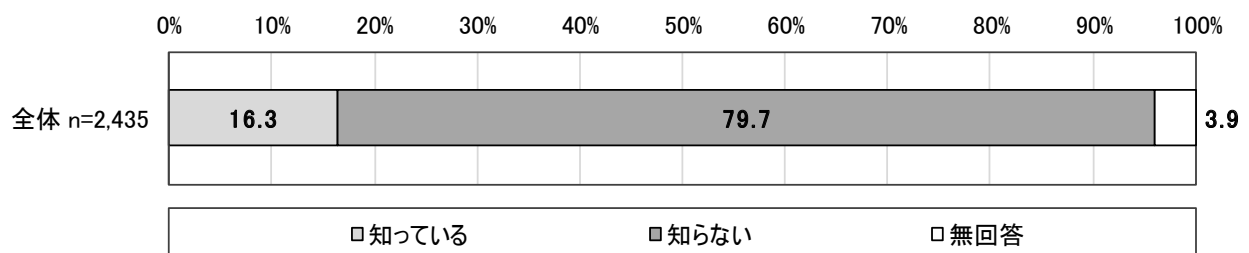
地域包括支援センターの認識状況については、「事業内容は知らないが、センターがあることは知っている」が37.2%で最も高く、次いで「センターがあることを知らない」が30.7%、「センターを利用したことはないが、事業内容を知っている」が17.3%となっています。



### 問 67. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

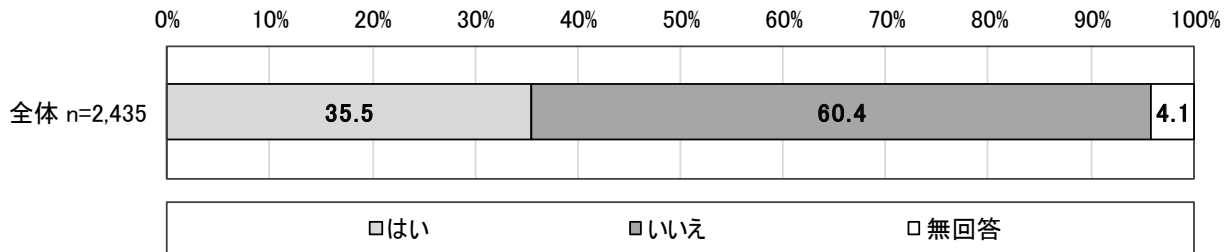
避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が16.3%、「知らない」が79.7%で、「知らない」が63.4ポイント上回っています。





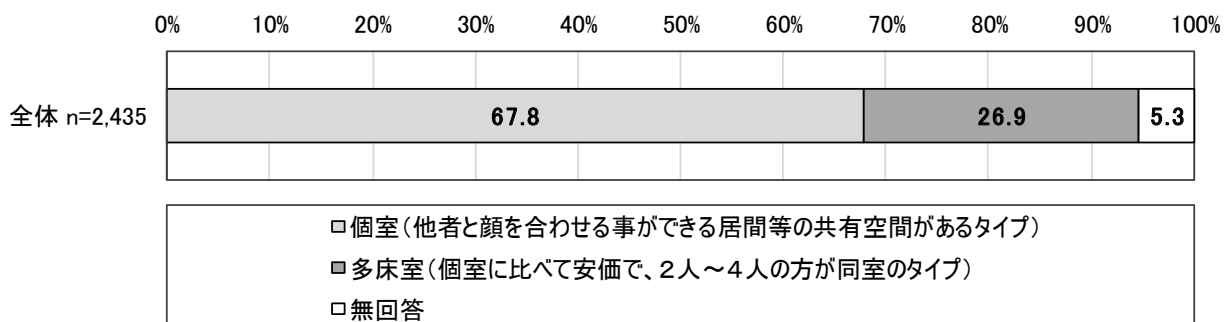
**問 68. 健康や福祉について心配になったときの主な相談先はありますか。(回答は1つ)**

健康や福祉について、心配になったときの相談先があるかについては、「はい」が35.5%、「いいえ」が60.4%で、「いいえ」が24.9ポイント上回っています。



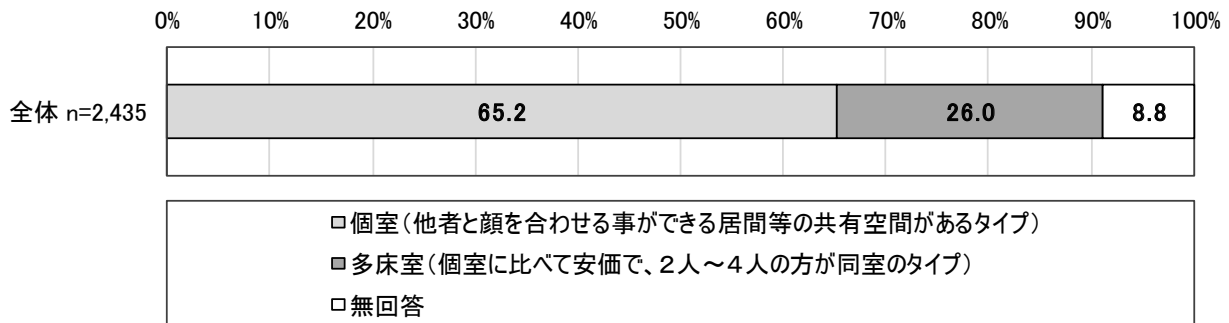
**問 69. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)**

自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせることができる居間等の共有空間があるタイプ）」が67.8%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が26.9%で、「個室（他者と顔を合わせることができる居間等の共有空間があるタイプ）」が40.9ポイント上回っています。



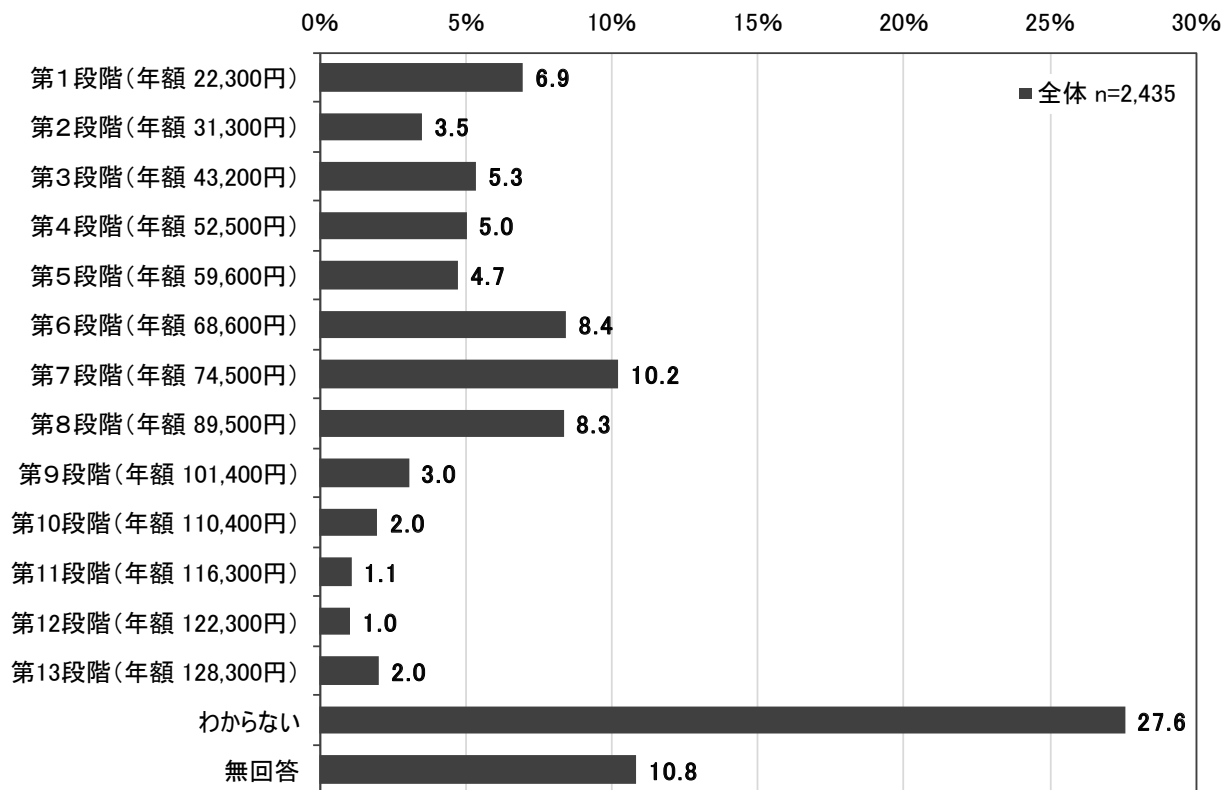
**問 70. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。  
(回答は1つ)**

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 65.2%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 26.0%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 39.2 ポイント上回っています。



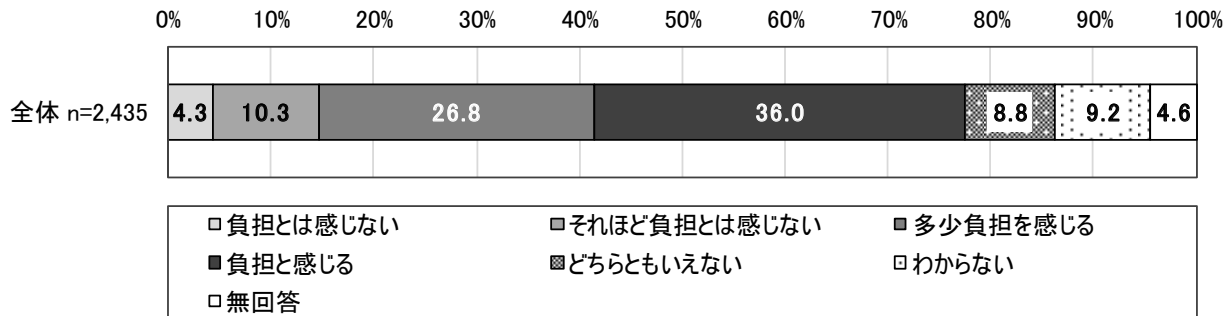
**問 71. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)**

介護保険料の段階については、「わからない」が 27.6%で最も高く、次いで「第7段階（年額 74,500 円）」が 10.2%、「第6段階（年額 68,600 円）」が 8.4%となっています。



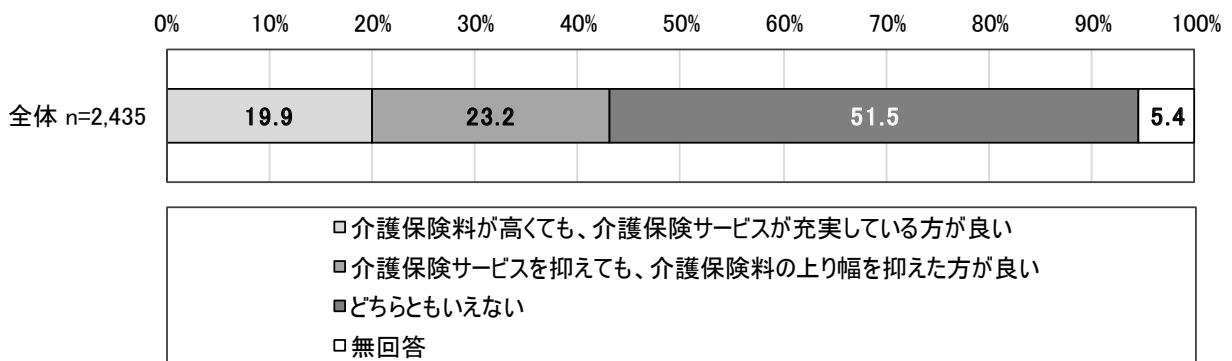
**問 72. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)**

介護保険料に対する負担感については、「負担と感じる」が 36.0%で最も高く、次いで「多少負担を感じる」が 26.8%、「それほど負担とは感じない」が 10.3%となっています。



**問 73. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)**

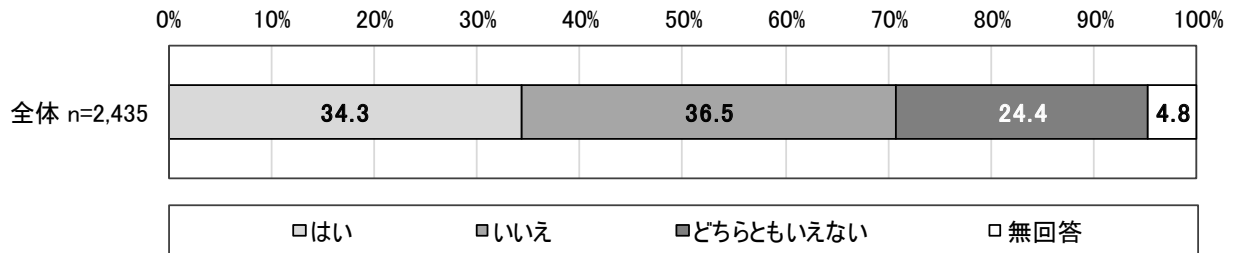
介護保険サービスと介護保険料について、どのように考えているかについては、「どちらともいえない」が 51.5%で最も高く、次いで「介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い」が 23.2%、「介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い」が 19.9%となっています。



**問 74. 介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。  
(それぞれ回答は1つ)**

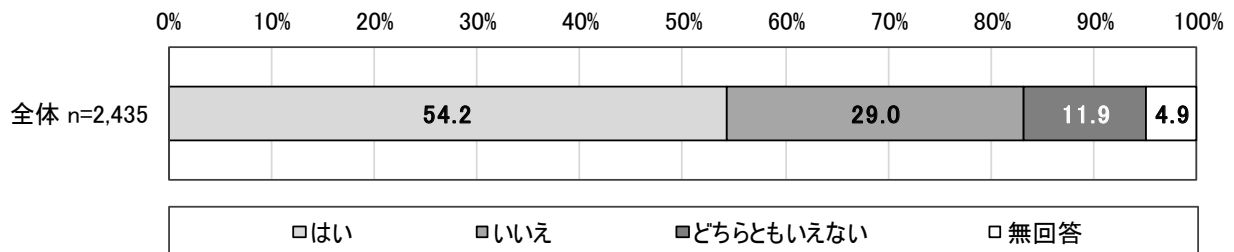
**①介護保険の仕組みを知っていますか**

介護保険の仕組みを知っているかについては、「いいえ」が 36.5%で最も高く、次いで「はい」が 34.3%、「どちらともいえない」が 24.4%となっています。



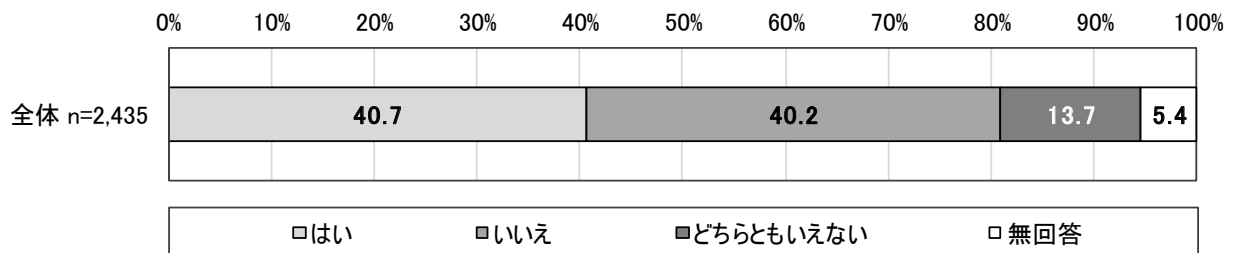
**②要介護の状態によって、さまざまなサービスを利用できることを知っていますか**

要介護の状態によって、さまざまなサービスを利用できることを知っているかについては、「はい」が 54.2%で最も高く、次いで「いいえ」が 29.0%、「どちらともいえない」が 11.9%となっています。



**③サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか**

サービス事業者や施設を選択できることを知っているかについては、「はい」が 40.7%で最も高く、次いで「いいえ」が 40.2%、「どちらともいえない」が 13.7%となっています。

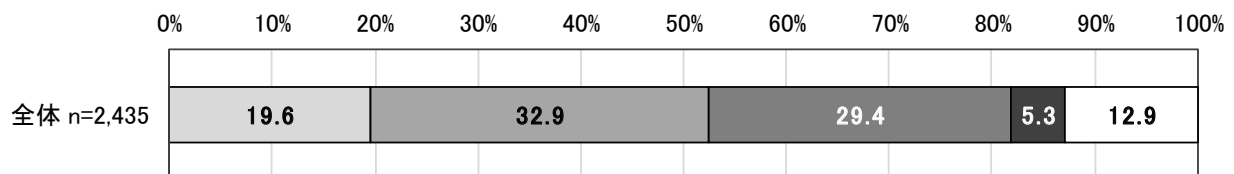


問 75. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。

今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

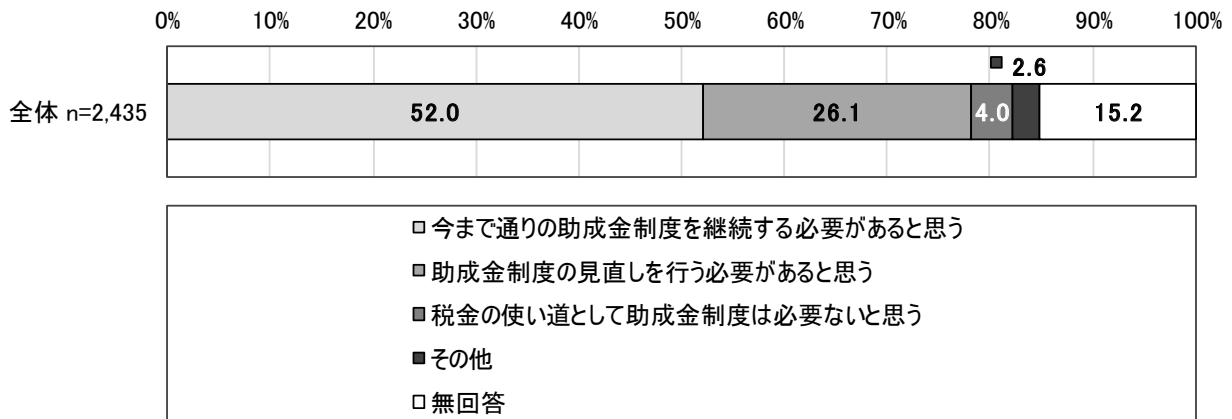
紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい（軽度認定者は利用できなくてもやむを得ない）」が 32.9%で最も高く、次いで「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい」が 29.4%、「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が 19.6%となっています。



- 介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい
- 介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい
- 寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい
- 紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い
- 無回答

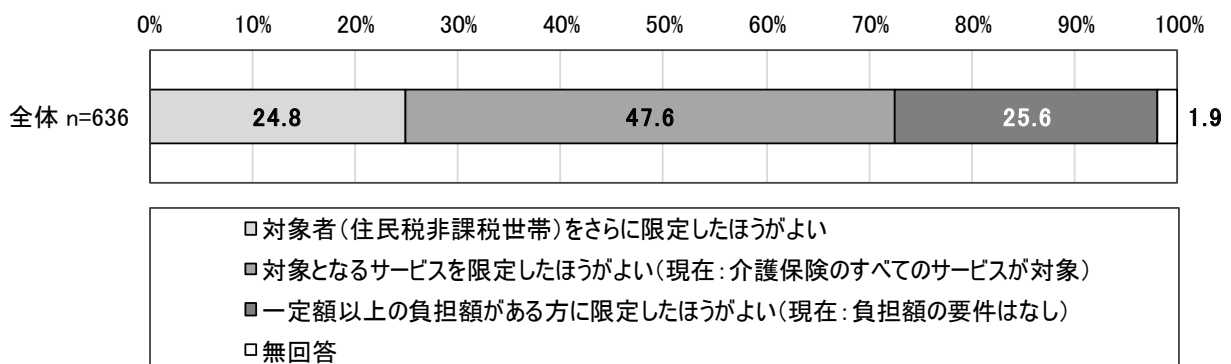
**問 76. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用している住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「低所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後もこの助成金制度が必要だと思えますか。（回答は1つ）**

低所得者助成金制度が今後も必要だと思うかについては、「今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う」が 52.0%で最も高く、次いで「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」が 26.1%、「税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う」が 4.0%となっています。



**問 76-1. 【問 76 で「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」と回答した方におたずねします。】  
どのような観点から見直しが必要だと思えますか。（回答は1つ）**

低所得者助成金制度は、どのような観点から見直しが必要だと思うかについては、「対象となるサービスを限定したほうがよい」が 47.6%で最も高く、次いで「一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい（現在：負担額の要件はなし）」が 25.6%、「対象者（住民税非課税世帯）をさらに限定したほうがよい」が 24.8%となっています。



## 第2章 高齢者一般 各機能の評価結果

### 1. 各機能の評価項目

本調査には、各機能の評価する設問が設けられており、回答結果をもとに、各機能の評価することができます。

#### ①運動機能の評価

以下の5項目のうち、3項目以上に該当した場合、運動機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
問10	15分位続けて歩いていますか。	できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である／やや不安である

#### ②転倒リスクの評価

以下の項目に該当した場合、転倒リスクに高い傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある

#### ③閉じこもりの評価

以下の項目に該当した場合、閉じこもりの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問13	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない／週1回

#### ④認知機能の評価

以下の項目に該当した場合、認知機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問21	物忘れが多いと感じますか。	はい

#### ⑤うつの評価

以下の2項目のうち、いずれかに該当した場合、うつの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問51	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい
問52	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい

### ⑥手段的自立度（IADL）の評価

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が5問設けられています。このうち、手段的自立度（IADL）については、各設問について「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した場合を1点とし、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 22	バスや電車を使って、1人で外出していますか。
問 23	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。
問 24	自分で食事の用意をしていますか。
問 25	自分で請求書の支払いをしていますか。
問 26	自分で預貯金の出し入れをしていますか。

### ⑦知的能動性の評価

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 27	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。
問 28	新聞を読んでいますか。
問 29	本や雑誌を読んでいますか。
問 30	健康についての記事や番組に関心がありますか。

### ⑧社会的役割の評価

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 31	友人の家を訪ねていますか。
問 32	家族や友人の相談にのっていますか。
問 33	病人を見舞うことができますか。
問 34	若い人に自分から話しかけることがありますか。

### ⑨生活機能総合評価

手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標13項目で評価を行い、11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」と評価します。



## 2. 各機能の評価結果

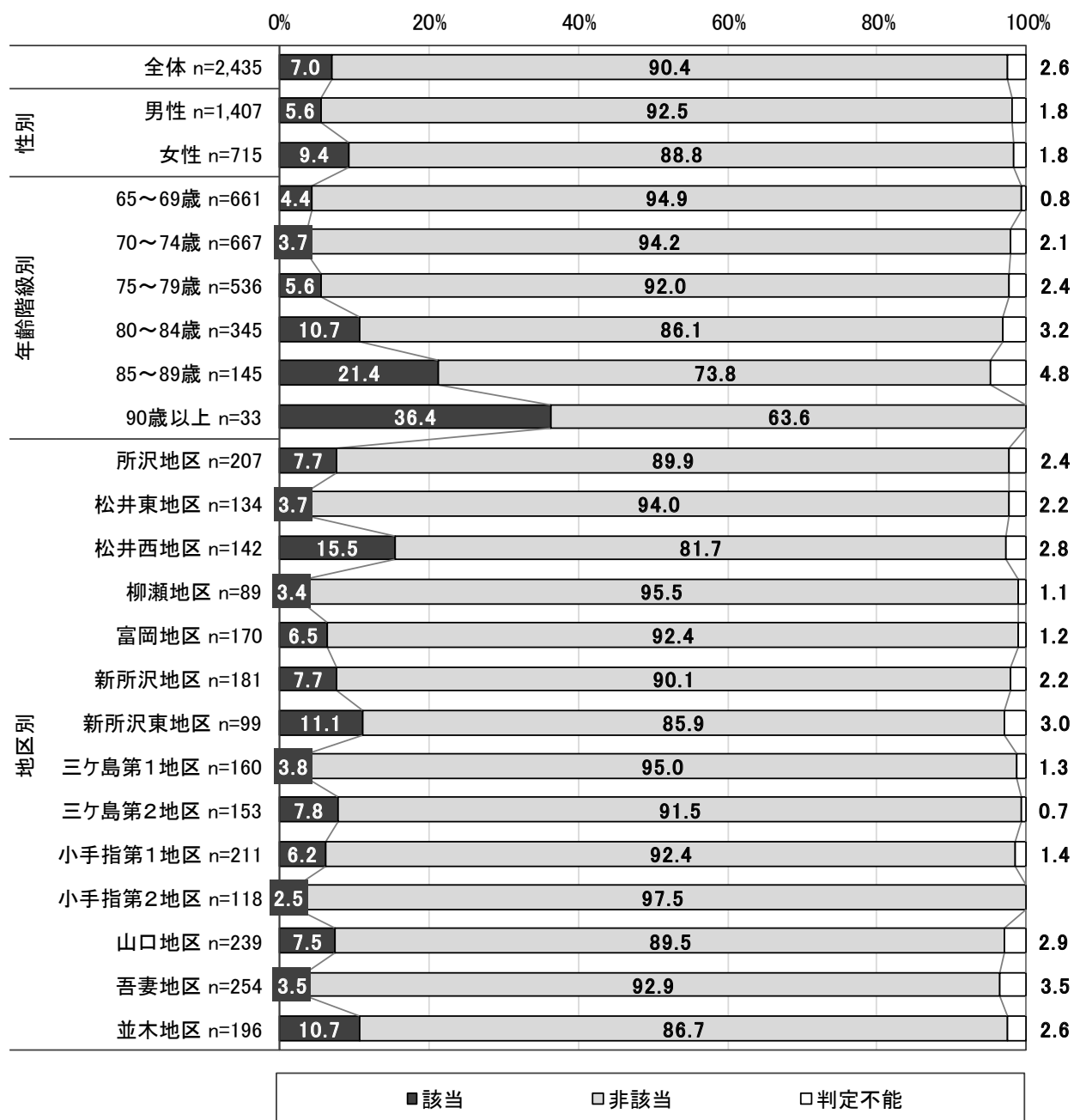
### ①運動機能の評価結果

運動機能についての結果をみると、運動機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で7.0%となっています。

性別では、男性が5.6%、女性が9.4%で、女性が3.8ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、85～89歳では該当者が2割を超え、90歳以上では3割を超える結果となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、松井西地区で15.5%、次いで新所沢東地区が11.1%、並木地区が10.7%となっています。



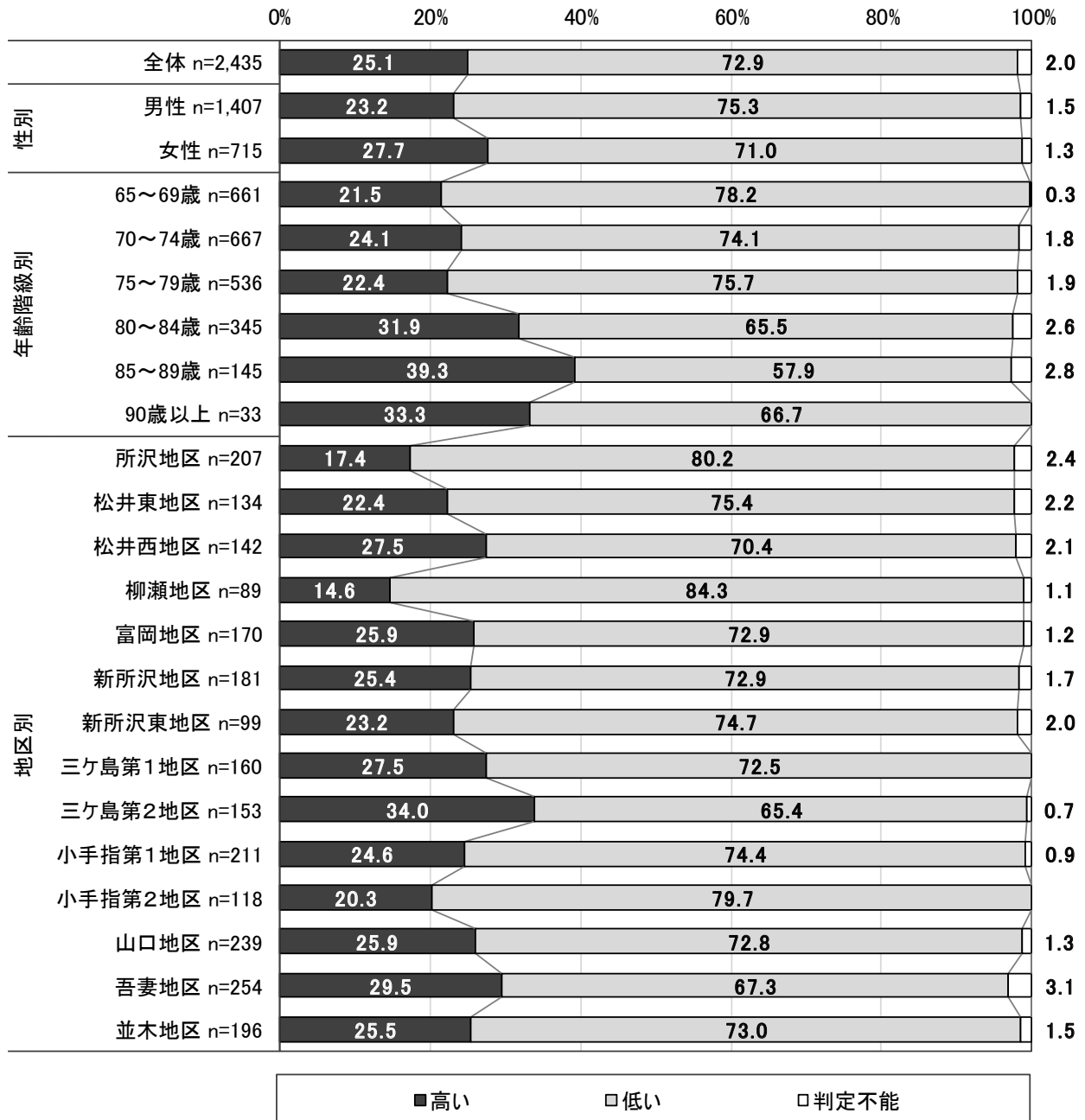
②転倒リスクの評価結果

転倒リスクについての結果をみると、転倒リスクが高い傾向があると判定された方は、全体で25.1%となっています。

性別では、男性が23.2%、女性が27.7%で、女性が4.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～79歳は約2割である一方で、80歳以上では約3割～4割となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、三ヶ島第2地区で34.0%、次いで松井西地区及び三ヶ島第1地区が27.5%、吾妻地区が29.5%となっています。



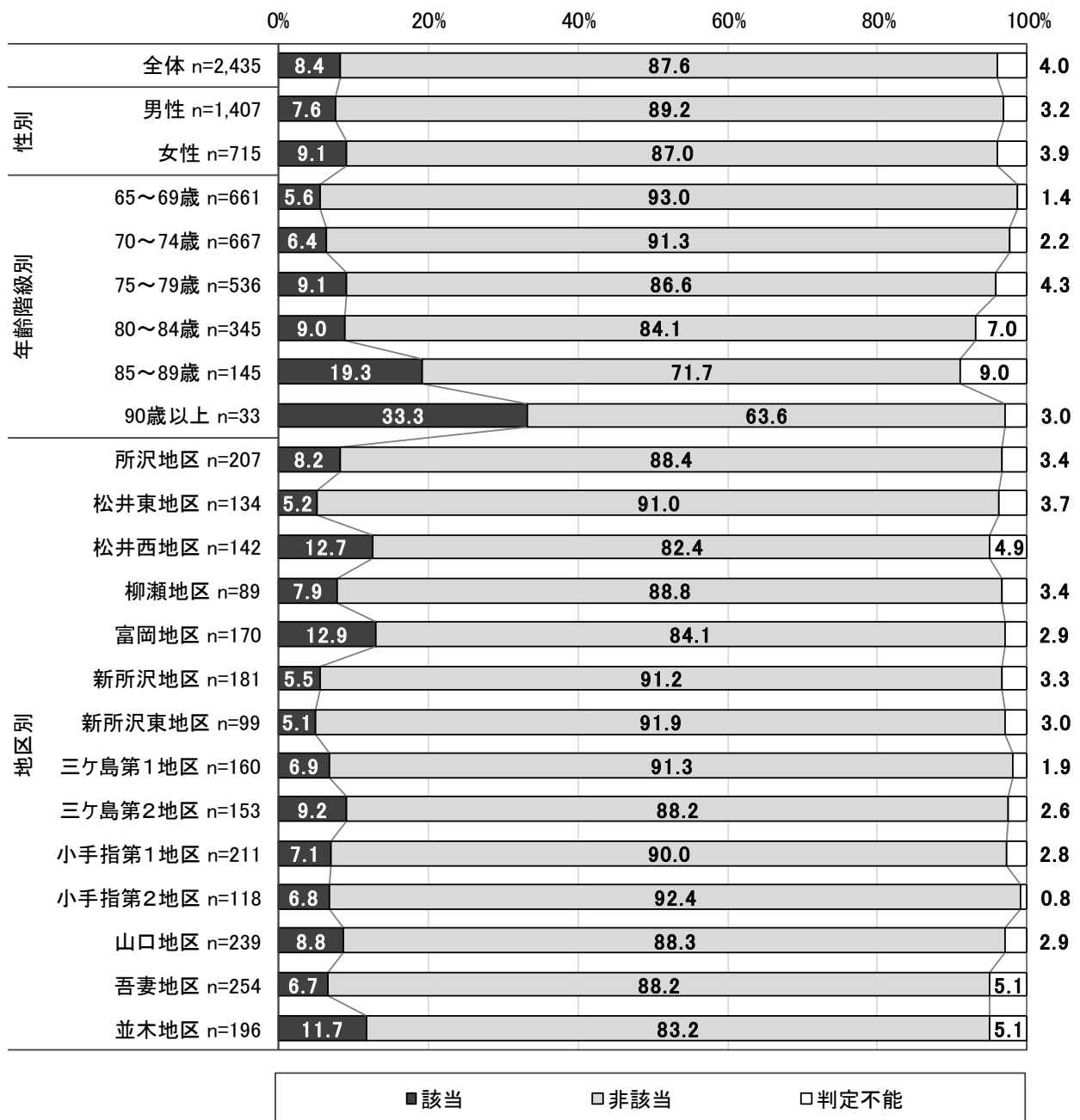
### ③閉じこもりの評価結果

閉じこもりについての結果をみると、閉じこもりの傾向がみられると判定された方は、全体で8.4%となっています。

性別では、男性が7.6%、女性が9.1%で、女性が1.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、85～89歳では該当者が約2割、90歳以上では3割を超える結果となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、富岡地区で12.9%、次いで松井西地区が12.7%、並木地区が11.7%となっています。



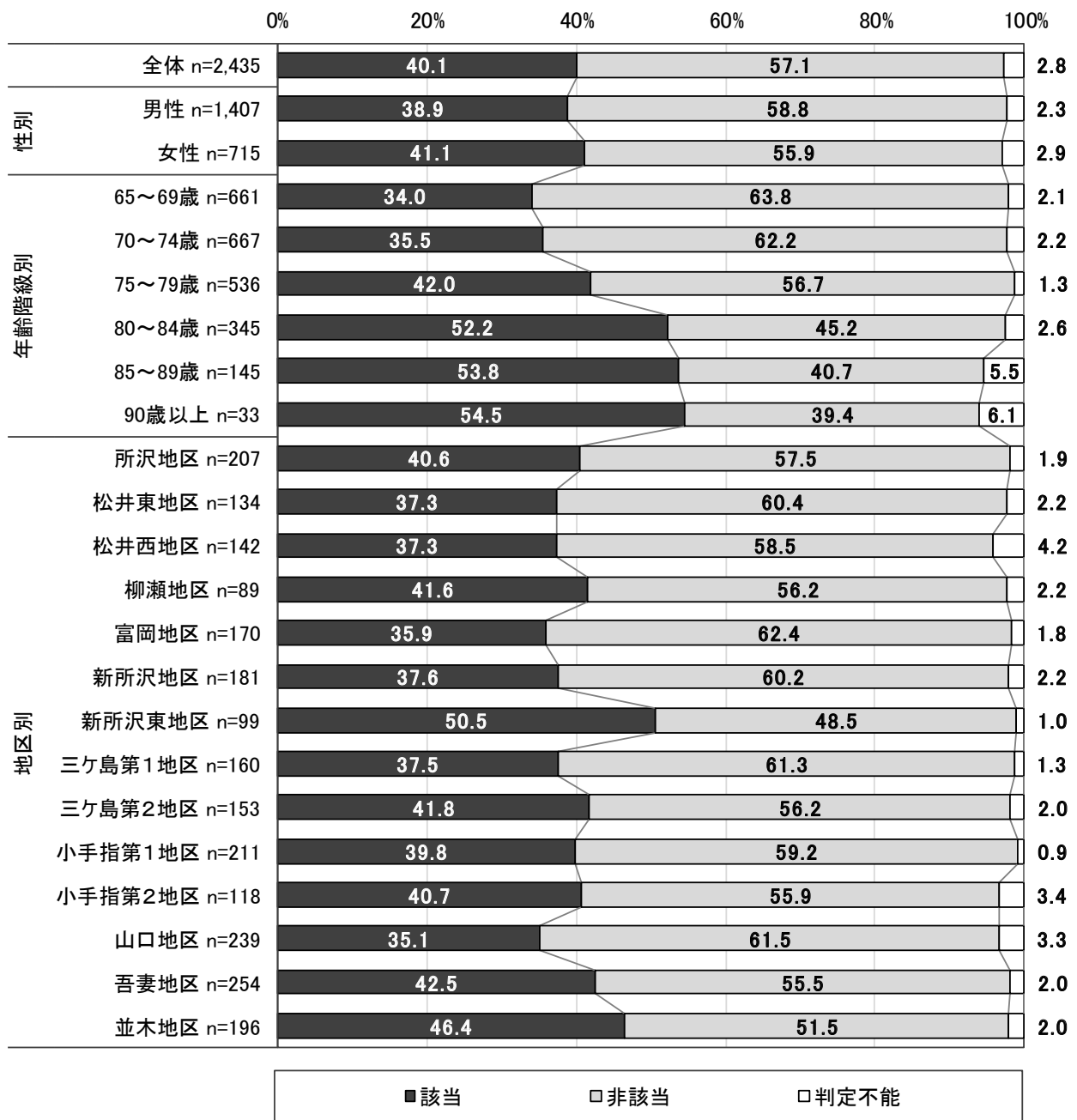
④認知機能の評価結果

認知機能についての結果をみると、認知機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で40.1%となっています。

性別では、男性が38.9%、女性が41.1%で、女性が2.2ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加する傾向にあり、80歳以上で5割を超えています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、新所沢東地区で50.5%、次いで並木地区が46.4%、吾妻地区が42.5%となっています。



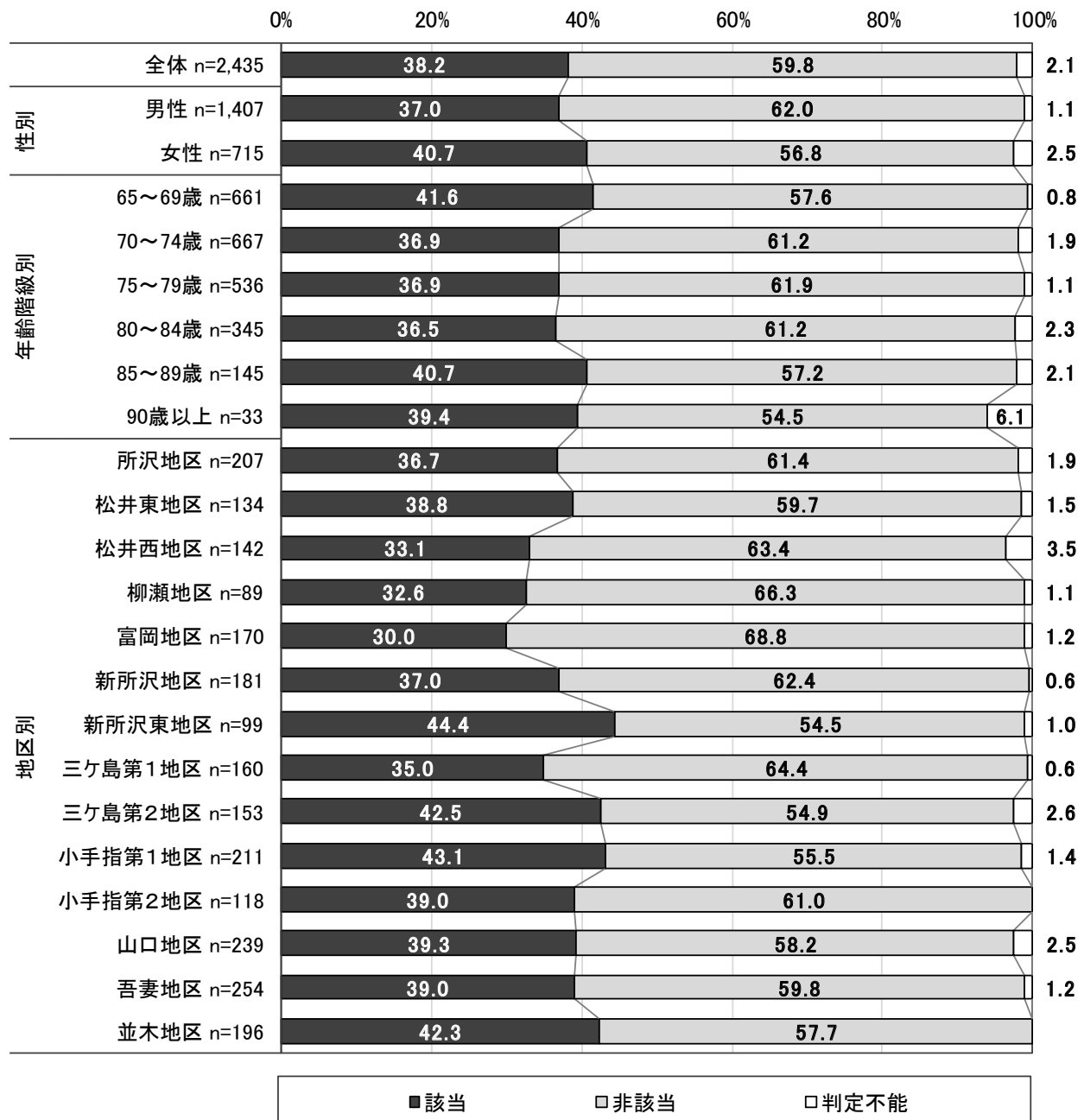
⑤うつの評価結果

うつについての結果をみると、うつの傾向がみられると判定された方は、全体で38.2%となっています。

性別では、男性が37.0%、女性が40.7%で、女性が3.7ポイント上回っています。

年齢階級別では、大きな差はみられず、すべての階級で約4割程度の割合を示す結果となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、新所沢東地区で44.4%、次いで小手指第1地区が43.1%、三ヶ島第2地区が42.5%となっています。



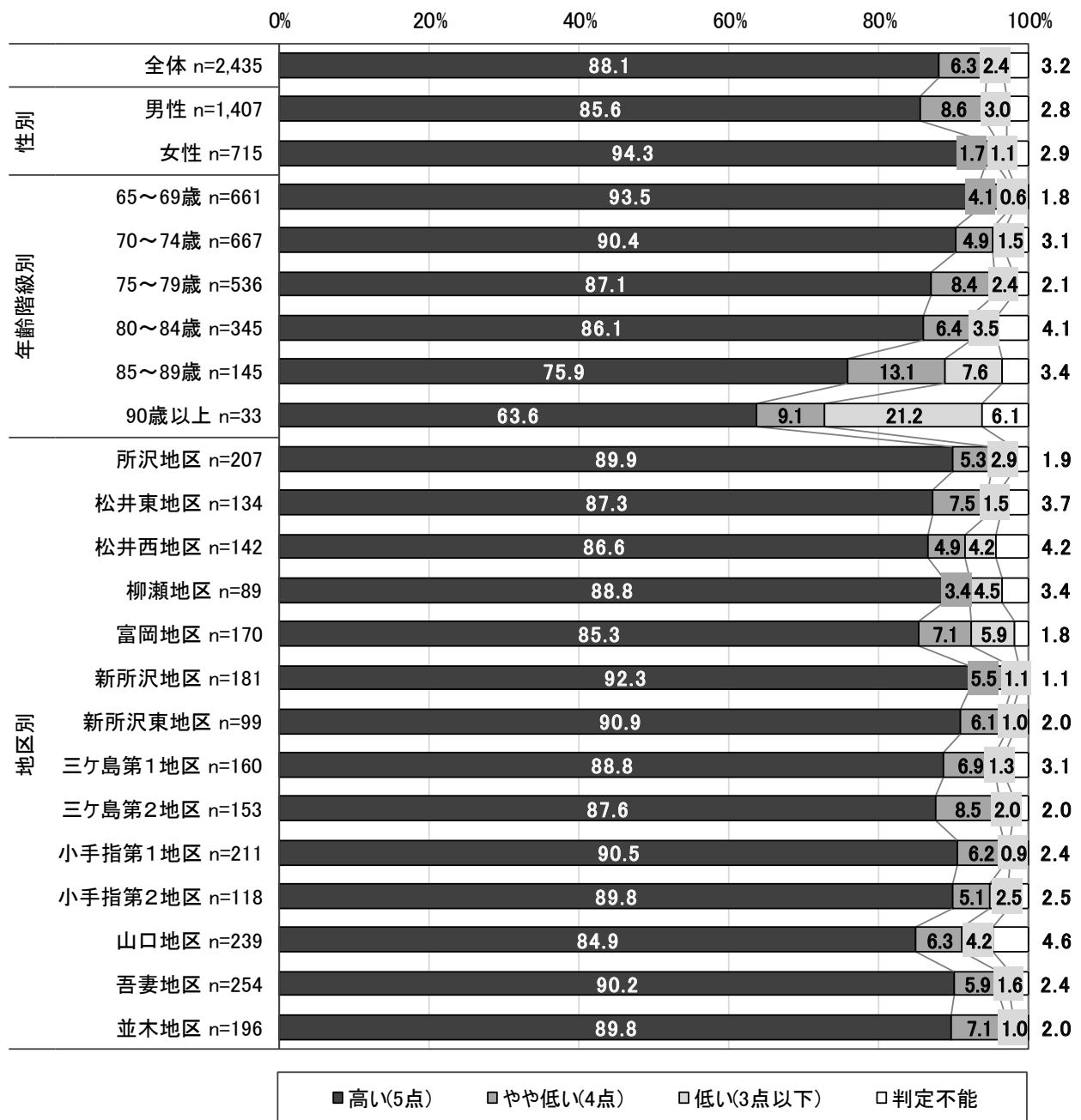
⑥手段的自立度（IADL）の評価結果

手段的自立度（IADL）についてみると、手段的自立度が「高い」と判定された方は、全体で88.1%となっています。

性別では、男性が85.6%、女性が94.3%と、女性が8.7ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに「高い」の割合は減少し、85歳以上では8割を切る結果となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、新所沢地区で92.3%、次いで新所沢東地区が90.9%、小手指第1地区が90.5%となっています。



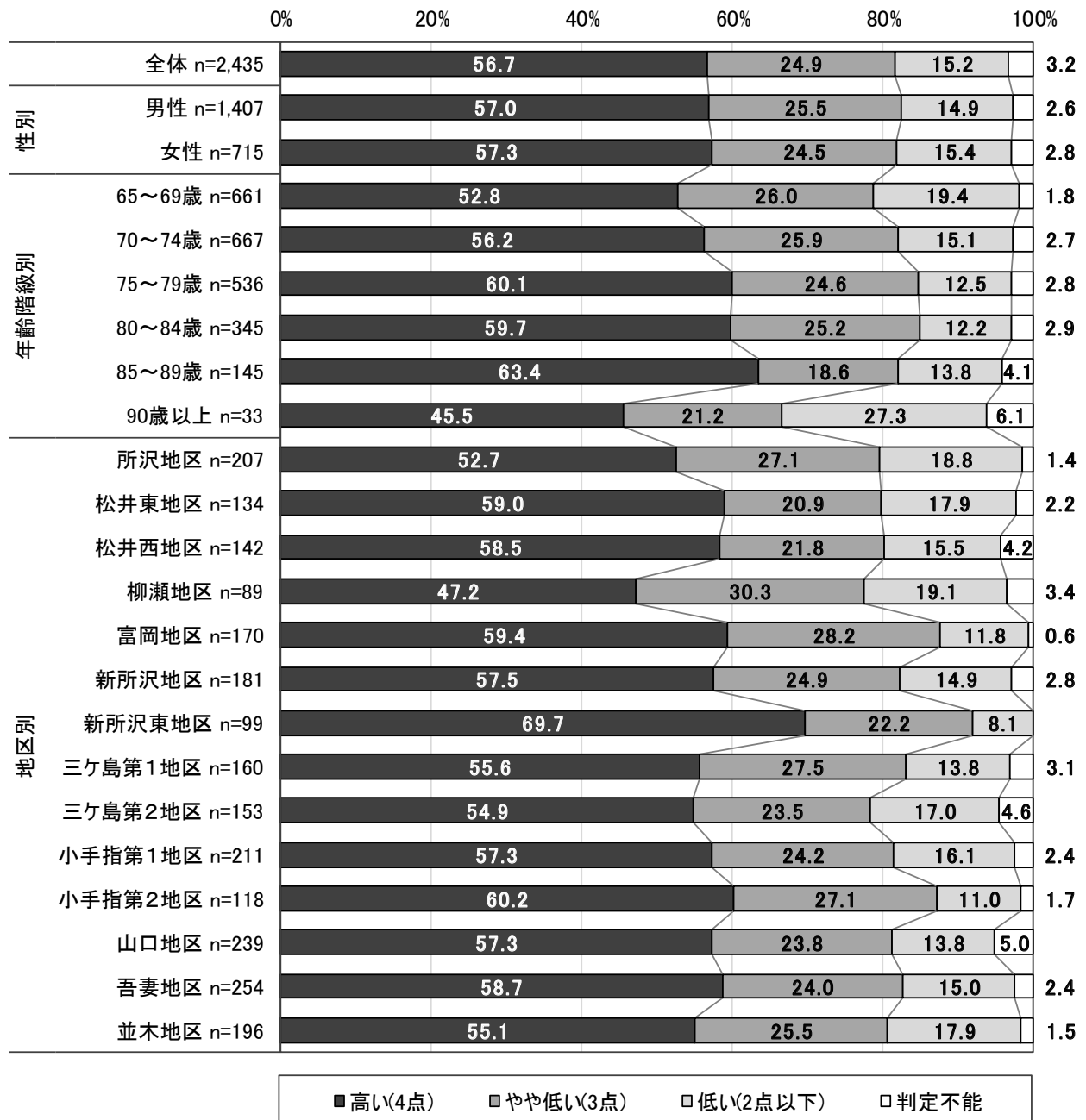
⑦知的能動性の評価結果

知的能動性についてみると、知的能動性が「高い」と判定された方は、全体で56.7%となっています。

性別では、男性が57.0%、女性が57.3%と、女性が0.3ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上を除いた階級は約5割～6割となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、新所沢東地区で69.7%、次いで小手指第2地区が60.2%、富岡地区が59.4%となっています。

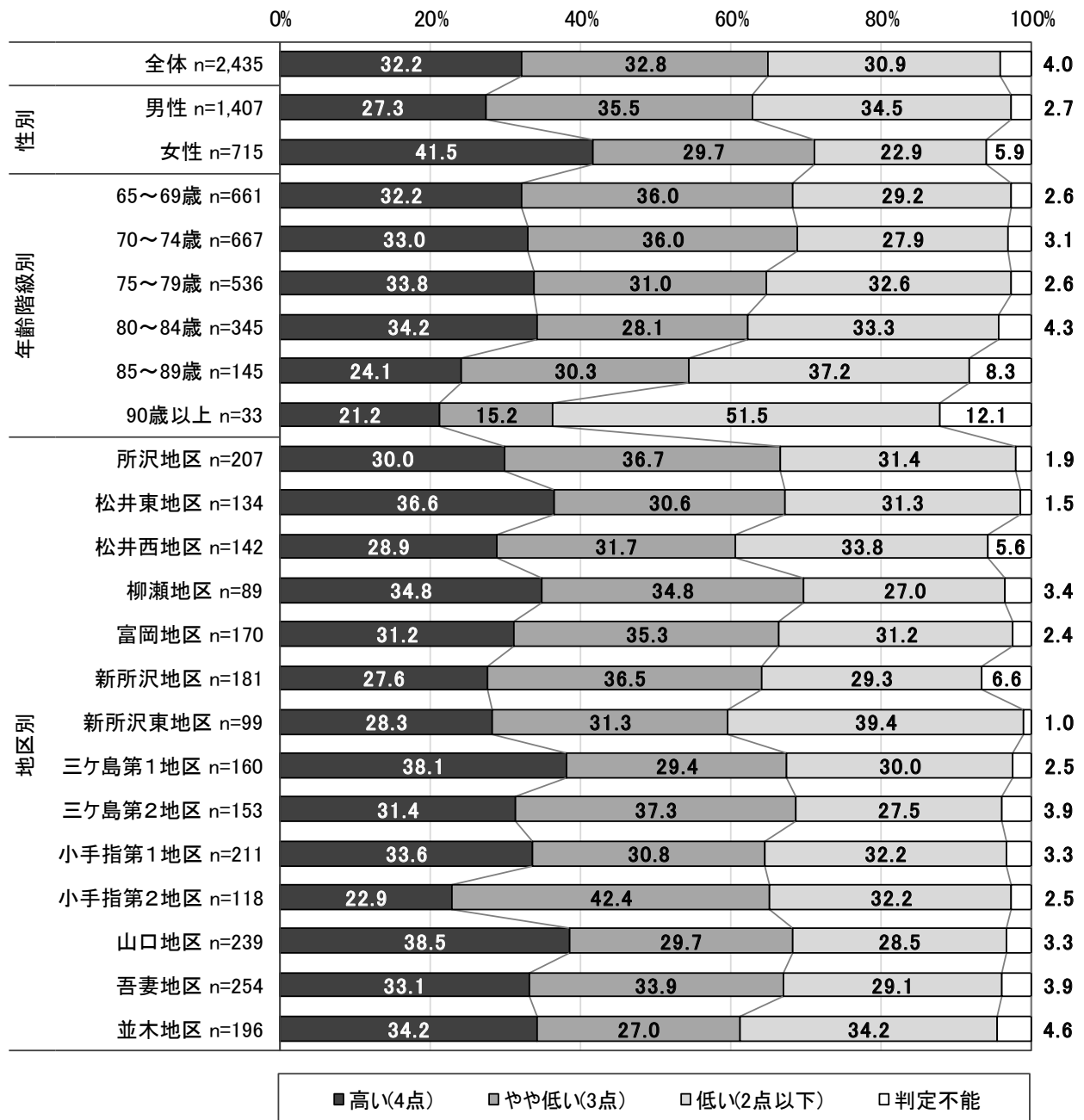


⑧社会的役割の評価結果

社会的役割についてみると、社会的役割が「高い」と判定された方は、全体で32.2%となっています。性別では、男性が27.3%、女性が41.5%と、女性が14.2ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～84歳までは約3割、85歳以上では約2割となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、山口地区で38.5%、次いで三ヶ島第1地区が38.1%、松井東が36.6%となっています。





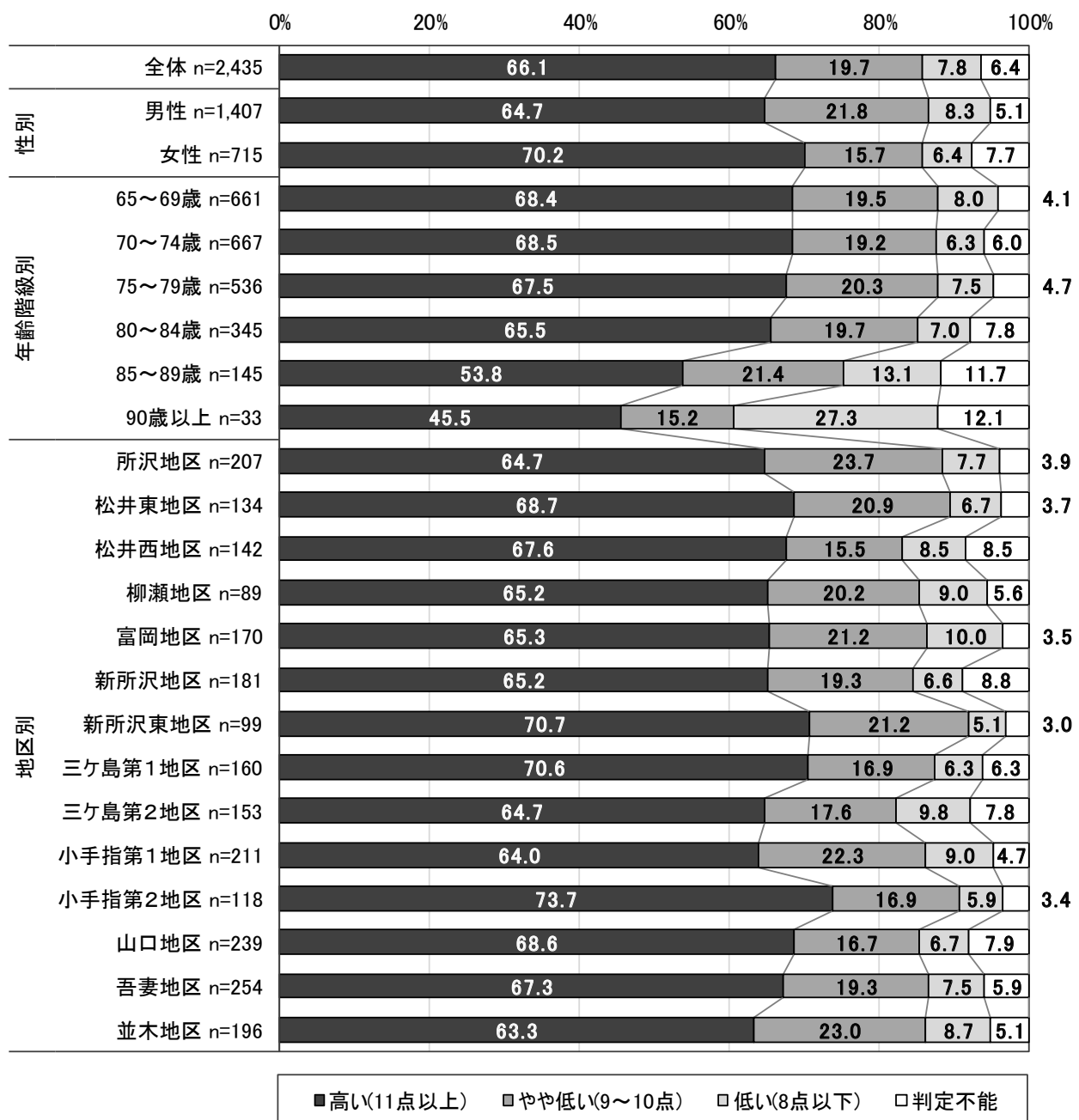
⑨生活機能総合評価結果

生活機能総合評価についてみると、生活機能総合評価が「高い」と判定された方は、全体で66.1%となっています。

性別では、男性が64.7%、女性が70.2%と、女性が5.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに「高い」の割合は減少し、85歳以上では約5割となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、小手指第2地区で73.7%、次いで新所沢東地区が70.7%、三ヶ島第1地区が70.6%となっています。



## 第3章 高齢者一般 クロス集計でみる傾向

### 1. 地区別の傾向

#### ①家族構成について

・問3 選択肢：1人暮らし

	1人暮らしの割合が高い傾向にある地区	1人暮らしの割合が低い傾向にある地区
1位	並木地区	山口地区
2位	小手指第2地区	柳瀬地区
3位	新所沢地区	富岡地区／小手指第1地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
26.1%	25.4%	21.8%	15.7%	19.4%	28.2%	25.3%	25.6%	24.2%	19.4%	31.4%	13.8%	21.7%	34.7%
4	6	9	13	11	3	7	5	8	11	2	14	10	1

#### ②経済状況について

・問5 選択肢：大変苦しい／やや苦しい(合計値)

	経済状況で苦しいと感じている割合が高い傾向にある地区	経済状況で苦しいと感じている割合が低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第2地区	吾妻地区
2位	並木地区	小手指第2地区
3位	新所沢地区	松井東地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
29.4%	24.6%	30.3%	30.3%	25.9%	31.0%	29.3%	28.1%	36.0%	29.8%	24.5%	25.5%	23.2%	32.1%
7	12	4	4	10	3	8	9	1	6	13	11	14	2

③外出の状況について

・問 15 選択肢：はい（外出を控えている）

	外出を控えている割合が高い傾向にある地区	外出を控えている割合が低い傾向にある地区
1位	松井西地区	松井東地区
2位	並木地区	柳瀬地区
3位	富岡地区	所沢地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
7.2%	6.0%	16.2%	6.7%	13.5%	12.2%	12.1%	11.3%	11.8%	8.1%	8.5%	7.9%	9.4%	13.8%
12	14	1	13	3	4	5	7	6	10	9	11	8	2

④外出時の移動手段について

・移動手段別の上位3位（黒の塗りつぶし／白抜き文字）

単位：％

	所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n 値	207	134	142	89	170	181	99	160	153	211	118	239	254	196
徒歩	<b>86.5</b>	72.4	76.8	67.4	67.6	85.1	<b>85.9</b>	71.9	83.7	73.9	<b>89.0</b>	73.2	76.4	78.1
自転車	35.3	40.3	46.5	47.2	42.9	<b>49.7</b>	37.4	<b>51.3</b>	<b>50.3</b>	42.7	30.5	30.1	44.1	41.8
バイク	2.4	<b>4.5</b>	2.1	3.4	2.4	2.8	2.0	3.1	3.3	<b>6.6</b>	4.2	<b>5.9</b>	4.3	1.5
自動車(自分で運転)	37.7	50.0	45.8	<b>62.9</b>	<b>62.4</b>	38.7	42.4	60.6	47.1	<b>61.1</b>	34.7	59.0	49.2	40.3
自動車(人に乗せてもらう)	11.1	11.2	<b>16.2</b>	<b>18.0</b>	14.7	14.9	9.1	15.0	15.0	15.2	12.7	15.1	13.4	<b>16.3</b>
電車	65.2	57.5	52.1	50.6	55.3	<b>72.4</b>	<b>66.7</b>	50.6	62.7	53.1	<b>78.8</b>	57.3	63.0	63.8
路線バス	16.9	<b>44.0</b>	34.5	28.1	<b>43.5</b>	18.2	22.2	20.0	20.3	28.4	24.6	23.4	35.4	<b>61.7</b>
病院や施設のバス	2.4	1.5	<b>4.9</b>	2.2	0.6	3.3	2.0	<b>3.8</b>	3.3	2.8	0.8	1.3	1.2	<b>4.6</b>
車いす	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
電動車いす(カート)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歩行器・シルバーカー	1.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.6	0.7	0.0	0.0	0.4	1.6	1.0
タクシー	<b>15.0</b>	8.2	<b>14.1</b>	11.2	11.8	10.5	12.1	9.4	11.8	10.0	11.0	7.5	11.4	<b>19.9</b>
その他	0.5	0.0	0.7	1.1	1.2	0.6	0.0	0.0	0.7	0.9	0.8	0.4	1.2	0.0
無回答	2.9	3.7	4.9	2.2	2.9	3.9	3.0	1.3	0.7	0.9	0.0	2.5	4.7	1.5

※「車いす」「電動車いす(カート)」「歩行器・シルバーカー」「その他」については、割合が低いため地区別順位の色付けはしておりません。

⑤地域との関係に対する考え方

・問 41 選択肢：かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい

	自分なりに生活していきたいと考える割合が 高い傾向にある地区	自分なりに生活していきたいと考える割合が 低い傾向にある地区
1位	柳瀬地区	松井東地区
2位	新所沢地区	松井西地区／吾妻地区
3位	三ヶ島第2地区	三ヶ島第1地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
3.9%	3.0%	3.5%	7.9%	4.1%	7.2%	6.1%	3.8%	6.5%	5.7%	4.2%	5.0%	3.5%	6.1%
10	14	12	1	9	2	4	11	3	6	8	7	12	4

⑥健康状態について

・問 48 選択肢：あまりよくない／よくない(合計値)

	健康状態がよくないと感じている割合が 高い傾向にある地区	健康状態がよくないと感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第2地区	柳瀬地区
2位	松井西地区	小手指第2地区
3位	新所沢地区	新所沢東地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
15.4%	13.4%	20.4%	10.1%	13.5%	18.2%	12.1%	16.2%	21.0%	16.1%	11.9%	15.1%	16.2%	16.3%
8	11	2	14	10	3	12	5	1	7	13	9	5	4

⑦幸福感について

・問 50 選択肢：8点／9点／10点（合計値）

	幸福感を感じている割合が 高い傾向にある地区	幸福感を感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	富岡地区	三ヶ島第2地区
2位	小手指第2地区	小手指第1地区
3位	所沢地区	三ヶ島第1地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
50.7%	46.9%	47.2%	48.3%	55.3%	45.8%	46.5%	43.1%	36.0%	38.8%	50.9%	47.7%	48.1%	44.9%
3	8	7	4	1	10	9	12	14	13	2	6	5	11

⑧介護予防への取組状況について

・問 60 選択肢：意識して取り組んでいる

	介護予防の取組を意識的に取り組んでいる 割合が高い傾向にある地区	介護予防の取組を意識的に取り組んでいる 割合が低い傾向にある地区
1位	新所沢東地区	松井西地区
2位	小手指第2地区	三ヶ島第2地区
3位	吾妻地区	小手指第1地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
46.4%	48.5%	36.6%	42.7%	43.5%	50.3%	54.5%	45.6%	39.2%	39.3%	54.2%	49.8%	51.2%	47.4%
8	6	14	11	10	4	1	9	13	12	2	5	3	7

⑨認知症サポーター養成講座の受講意向について

・問 63 選択肢：既に受けたことがある／受けてみたい（合計値）

	認知症サポーター養成講座を受けたことがある・受けてみたいと考える割合が高い傾向にある地区	認知症サポーター養成講座を受けたことがある・受けてみたいと考える割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	柳瀬地区
2位	所沢地区	所沢地区
3位	三ヶ島第2地区	松井西地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
20.3%	29.1%	20.4%	19.1%	25.3%	23.2%	23.2%	25.0%	28.8%	22.7%	31.3%	22.6%	24.8%	24.0%
13	2	12	14	4	8	8	5	3	10	1	11	6	7

⑩運動機能について

・運動機能に低下の傾向がみられる割合

	運動機能に低下の傾向がみられる割合が高い傾向にある地区	運動機能に低下の傾向がみられる割合が低い傾向にある地区
1位	松井西地区	小手指第2地区
2位	新所沢東地区	柳瀬地区
3位	並木地区	吾妻地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
7.7%	3.7%	15.5%	3.4%	6.5%	7.7%	11.1%	3.8%	7.8%	6.2%	2.5%	7.5%	3.5%	10.7%
5	11	1	13	8	5	2	10	4	9	14	7	12	3

⑪手段的自立度（IADL）について

・手段的自立度（IADL）が高い割合

	手段的自立度（IADL）の高い割合が高い傾向にある地区	手段的自立度（IADL）の高い割合が低い傾向にある地区
1位	新所沢地区	山口地区
2位	新所沢東地区	富岡地区
3位	小手指第1地区	松井西地区

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
<b>89.9%</b>	<b>87.3%</b>	<b>86.6%</b>	<b>88.8%</b>	<b>85.3%</b>	<b>92.3%</b>	<b>90.9%</b>	<b>88.8%</b>	<b>87.6%</b>	<b>90.5%</b>	<b>89.8%</b>	<b>84.9%</b>	<b>90.2%</b>	<b>89.8%</b>
5	11	12	8	13	1	2	8	10	3	6	14	4	6

⑫生活機能総合評価について

・生活機能総合評価が高い割合

	生活機能総合評価の高い割合が高い傾向にある地区	生活機能総合評価の高い割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	並木地区
2位	新所沢東地区	小手指第1地区
3位	三ヶ島第1地区	所沢地区/三ヶ島第2地区

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
<b>64.7%</b>	<b>68.7%</b>	<b>67.6%</b>	<b>65.2%</b>	<b>65.3%</b>	<b>65.2%</b>	<b>70.7%</b>	<b>70.6%</b>	<b>64.7%</b>	<b>64.0%</b>	<b>73.7%</b>	<b>68.6%</b>	<b>67.3%</b>	<b>63.3%</b>
11	4	6	9	8	9	2	3	11	13	1	5	7	14



## 2. 個別クロス集計の結果

### ①今後希望する社会参加×年齢（前期高齢者・後期高齢者）

今後希望する社会参加については、前期高齢者は後期高齢者に比べて、「ボランティアグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「町内会・自治会」「収入のある仕事」の割合が高くなっています。一方で、後期高齢者は前期高齢者に比べて、「介護予防のための通いの場」「長生クラブ」の割合が高くなっています。

また、「特に何もしたくない」は、前期高齢者、後期高齢者ともに約3割となっています。

	前期高齢者 n=1,328	後期高齢者 n=1,059
ボランティアのグループ	11.7%	6.4%
スポーツ関係のグループやクラブ	16.0%	11.8%
趣味関係のグループ	26.5%	20.9%
学習・教養サークル	16.2%	9.6%
介護予防のための通いの場	6.3%	9.8%
長生クラブ	1.6%	3.4%
町内会・自治会	6.3%	5.9%
収入のある仕事	18.1%	5.9%
特に何もしたくない	30.3%	33.3%
無回答	9.5%	20.8%

## ②外出頻度×外出する際の移動手段

外出頻度による外出する際の移動手段については、外出頻度が多いほど、「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」の割合が高くなる傾向があります。

また、ほとんど外出しないでは、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が、他の区分に比べて高い傾向がみられます。

	ほとんど 外出しない n=72	週1回 n=132	週2～4回 n=969	週5回以上 n=1,164
徒歩	47.2%	73.5%	81.1%	79.1%
自転車	27.8%	28.0%	41.6%	45.1%
バイク	1.4%	2.3%	2.7%	4.9%
自動車(自分で運転)	15.3%	34.8%	45.9%	57.8%
自動車(人に乗せてもらう)	31.9%	20.5%	15.8%	10.9%
電車	29.2%	55.3%	61.9%	63.3%
路線バス	23.6%	32.6%	34.6%	27.7%
病院や施設のバス	5.6%	4.5%	2.8%	1.8%
車いす	2.8%	0.0%	0.1%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
歩行器・シルバーカー	2.8%	1.5%	0.6%	0.2%
タクシー	31.9%	22.7%	12.9%	8.9%
その他	1.4%	1.5%	0.7%	0.3%
無回答	6.9%	2.3%	1.5%	0.9%

### ③主な外出先×外出する際の移動手段

主な外出先への移動手段について回答者が多い項目である「買い物をする場所」では、『徒歩』が82.5%で最も高く、次いで『電車』が64.5%、『自動車（自分で運転）』が50.4%となっています。

「病院、診療所」では、『徒歩』が80.1%で最も高く、次いで『電車』が61.4%、『自動車（自分で運転）』が41.3%となっています。

	買い物をする場所 n=1,798	会合・サークル活動・学習のための施設 n=502	体操等、地域の通いの場 n=185	病院、診療所 n=598	飲食店 n=303
徒歩	82.5%	86.3%	87.0%	80.1%	81.2%
自転車	43.8%	47.2%	50.3%	40.6%	42.9%
バイク	3.5%	4.6%	3.2%	2.5%	4.6%
自動車(自分で運転)	50.4%	47.2%	40.5%	41.3%	54.1%
自動車(人に乗せてもらう)	14.6%	15.7%	20.5%	17.4%	16.8%
電車	64.5%	71.9%	63.2%	61.4%	70.3%
路線バス	32.4%	41.8%	38.9%	35.1%	34.3%
病院や施設のバス	2.6%	3.4%	2.2%	6.5%	1.7%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
電動車いす(カート)	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.4%	0.6%	0.0%	0.7%	0.3%
タクシー	11.7%	14.7%	13.0%	20.2%	17.2%
その他	0.7%	0.8%	1.1%	1.2%	0.3%
無回答	1.1%	1.4%	1.1%	1.3%	1.0%

	公園、遊歩道 n=444	家族・親戚や友人・知人の家 n=235	文化・娯楽施設 n=148	行楽地、観光地 n=132	スポーツ施設 n=302
徒歩	91.7%	83.0%	82.4%	82.6%	83.8%
自転車	44.4%	40.0%	43.2%	48.5%	54.3%
バイク	3.6%	3.8%	0.7%	5.3%	7.0%
自動車(自分で運転)	54.3%	52.8%	47.3%	59.1%	66.2%
自動車(人に乗せてもらう)	12.6%	23.4%	8.8%	15.2%	8.9%
電車	68.0%	62.6%	75.7%	74.2%	66.2%
路線バス	31.5%	32.3%	34.5%	35.6%	27.8%
病院や施設のバス	3.4%	0.9%	0.7%	2.3%	0.7%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.3%
タクシー	8.1%	14.9%	9.5%	13.6%	8.6%
その他	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
無回答	1.8%	0.9%	1.4%	0.8%	0.7%

	宗教的な施設・ 場所 n=50	農園 n=145	職場 n=488	入浴施設 n=55	その他 n=200
徒歩	88.0%	69.7%	73.0%	65.5%	83.5%
自転車	40.0%	57.2%	40.4%	45.5%	43.5%
バイク	0.0%	6.2%	6.1%	1.8%	3.5%
自動車(自分で運転)	42.0%	78.6%	66.4%	50.9%	62.0%
自動車(人に乗せてもらう)	20.0%	9.7%	8.2%	9.1%	8.5%
電車	76.0%	46.9%	65.0%	67.3%	61.5%
路線バス	42.0%	24.8%	29.5%	27.3%	26.5%
病院や施設のバス	8.0%	0.0%	0.6%	1.8%	4.0%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
タクシー	22.0%	4.1%	9.2%	10.9%	9.5%
その他	0.0%	0.7%	0.6%	0.0%	0.5%
無回答	0.0%	0.7%	1.2%	0.0%	1.5%

④生活機能総合評価×地域活動へ参加者として参加する意向

生活機能総合評価による地域活動への参加意向については、生活機能総合評価が高い方は、地域活動へ参加者として「参加してもよい」の割合が高い傾向にあります。

また、生活機能総合評価の低い方は、地域活動へ参加者として「参加したくない」の割合が高い傾向にあります。

	高い n=1,610	やや低い n=479	低い n=190	判定不能 n=156
是非参加したい	8.5%	6.1%	3.2%	4.5%
参加してもよい	56.2%	45.1%	28.4%	31.4%
参加したくない	22.3%	37.6%	55.3%	28.8%
既に参加している	7.4%	5.0%	3.7%	2.6%
無回答	5.6%	6.3%	9.5%	32.7%

## 第4章 高齢者一般 調査結果のまとめ

### 【1. 本人について】

回答者の構成において、年齢階級では、65～69歳が27.1%、70～74歳が27.4%と、前期高齢者で約5割を占め、年齢があがるとともに割合は減少していく傾向がみられます。

性別では、男性が57.8%、女性が29.4%と、男性からの回答が多い状況となっています。

### 【2. 家族や生活状況について】

家族構成においては、1人暮らしの割合は23.5%と約4人に1人の割合となっています。普段の生活において、介護・介助は必要ないが約9割を占め、自立した日常生活を送る高齢者が多い状況がうかがえますが、少数ではあるものの日常生活において何らかの介護・介助が必要と回答している方もみられます。

経済状況を見ると、苦しい（大変苦しい、やや苦しい）と感じている割合は約3割と約3人に1人の割合となっています。

普段の生活において、紙おむつの利用状況を見ると、利用していない方が約9割と紙おむつの利用傾向は低くなっていますが、念のため使用している、寝ている間だけ使用していると回答している方も少数みられる状況であります。

### 【3. からだを動かすことについて】

日常生活状況から判定する運動機能の評価では、全体の7.0%が該当者と判定され、割合としては低い傾向がみられます。また、閉じこもりの傾向をみる評価では、全体の8.4%が該当者と判定され、運動機能と同程度の割合となっています。一方で、転倒リスクの評価では、全体の25.1%が転倒リスクで高いと判定され、約4人に1人の割合となっています。

週に1回以上外出している方の主な外出先は、買物をする場所が最も高く、また、病院、診療所、職場、会合・サークル活動・学習のための施設や公園、遊歩道の割合も2割程度と、活動的に外出している状況もみられます。

現在、外出を控えていると回答した方の外出を控えている理由については、身体的な理由である足腰などの痛みが約5割という結果が出ており、外出をする上で、自身の身体機能が維持されていることが重要であるということがうかがえます。また、トイレの心配（失禁など）についても約2割と、外出時の軽失禁への対策も外出をする上で重要であることがうかがえます。

外出をする際の主な移動手段は、徒歩、自転車、自動車（自分で運転）、電車、路線バスが上位に挙げられており、外出の用途などにより移動手段を選択できる状況にある方が多いことがうかがえます。

### 【4. 食べることについて】

自身の身長と体重から肥満度を図る指数であるBMIでは、肥満と判定される「BMI=25.0以上」の割合は21.5%と約5人に1人の割合となっています。

だれかと食事をする機会においては、日常的に機会（毎日ある、週に何度かある）がある割合は、60.6%と高い結果となっている一方で、機会が少ない（年に何度かある、ほとんどない）は17.3%と、約6人に1人は日常的に1人で食事をしている状況であります。

## 【5. 毎日の生活について】

毎日の生活において、物忘れが多いと感じている（認知機能該当）割合は、40.1%と他の評価項目に比べると高い割合で該当と判定されています。年齢があがるとともに認知機能の低下がみられ、65～69歳でも約3割が該当と判定されている状況であります。

毎日の生活状況から判定する手段的自立度（IADL）は、全体の88.1%が高いと判定され、生活機能総合評価（手段的自立度・知的能動性・社会的役割）では、66.1%が高いと判定されていることから、自立した日常生活を送っている方が多い状況がうかがえます。

日常生活の中で困ったことについては、特に困っていることはない方が54.0%で最も多いが、日常の力仕事（家具の移動等）、庭の手入れが上位に挙げられており、年齢があがるとともに力仕事などに対して困難を感じる方が多くなる傾向となっています。また、電化製品の扱い方も上位に挙げられており、家電の操作に困難を感じている方も比較的多い状況であります。

今後の生活で心配なことについては、自分の健康に関することが52.7%と、約2人に1人は自分の健康に対して心配している状況となっており、その他、経済的なこと、自分が認知症になること、家族の健康に関することが上位に挙げられています。

## 【6. 地域の活動について】

地域の活動への参加状況では、趣味関係のグループへの参加割合が最も高く、その他、スポーツ関係のグループやクラブ、町内会・自治会活動、収入のある仕事への参加割合も高い状況がみられます。今後、希望する社会参加では趣味関係のグループの割合が最も高く、自分の趣味を通じた地域活動へ参加したい意向が高くなっています。

地域との関係に対する意向は、何かしらの関わりをもちながら地域と関わっていきたいと考える割合は約9割を占めている一方で、少数ではあるものの地域との関わりをもたずに、自分なりに生活していきたいと回答している方もみられます。

手助け等が必要な高齢者に対してできるボランティア活動としては、声かけ（みまもり活動）、話し相手、ゴミ出しが上位に挙げられていることから、日常生活のなかで気軽にできることの割合が高くなる傾向がみられます。一方で、植木の剪定や外出時の付き添いについては、相互の関係性にも影響すると考えられることから割合は低いものの、それぞれ約1割はボランティア活動としてできると回答している状況であります。

介護の現場で働くことに対しては、6割の方は働きたくないという結果が出ていますが、約2割の方は資格を取得しないで気軽に働きたいという意向をもっていることから、高齢者の就労の場として、介護の現場もひとつの選択肢である状況がうかがえます。

## 【7. たすけあいについて】

心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人では、配偶者、友人が上位に挙げられており、身近な人との交流が高い傾向にあります。また、病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人、看病や世話をしあげる人では、配偶者、別居の子どもが上位に挙げられており、家族が看病や世話をする傾向が高くなっています。



## 【8. 健康について】

現在の健康状態では、よい（とてもよい、まあよい）と感じている割合は82.6%、よくない（あまりよくない、よくない）と感じている割合は15.7%と、よいと感じている割合が大きく上回っています。

うつの傾向をみる評価では、全体の38.2%が該当と判定され、認知機能と同様に高い該当率となっています。

現在、治療中または後遺症のある病気では、高血圧、目の病気、糖尿病が上位に挙げられています。

自身が介護を必要とする状態になった場合、自宅で家族の介護を中心に受けながら生活したい（15.9%）、自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら生活したい（34.3%）という回答が多く、自宅で介護を受けたい割合が約5割の状況であります。

終末期をどこで過ごしたいかでは、自宅が約4割と最も多く、自宅でと考える方が多い傾向がみられます。また、特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設が9.6%、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の割合が4.6%となっていることから、住み慣れた自宅で終末期を過ごしたいと思っている方は多い状況であります。

## 【9. 介護予防・認知症施策について】

介護予防への取り組みでは、意識して取り組んでいる方が46.1%と、約5割の方が日頃から介護予防に取り組んでいる状況がみられます。また、興味があるが取り組み方がわからないという回答は約2割と、介護予防に取り組みたいと思っているが取り組めていない方もいる状況であります。

介護予防の取組内容としては、ウォーキングや体操、食事の回数や量、栄養バランスに気をつけているが上位に挙げられており、ともに取り組み始めた年齢は40～64歳が最も高い割合を占めています。

介護予防の活動へ参加するとした場合、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思うかでは、徒歩・自転車で10分以内が30.6%で最も高く、次いで徒歩・自転車で30分以内が25.1%と、30分以内で約6割を占めており、自宅に近い場所での活動を望んでいる方が多くなっています。

認知症に対する認識については、認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いと知っている割合が約8割と、多くの方が早期受診を認知している状況がうかがえます。

認知症サポーター養成講座の受講意向については、受けてみたいが約2割と、認知症サポーターを周知していくことで、認知症サポーター養成講座を受講する方も増えるのではないかと考えられます。

## 【10. 市の施策・事業、介護保険制度について】

地域包括支援センターの認識状況では、センターがあることを知らないが30.7%と、約3人に1人が知らない状況であります。

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知らないが約8割と、多くの方が本事業について認知していない状況であります。

介護保険料への負担感では、負担と感じている割合は約4割の状況であり、介護保険サービスと介護保険料の関係については、どちらともいえないと回答している方が約5割と、介護保険サービスと介護保険料の関係について、明確な考えを出すことが難しい状況がうかがえます。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが19.6%とやや低い割合で、見直しを必要とする意見の割合のほうが高く、介護度の高い方や寝たきりの方などに限定した方がよいと考えている割合が約6割を占めています。今後、何らかの見直しが必要

であると考えている方が多い傾向にあります。

低所得者助成金制度では、今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思うが 52.0%と、高い傾向にある一方で、見直しが必要であると思うが 26.1%で、見直しが必要であると思うと回答した方の見直しの観点としては、対象となるサービスを限定したほうがよいが約5割を占めています。